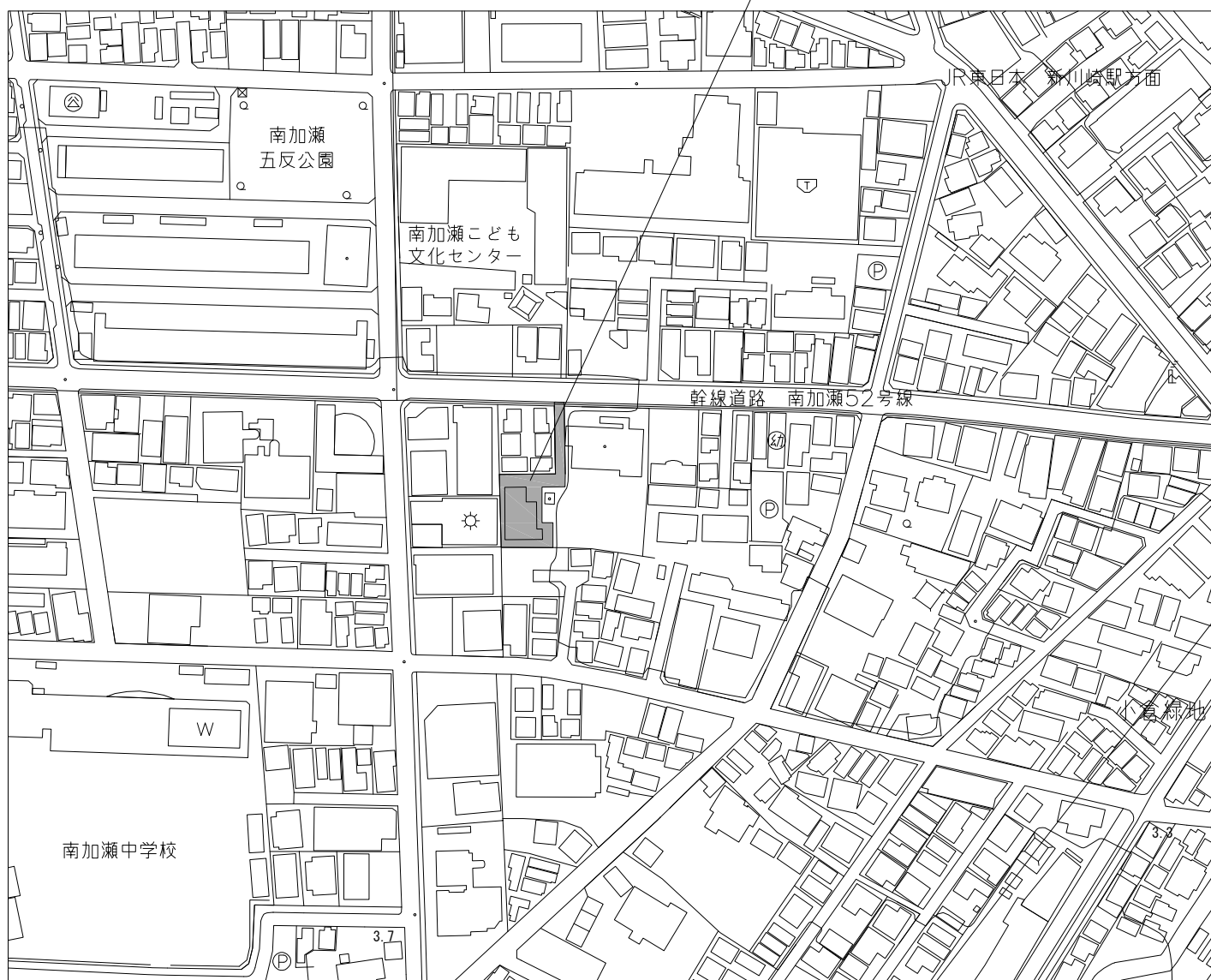


(仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務

令和8年 3月

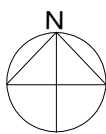
■建築意匠図			■構造図			■電気図			■設備図		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	表紙・図面リスト	—	S-01	構造設計標準仕様	—	E-01	照明器具姿図	—	M-01	空調機器表	—
A-02	案内図・工事概要・配置図	1/200	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	—	E-02	1階 電灯設備図	1/100	M-02	1階空調図	1/100
A-03	外構範囲撤去リスト	1/200	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	—	E-03	2階 電灯設備図	1/100	M-03	2階空調図	1/100
A-04	仕上表	—	S-04	鉄骨構造標準図(1)	—						
A-05	使用材料表	—	S-05	鉄骨構造標準図(2)	—						
A-06	平面図	1/100	S-06	基礎伏図	1/100						
A-07	立面図	1/100	S-07	基礎詳細図	1/30						
A-08	断面図	1/100	S-08	地中梁リスト	1/30						
A-09	矩計図	1/50	S-09	柱脚部リスト	1/30						
A-10	建具キープラン	1/100	S-10	2階梁伏図	1/100						
A-11	建具詳細図	1/100	S-11	小屋伏図	1/100						
A-12	内部階段 平面詳細図	1/30	S-12	軸組図-1	1/100						
A-13	内部階段 断面詳細図	1/30	S-13	軸組図-2	1/100						
A-14	外部階段 平面・断面詳細図	1/40	S-14	軸組図-3	1/100						
			S-15	鉄骨詳細図-1	1/40						
			S-16	鉄骨詳細図-2	1/40						
			S-17	部材リスト	1/20						
			S-18	合成スラブ設計・施工標準仕様書(1/2)	—						
			S-19	合成スラブ設計・施工標準仕様書(2/2)	—						

工事場所：神奈川県川崎市幸区南加瀬3-4-7

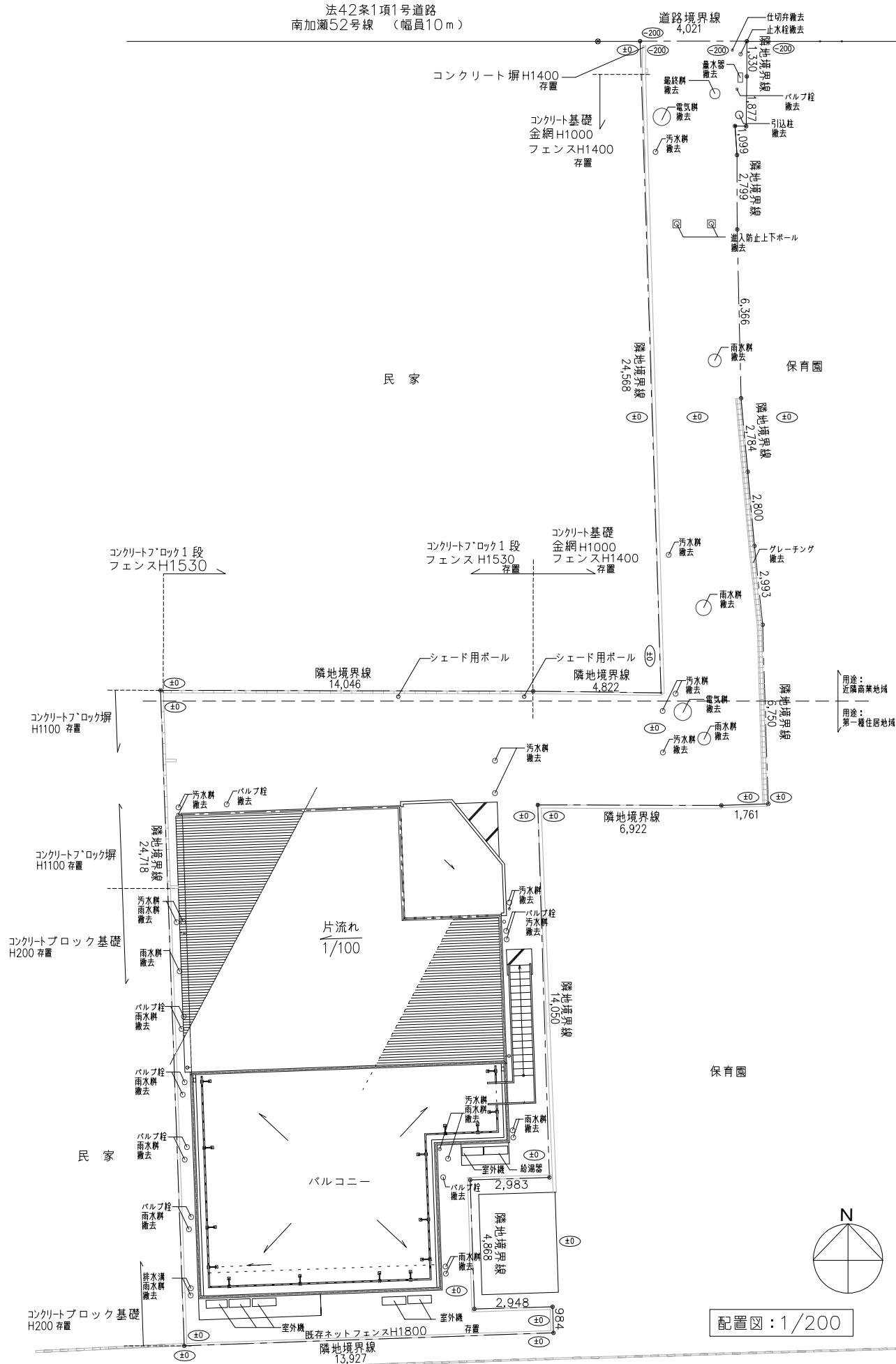


案内配置図：1/2500

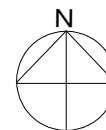
工事名所	障害者福祉サービス事業所 どりーむ解体設計業務委託	用途地域	近隣商業地域・第一種住居地域
工事場所	神奈川県川崎市幸区南加瀬3-4-7	耐火構造	準耐火構造（口準-2）
敷地面積	453.95㎡	建蔽率（%）	64.35%
構造・規模	鉄骨造 地上2階建て、最高高さ7.23m、最高軒高6.85m	容積率（%）	221.77%
建築面積	193.08㎡		
工事概要	除却工事 建築物：基礎・躯体及び仕上げ 付帯設備等の除却外構工作物：シェード用ポール・進入防止上下ポール・引込柱・埋設配線・埋設配管 既存接続柵等撤去後整地 電気：蛍光灯取付器具		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・重機の搬出入の際、道路及び存置する側溝等を傷つけないように養生し原状回復すること ・図面に記載のない配管等については、接続先及び使用の有無を確認の上除却すること ・残存物（地下埋設物を含む）は、位置・形状・寸法がわかるように、写真管理及び図面等を作成すること。 ・最終柵撤去とし、本管までの埋設配管は全て撤去とする ・除却工事の際、隣接地の立木の枝払いが必要な場合は、立木管理者と協議のこと ・建築物の地盤改良について、柱状図を確認すると柱状改良を行っている可能性があるため、確認でき次第監理者に報告すること ・隣地が保育園のため、撤去物の搬出時配慮すること ・除却工事を始める際に、柵の蓋を開けて保育園との配管接続を確認する。 接続が確認された場合は監理者に報告し、最終柵は存置すること。（外構撤去図を参照）		



法42条1項1号道路
南加瀬52号線（幅員10m）



配置図：1/200



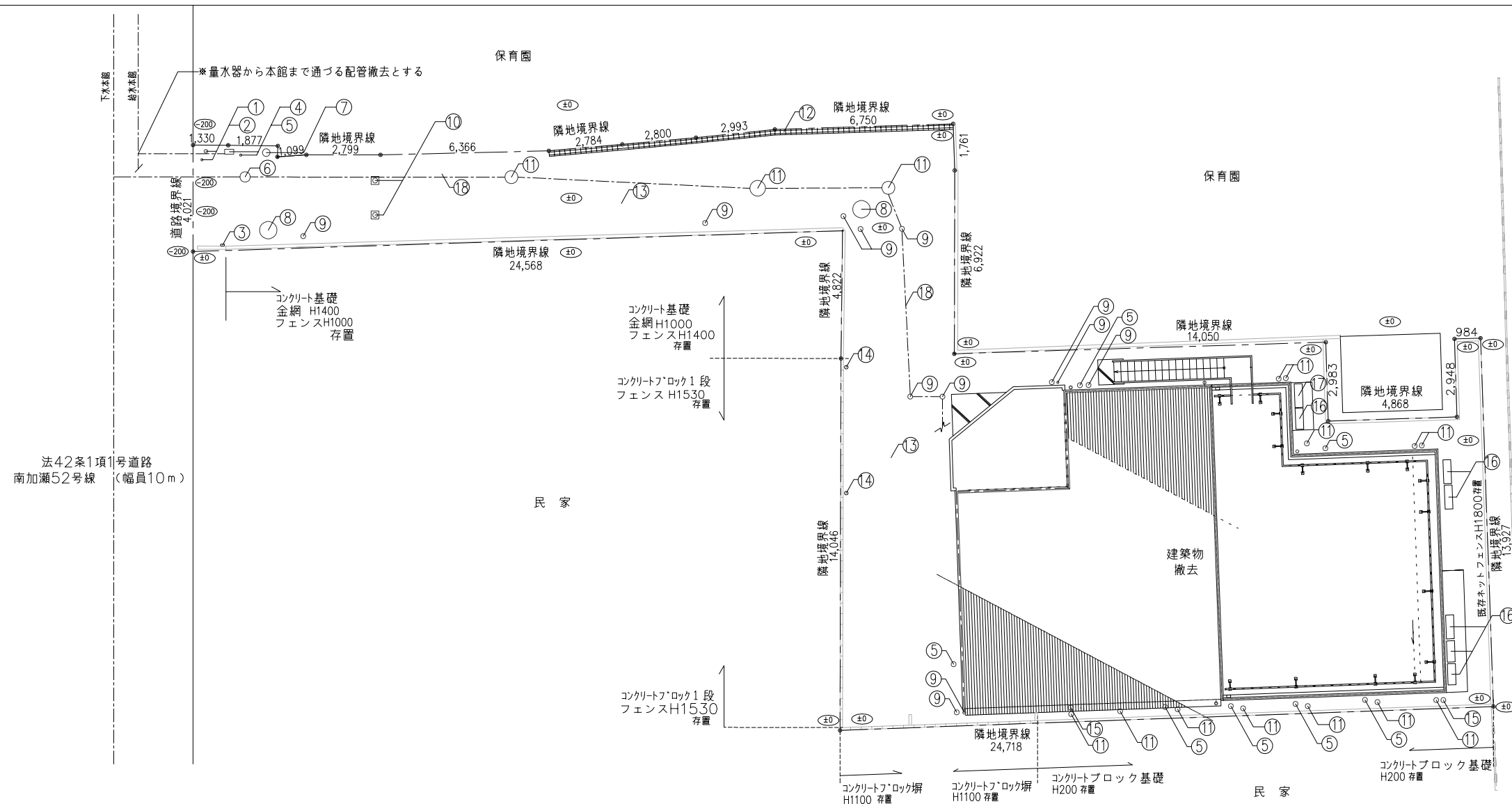
株式会社
多摩設計

川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

DATE
2025/*/*
DRAWN BY
hioe

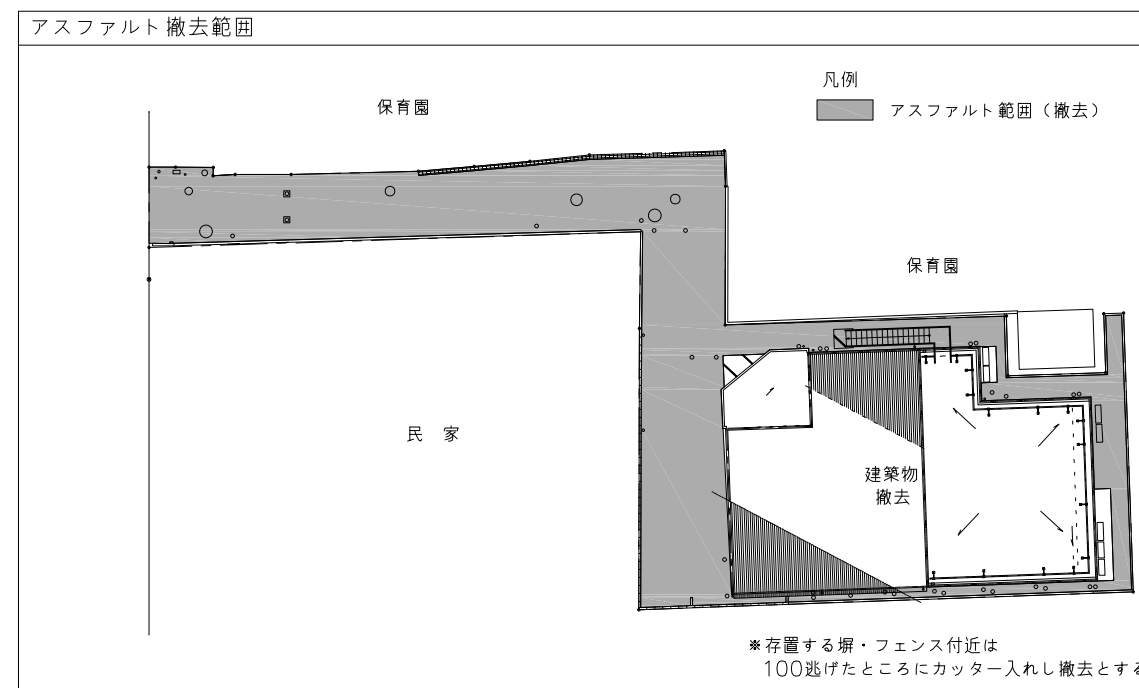
工事名称
（仮称）障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務
図名
設計概要、仕上

図面番号
A - 02
縮尺
A3：図示



外構撤去リスト				
番号	名称	箇所数	大きさ	備考
①	止水栓	1	100φ	
②	仕切弁	1	80φ	
③	インターホン	1	—	
④	量水器	1	350×200	本管まで通じる全ての管を撤去とする
⑤	バルブ栓	8	200φ	
⑥	最終柵	1	400φ	保育園の雨水排水が接続している可能性があるため、解体時に確認を行い、接続されている場合は残置とする。残置する場合は柵が突出しないよう天端まで土、碎石等で擦り付けること
⑦	引込柱	1	—	
⑧	電気柵	2	600φ	
⑨	汚水柵	12	200φ	
⑩	進入防止上下ポール	2	—	
⑪	雨水柵	13	—	
⑫	グレーチング	1	—	撤去後、保育園の柵が倒れないように、土留めを行う
⑬	アスファルト	—	—	撤去後、整地とする
⑭	シェード用ポール	2	—	
⑮	排水溝	2	100φ	
⑯	室外機	6	—	
⑰	給湯器	1	—	
⑱	埋設配管	—	—	電気・汚水・散水 全ての配管撤去とする

※ 存置物について
敷地を囲っている、コンクリートブロック塀・フェンスについては存置とする



記号	建築材料	種別	住宅以外等の居室	記号	建築材料	種別	住宅以外等の居室
A	防滑性ビニル床シート (長尺幅シート用が貼付材)	F★★★★	第3種換気設備	F	アルミサッシ	規制対象外	第3種換気設備
B	磁器質タイル	規制対象外		G	トイレブース	F★★★★	
C	ビニルクロス (壁紙施工用接着剤)	F★★★★		H			
D	VEP塗装	F★★★★		I			
E	化粧石膏ボード	規制対象外		J			

天井裏等への措置

天井裏等	室名	全ての居室	備考
1階天井裏		規制対象外 (F☆☆☆☆)	
2階天井裏		規制対象外 (F☆☆☆☆)	

機械換気風量計算表

階数	部屋名	床面積 (㎡)	天井高さ (m)	容積 (m³)	換気回数 (回/h)	必要換気量 (m³/h)	選定機種型式 (参考機種)	機器換気量 (m³/h)	実質換気回数 (回/h)
1階	作業室	124.33	2.600	323.25	0.5	161.62	EX-20SH5 同等品	540×2=1080	3.34
2階	会議室	33.53	2.600	87.17	0.5	43.58	EX-20SH5 同等品	540×1=540	6.19
	職員室	6.99	2.600	18.17	0.5	9.08	VD-10ZLCU9-S 同等品	85×1=85	4.67
	相談室	3.96	2.600	10.29	0.5	5.14	VD-10ZLCU9-S 同等品	85×1=85	8.26

備考
必要換気量 = 居室面積 × 天井高 × 換気回数 (V = A × h × 0.5)
換気回数を0.5回にて設計
換気経路は、平面図参照

階	室名	内装仕上げ	種別	記号	幅(長さ)	高さ(m)	面積(㎡)	係数	使用面積(㎡)	使用面積合計	階	室名	内装仕上げ	種別	記号	幅(長さ)	高さ(m)	面積(㎡)	係数	使用面積(㎡)	使用面積合計										
1階	玄関	床	F★★★★	A					0	OK	2階	廊下 ホール	床	F★★★★	A						0	OK									
		壁	F★★★★	C					0				壁	F★★★★	C					0											
		天井	規制対象外	E					0				天井	規制対象外	E					0											
		アルミサッシ	規制対象外	F					0				アルミサッシ	規制対象外	F					0											
	作業室	床	F★★★★	A					0			会議室	床	F★★★★	A						0		職員室	床	F★★★★	A					0
		壁	F★★★★	C					0				壁	F★★★★	C					0	壁			F★★★★	C				0		
		天井	規制対象外	E					0				天井	規制対象外	E					0	天井			規制対象外	E				0		
		アルミサッシ	規制対象外	F					0				アルミサッシ	規制対象外	F					0	アルミサッシ			規制対象外	F				0		
	男子ロッカ-	床	F★★★★	A					0			男子ロッカ-	床	F★★★★	A						0		相談室	床	F★★★★	A					0
		壁	F★★★★	C					0				壁	F★★★★	C					0	壁			F★★★★	C				0		
		天井	規制対象外	E					0				天井	規制対象外	E					0	天井			規制対象外	E				0		
	女子ロッカ-	床	F★★★★	A					0			女子ロッカ-	床	F★★★★	A						0		物置	床	F★★★★	A					0
		壁	F★★★★	C					0				壁	F★★★★	C					0	壁			F★★★★	C				0		
		天井	規制対象外	E					0				天井	規制対象外	E					0	天井			規制対象外	E				0		
	身障者トイレ	床	F★★★★	A					0			身障者トイレ	床	F★★★★	A						0		男子トイレ	床	F★★★★	A					0
		壁	F★★★★	D					0				壁	F★★★★	D					0	壁			F★★★★	D				0		
		天井	F★★★★	D					0				天井	F★★★★	D					0	天井			F★★★★	D				0		
	多機能トイレ	床	規制対象外	B					0			多機能トイレ	床	規制対象外	B						0		女子トイレ	床	F★★★★	A					0
		壁	規制対象外	BD					0				壁	規制対象外	BD					0	壁			F★★★★	D				0		
		天井	F★★★★	D					0				天井	F★★★★	D					0	天井			F★★★★	D				0		
男子トイレ	床	F★★★★	A					0	男子トイレ	床	F★★★★	A						0	階段室	床	F★★★★	A					0				
	壁	F★★★★	D					0		壁	F★★★★	D					0	壁		F★★★★	C				0						
	天井	F★★★★	D					0		天井	F★★★★	D					0	天井		規制対象外	E				0						
	トイレブース	F★★★★	G					0		トイレブース	F★★★★	G					0	トイレブース		F★★★★	G				0						
女子トイレ	床	F★★★★	A					0	女子トイレ	床	F★★★★	A						0	女子トイレ	床	F★★★★	A					0				
	壁	F★★★★	D					0		壁	F★★★★	D					0	壁		F★★★★	D				0						
	天井	F★★★★	D					0		天井	F★★★★	D					0	天井		F★★★★	D				0						
	トイレブース	F★★★★	G					0		トイレブース	F★★★★	G					0	トイレブース		F★★★★	G				0						

・天井裏等への措置・・・第3種又は規制対象外とする。
・仕上げは全て、F☆☆☆☆とし、クロルビリホス不使用とする。



株式会社
多摩設計

川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

DATE

2025/*/*

工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務

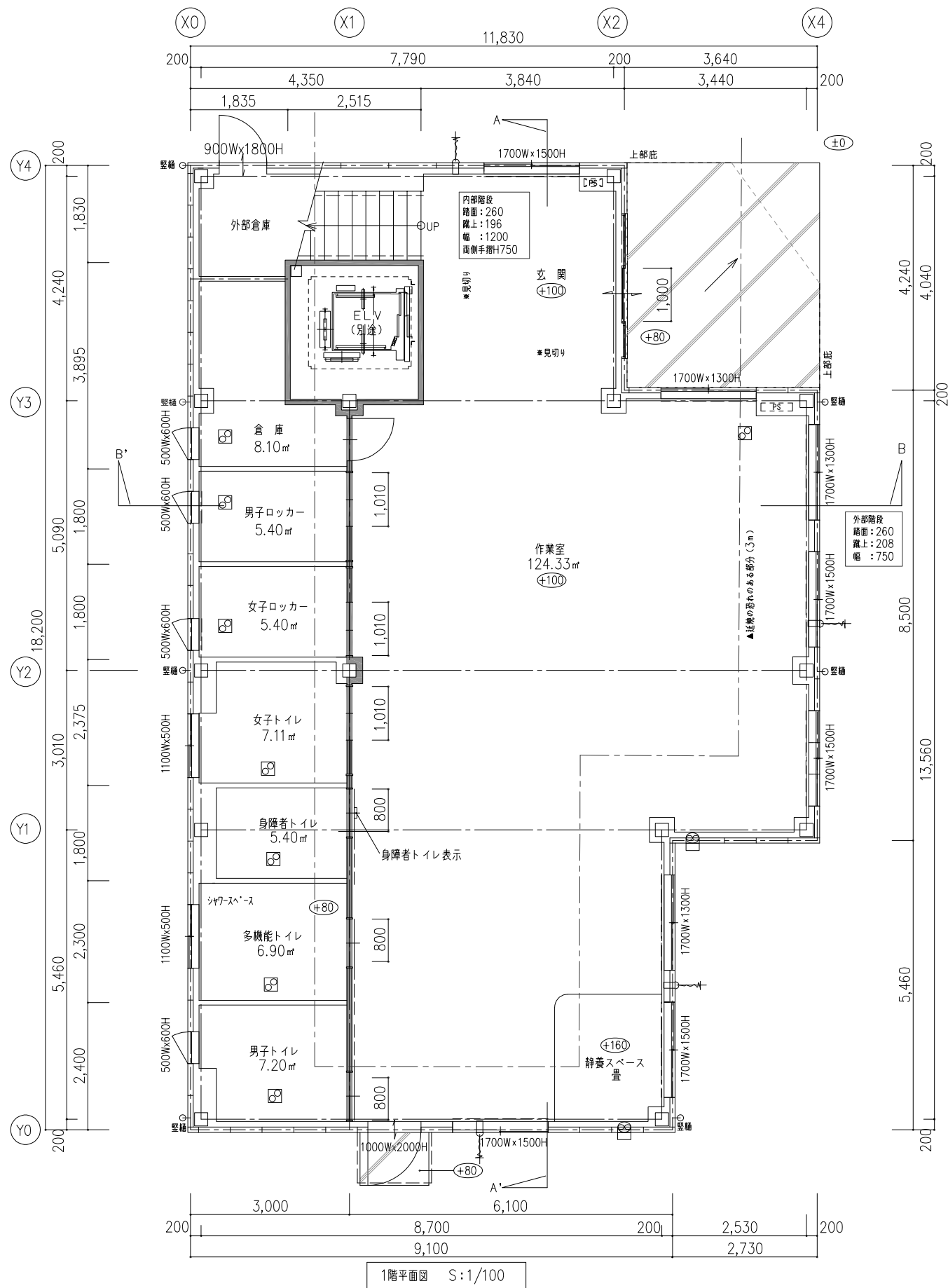
図面番号 A - 05

DRAWN BY

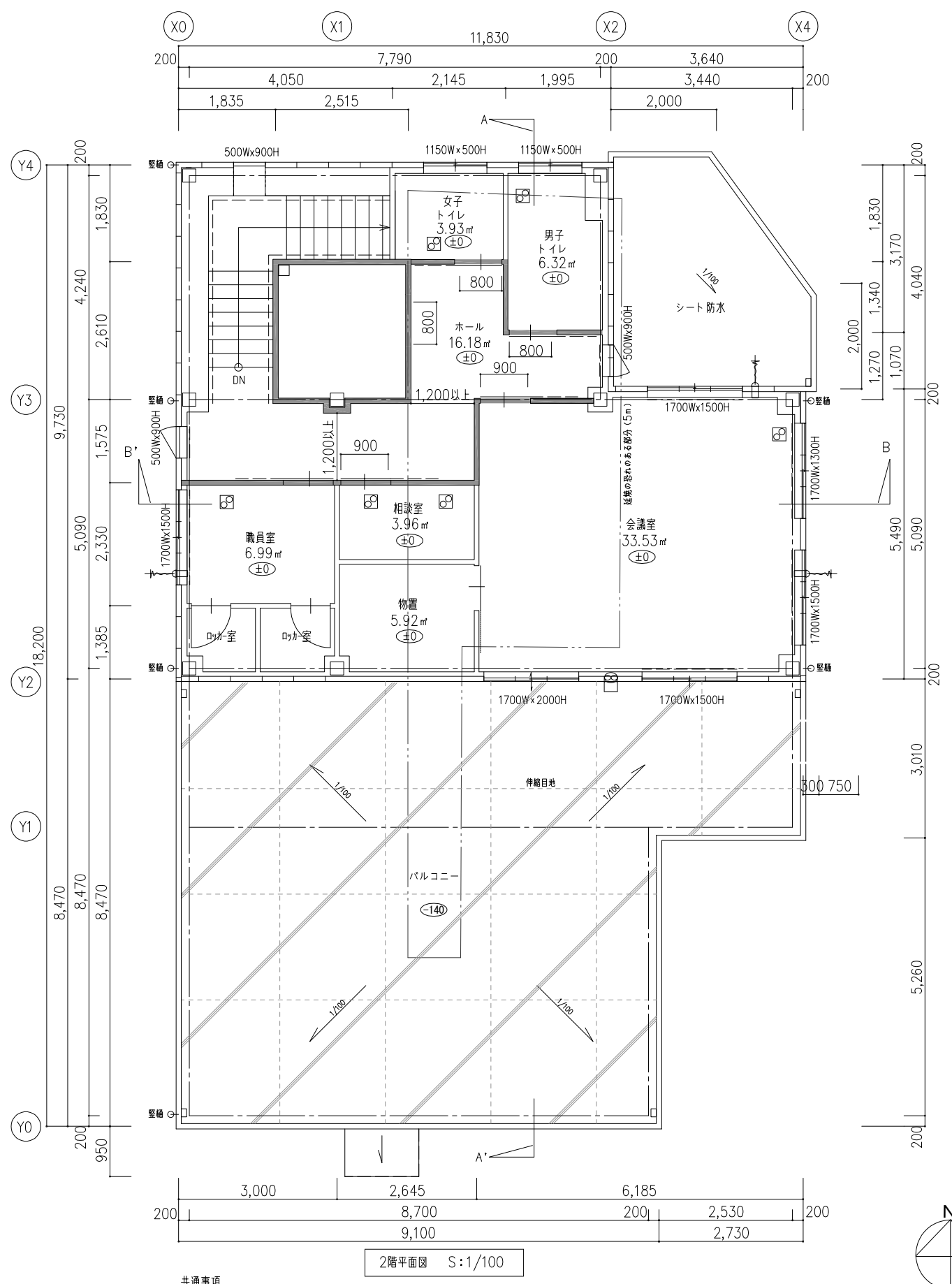
hiroe

図名 使用材料表

縮尺 -



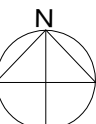
1階平面図 S:1/100



2階平面図 S:1/100

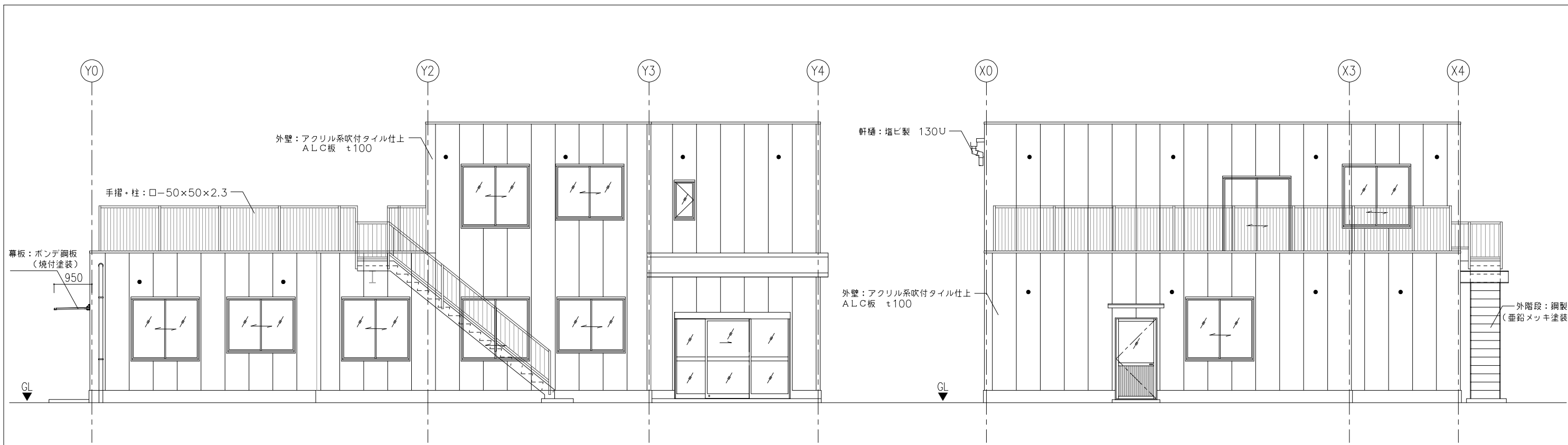
- 共通事項
- *延焼のおそれのある部分
 - ・換気扇 F D付・給気口 ベントキップ1100φSUS製
 - *火気使用箇所の排気ダクトはスチールダクトとし、ロケール7)50巻とする
 - *火気使用室の床・仕上げは準不燃材以上とする。
 - *カーテンは、防火とする。
 - *法37条については、適合している。
 - *コンロ前は下地・仕上げ不燃材料とする。(PB12.5+キッチンボード)

- 凡例
- 換気扇(壁)
 - 換気(天井)
 - 給気口
 - 令114条区画 準耐火構造 (告示1358号第一号ロー(1)) 強化石膏ボード t=15 軒裏、小屋裏まで達せしめる事。



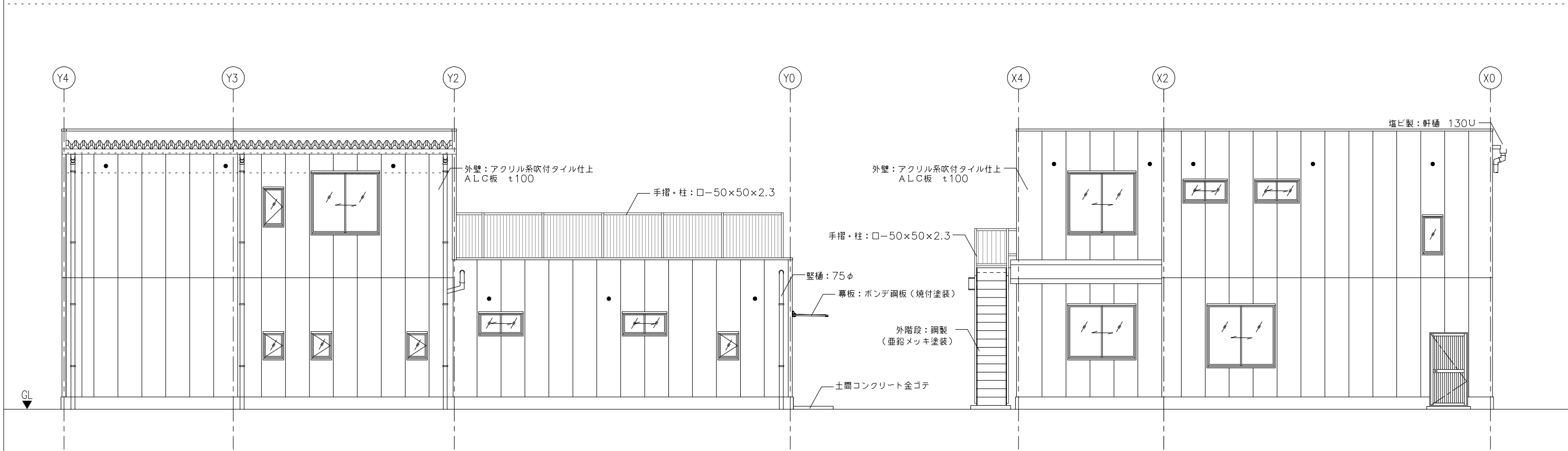
株式会社
多摩設計
川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

DATE	2025/11/30	工事名称	(仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務	図面番号	A - 06
DRAWN BY	hiroe	図名	2階平面図	縮尺	A3:1/100




東側立面図 S:1/100

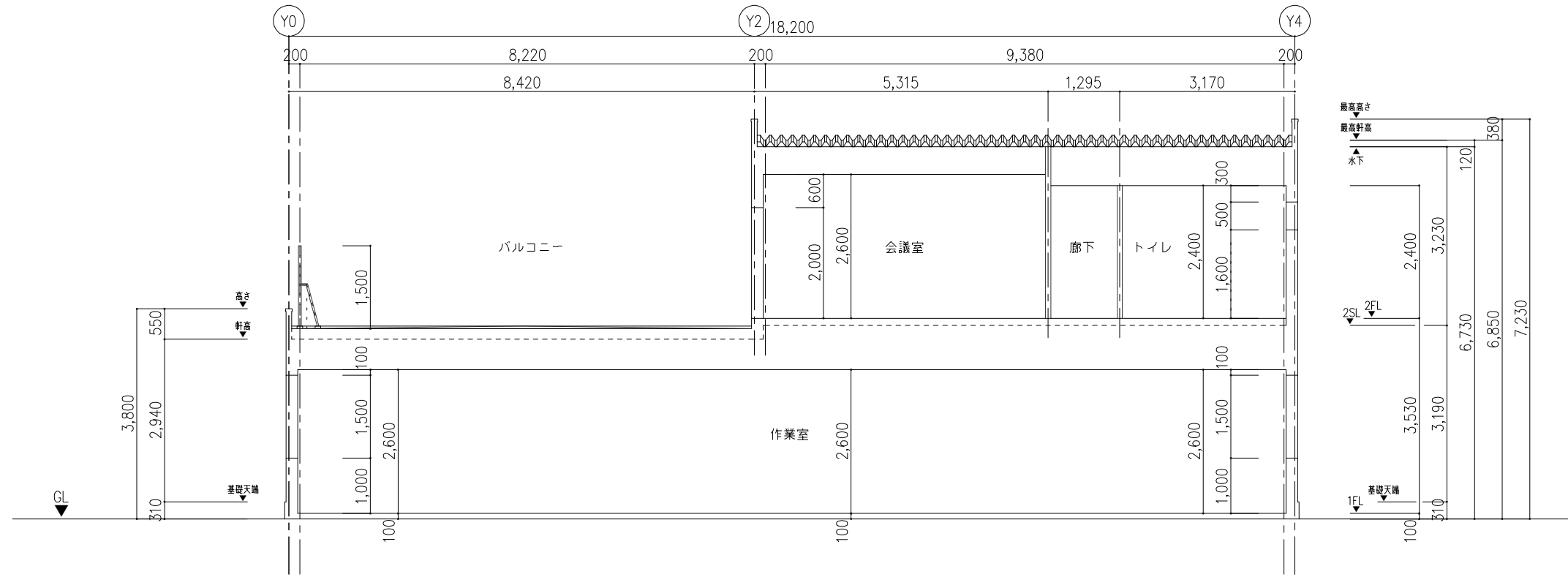
南側立面図 S:1/100



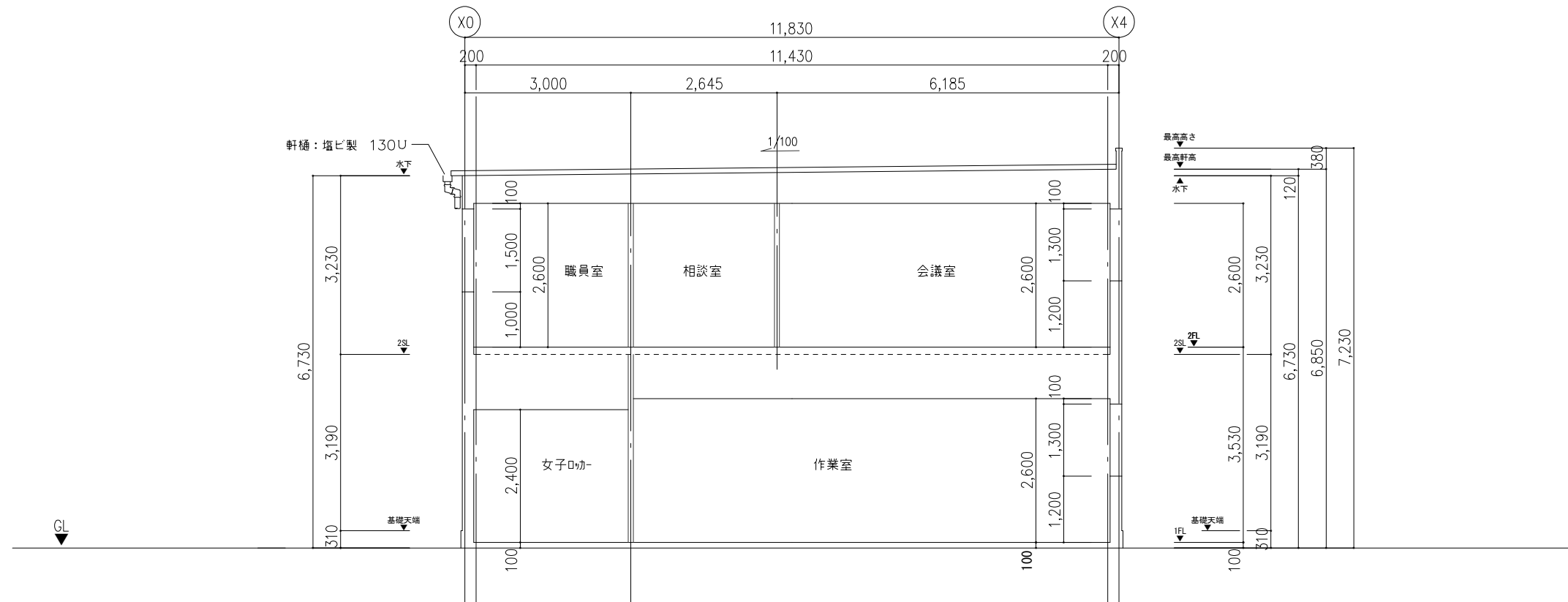
西側立面図 S:1/100

北側立面図 S:1/100


 株式会社 多摩設計	川崎市川崎区貝塚1-3-17 TEL 044-233-7521 一級建築士登録 第325083号 管理建築士 岩田 崇	DATE 2025/11/30	工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務	図面番号 A - 07
		DRAWN BY hiroe	図名 立面図	縮尺 A3:1/100

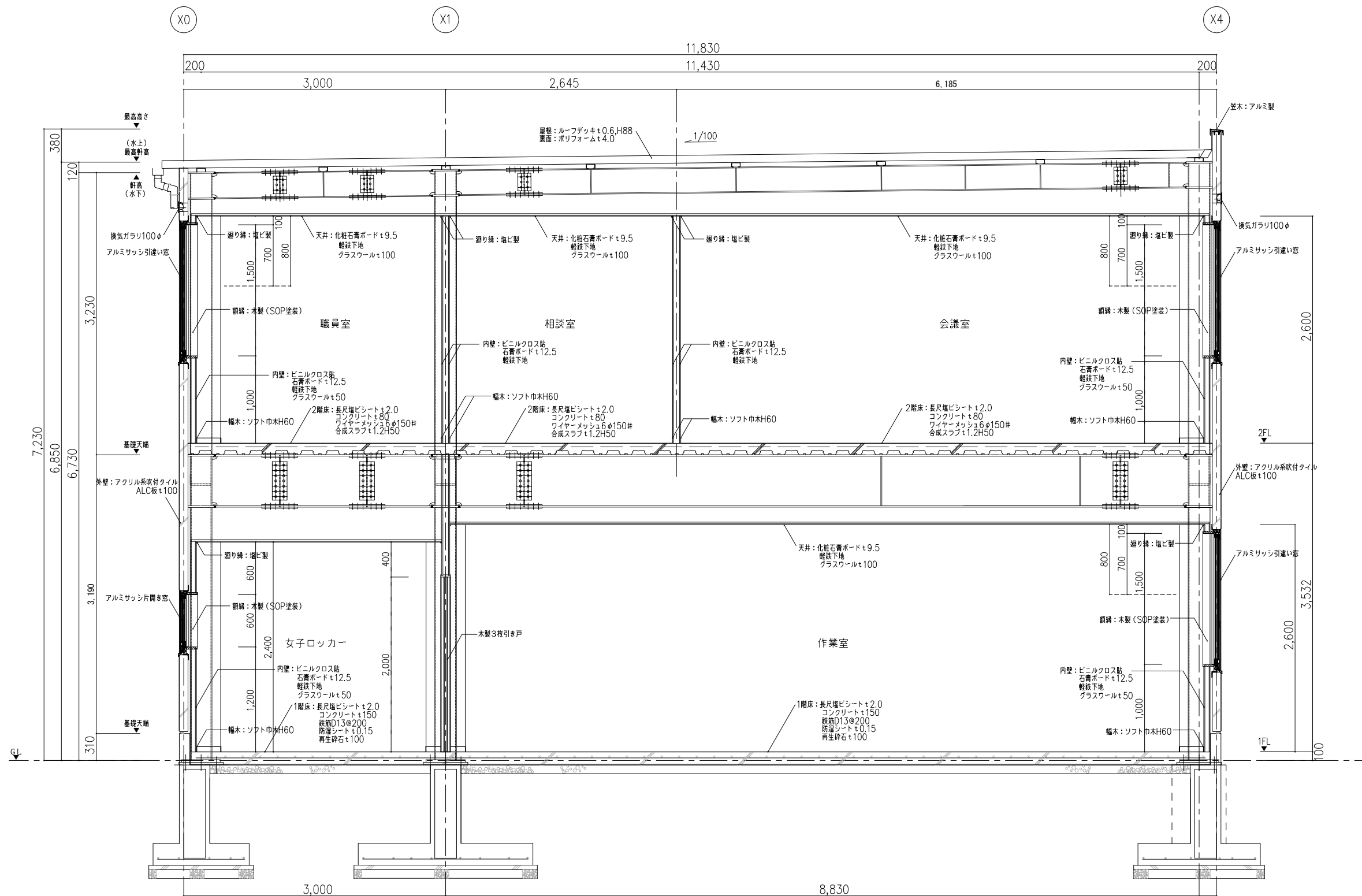



A-A' 断面図 S:1/100

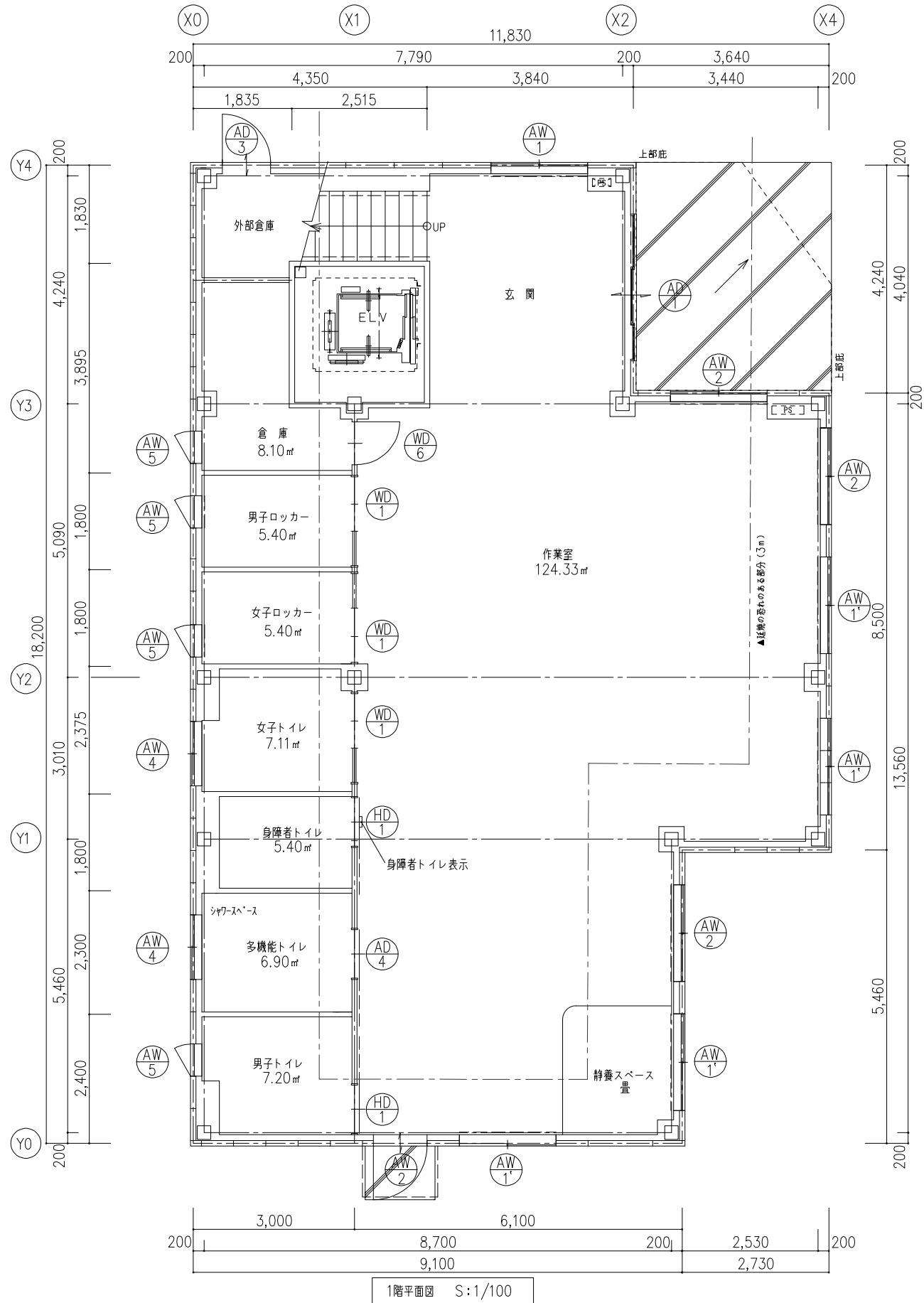


B-B' 断面図 S:1/100

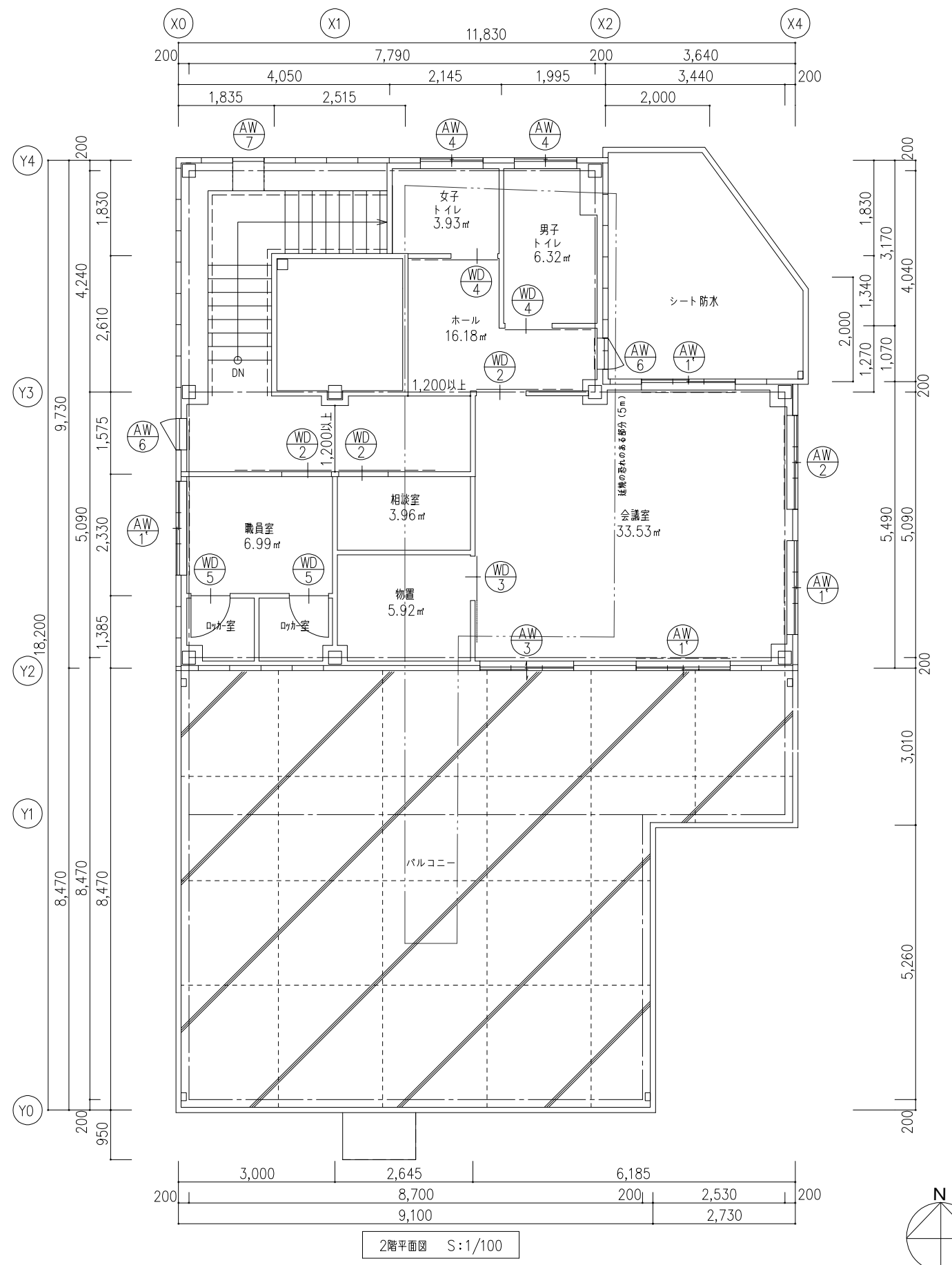
	 株式会社 多摩設計	川崎市川崎区貝塚1-3-17 TEL 044-233-7521 一級建築士登録 第325083号 管理建築士 岩田 崇	DATE 2025/11/30 DRAWN BY hireo	工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務 図名 断面図	図面番号 A - 08 縮尺 - A3:1/100
--	---	--	---	---	------------------------------



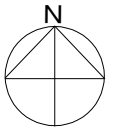
 <p>株式会社 多摩設計</p>	<p>川崎市川崎区貝塚1-3-17 TEL 044-233-7521 一級建築士登録 第325083号 管理建築士 若田 崇</p>	<p>DATE 2025/11/30 DRAWN BY hiroe</p>	<p>工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務 図名 矩計図</p>	<p>図面番号 A - 09 縮尺 - A3:1/50</p>
--	--	---	---	-------------------------------------



1階平面図 S:1/100



2階平面図 S:1/100



株式会社
多摩設計

川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

DATE
2025/*/*
DRAWN BY
hiroe

工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務
図名 建具キープラン

図面番号 A-10
縮尺 A3:図示

記号数量	AD1	自動片引きドア (タッチ式開放)	1	AD2	片開き戸	1	AD3	片開き戸	1	AD4	片開き戸	1	AW1	引違い窓	1					
▼FL																				
場所	1階:玄関				1階:作業室				1階:外部倉庫				1階:多機能トイレ				1階:玄関			
仕上	アルミ製 見込み:70				アルミ製 見込み:70				アルミ製 見込み:70				アルミ製 見込み:62				アルミ製 見込み:70			
ガラス	透明ガラス t=6.0				上部:網入り透明ガラス t=6.8 下部:アルミパネル				上部:アルミパネル 下部:アルミパネル				上部:網入り型ガラス t=6.8 下部:アルミパネル t=3.0				透明ガラス t=3.0			
金物	付属金物一式				レバーハンドル, サタン付シリンダ錠, 付属金物一式				レバーハンドル, サタン付シリンダ錠, 付属金物一式				把手, 付属金物一式				クレセント, 網戸, 付属金物一式			
備考	有効=1000, 衝突防止シール												有効800, アルミ額縁							
記号数量	AW1	引違い窓	8	AW2	引違い窓	4	AW3	引違い窓	1	AW4	片開き戸	4	AW5	引違い窓	4					
▼FL																				
場所	1階:作業室 2階:会議室, 職員室				1階:作業室 2階:会議室, 職員室				2階:会議室				1階:女子トイレ, 多機能トイレ 2階:男子トイレ, 女子トイレ				1階:男子ロッカ, 女子ロッカ, 倉庫, 男子トイレ			
仕上	アルミ製 見込み:70				アルミ製 見込み:70				アルミ製 見込み:70				アルミ製 見込み:70				アルミ製 見込み:70			
ガラス	網入り透明ガラス t=6.8				網入り透明ガラス t=6.8				網入り透明ガラス t=6.8				網入り型ガラス t=6.8				網入りガラス t=6.8 (1階:型ガラス, 2階:透明ガラス)			
金物	クレセント, 網戸, 付属金物一式				クレセント, 網戸, 付属金物一式				クレセント, 網戸, 付属金物一式				クレセント, 網戸, 付属金物一式				レバーハンドル, 網戸, 付属金物一式			
備考	防火設備				防火設備				防火設備				防火設備, アルミ額縁				防火設備			
記号数量	AW6	片開き窓	2	AW7	F1×窓	1	WD1	木製3連引戸 (ハンガー式)	3	WD2	片引き戸 (ハンガー式)	3	WD3	片引き戸 (ハンガー式)	1					
▼FL																				
場所	2階:ホール, 廊下				階段室				1階:男子ロッカ, 女子ロッカ, 女子トイレ				2階:会議室, 職員室, 相談室				2階:物置			
仕上	アルミ製 見込み:70				アルミ製 見込み:70				木製				木製				木製			
ガラス	網入りガラス t=6.8 (1階:型ガラス, 2階:透明ガラス)				網入り透明ガラス t=6.8				アクリル板 t=4.0 (100×100)				アクリル板 t=4.0 (600×500)							
金物	レバーハンドル, 網戸, 付属金物一式				付属金物一式				付属金物一式				錠錠, Vレール, 彫込引手				錠錠, Vレール, 彫込引手			
備考	防火設備				防火設備				有効=1005, 額縁:塩ビシート				有効=800, 額縁:塩ビシート				額縁:塩ビシート			
記号数量	WD4	片引き戸 (ハンガー式)	2	WD5	片開き戸	2	WD6	片開き戸	1	HDD1	鋼製軽量片引き戸 (ハンガー式)	2	AW1	引違い窓	1					
▼FL																				
場所	2階:男子トイレ, 女子トイレ				2階:ロッカー室				1階:倉庫				1階:身障者トイレ, 男子トイレ							
仕上	木製				木製				木製				鋼製							
ガラス	アクリル板 t=4.0 (100×100)				レバーハンドル, サタン付シリンダ錠, 兆番, 付属金物一式				レバーハンドル, サタン付シリンダ錠, 兆番, 付属金物一式				アクリル板 t=4.0 (100×100)							
金物	錠錠, Vレール, 彫込引手				レバーハンドル, サタン付シリンダ錠, 兆番, 付属金物一式				レバーハンドル, サタン付シリンダ錠, 兆番, 付属金物一式				把手・その他付属金物一式							
備考	有効=800, 額縁:塩ビシート				額縁:塩ビシート				額縁:塩ビシート				有効=800 化粧鋼板							



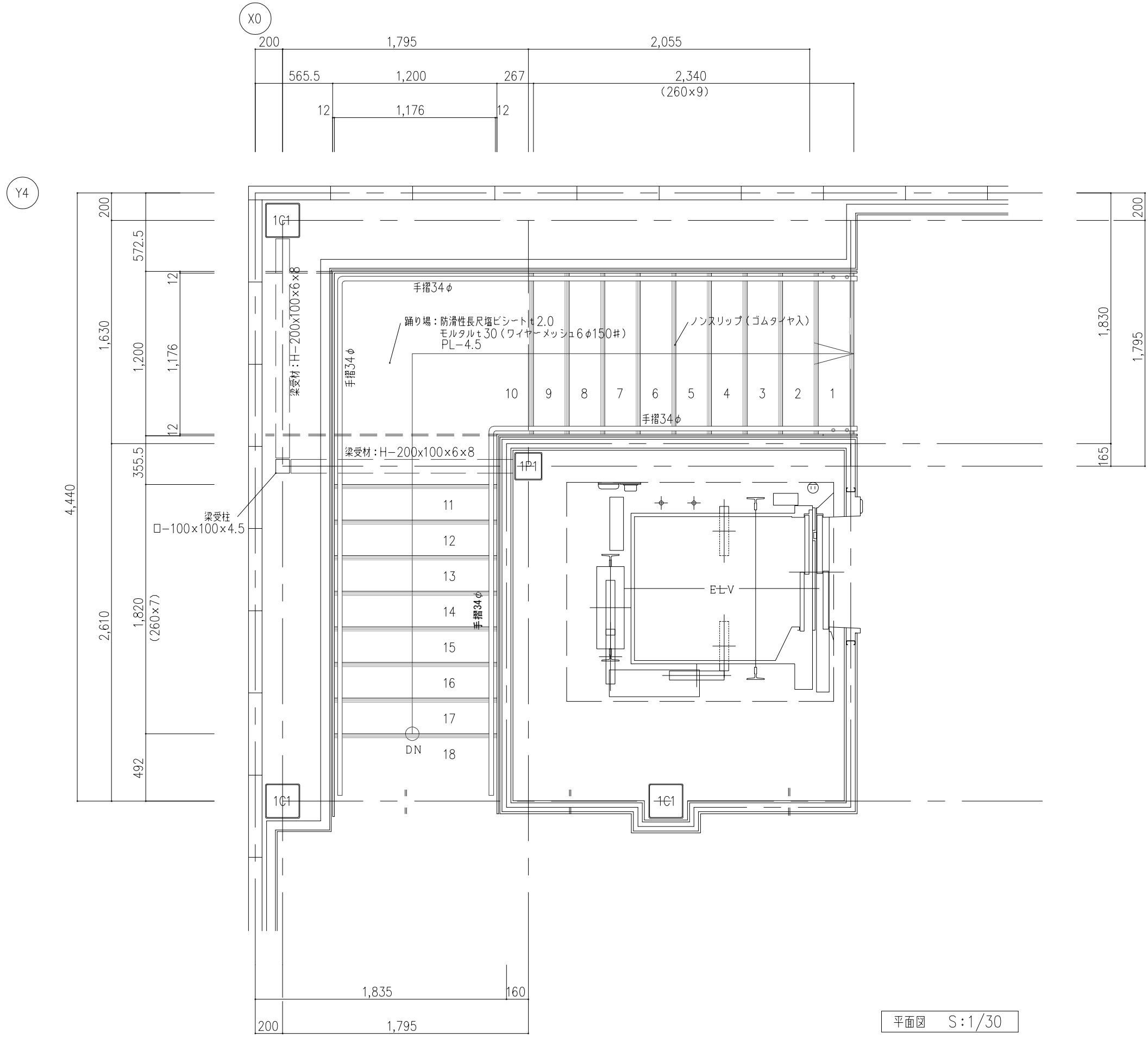
株式会社
多摩設計

川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

DATE
2025/*/*
DRAWN BY
hiroe

工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務
図名 建具詳細図 1

図面番号 A-11
縮尺 A3:図示



平面図 S:1/30

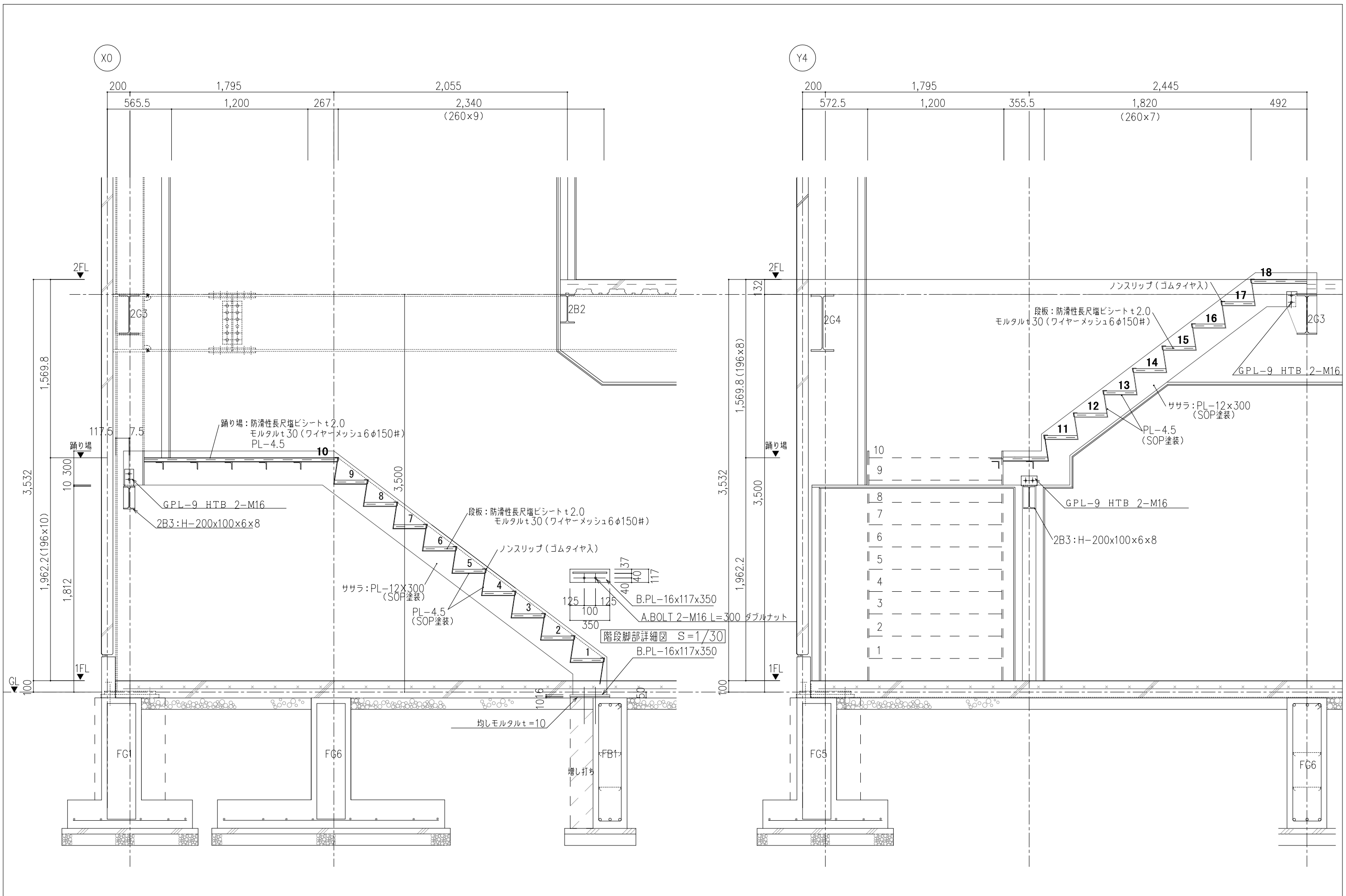



株式会社
多摩設計
川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 岩田 崇

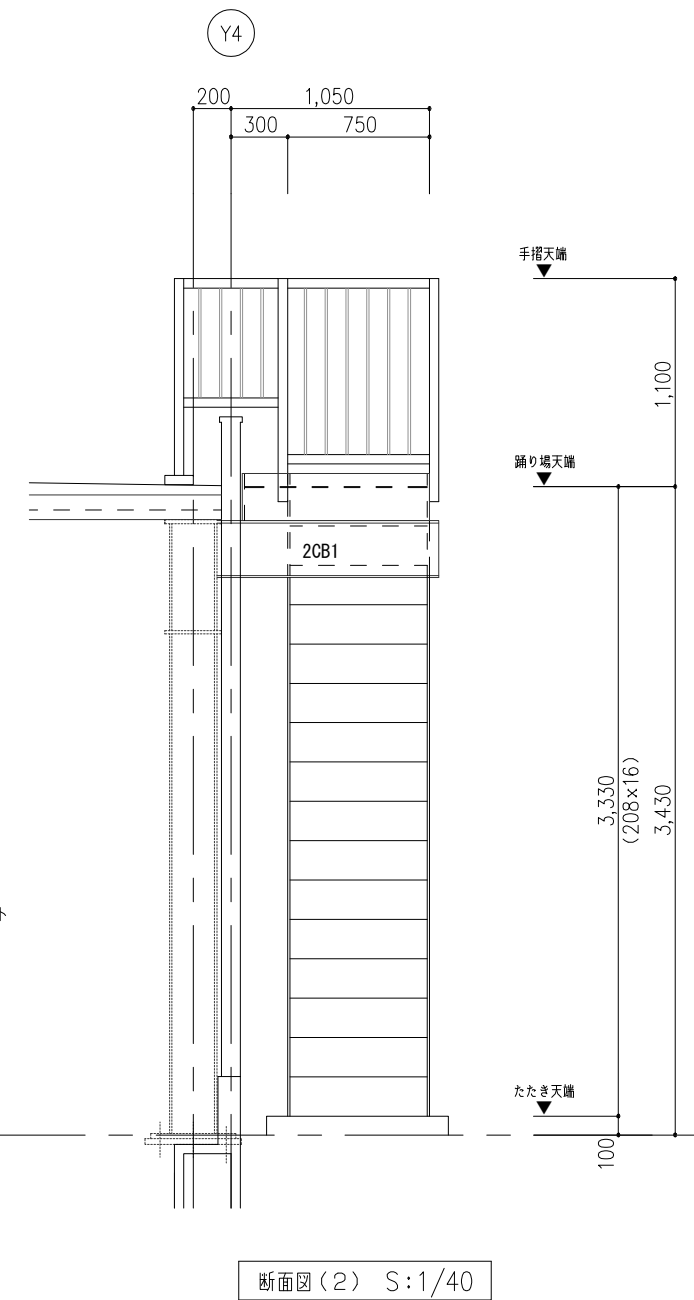
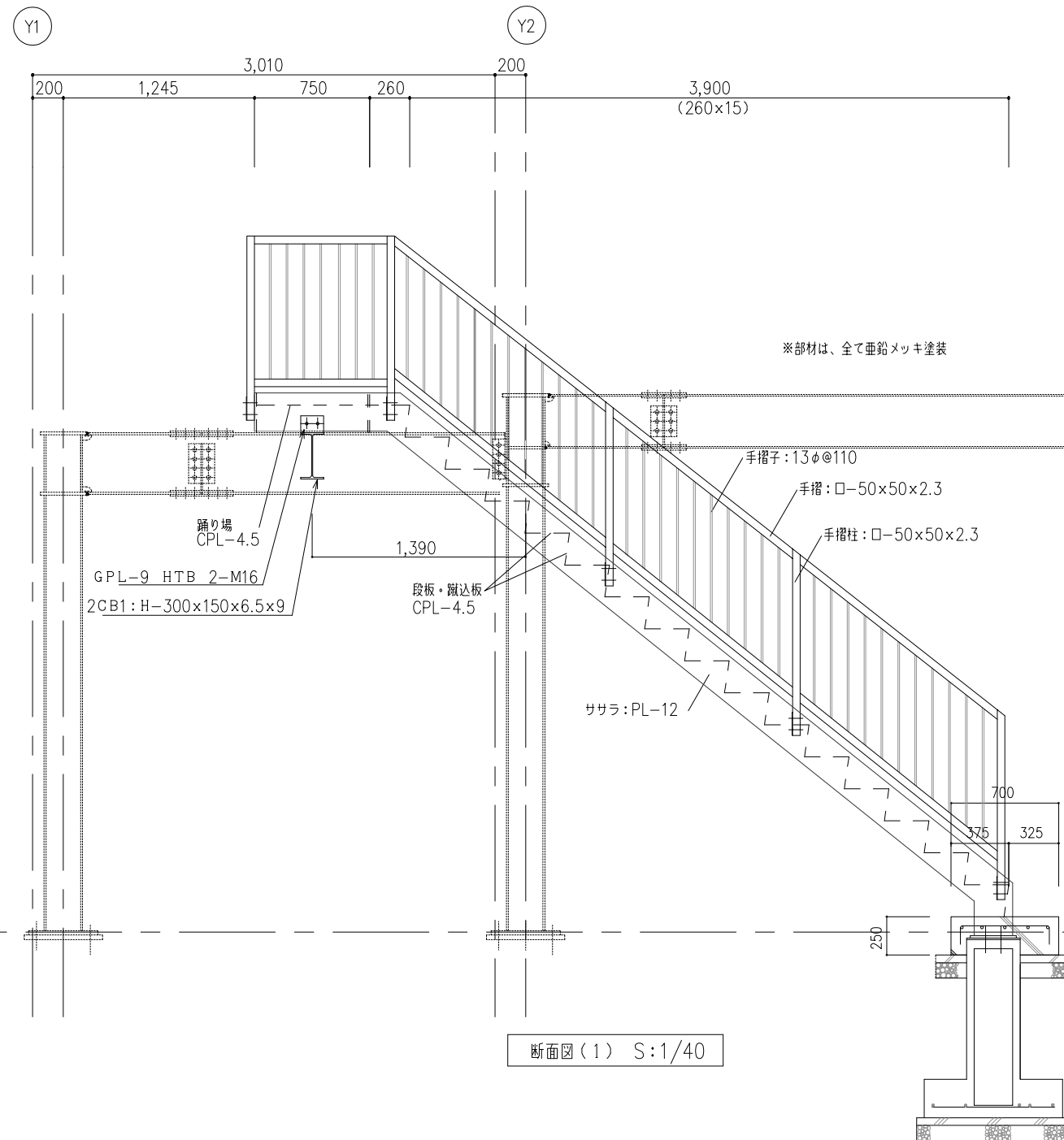
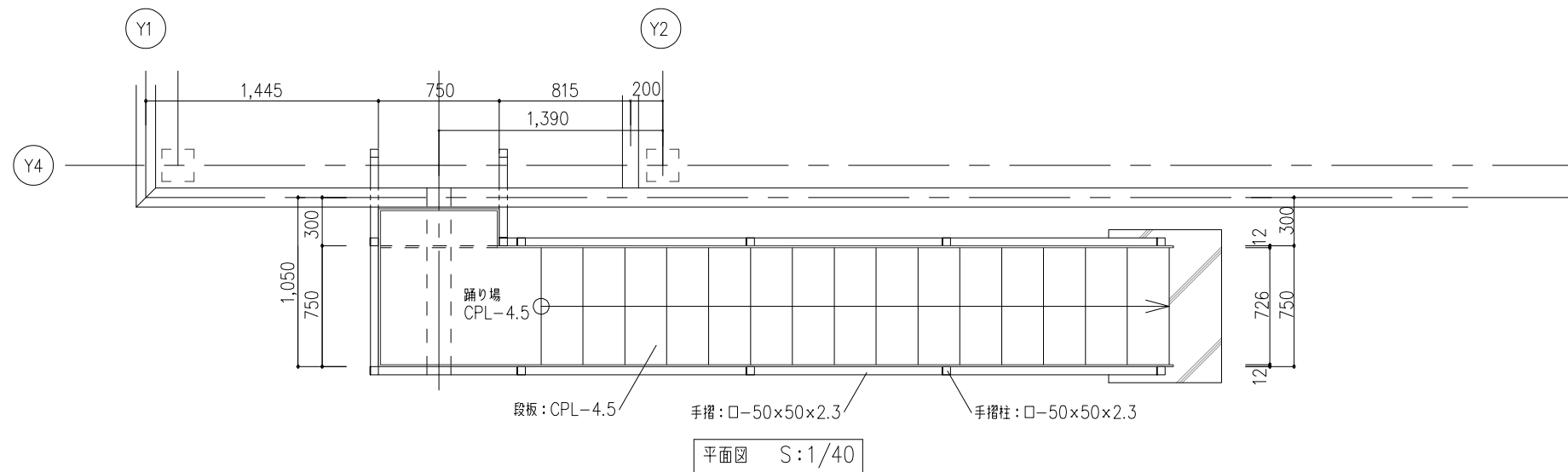
DATE
2025/11/30
DRAWN BY
hiroe

工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務
図名 内部階段平面詳細図

図面番号 A - 12
縮尺 - A3:1/30



 株式会社 多摩設計	川崎市川崎区貝塚1-3-17 TEL 044-233-7521 一級建築士登録 第325083号 管理建築士 若田 崇	DATE 2025/11/30	工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務	図面番号 A - 13
		DRAWN BY hiroe	図名 内部階段断面詳細図	縮尺 A3:1/30



株式会社
多摩設計

川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 岩田 崇

DATE
2025/11/30
DRAWN BY
hiroe

工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務
図名 外部階段平面・断面詳細図

図面番号 A-14
縮尺 A3:1/40

構造設計標準仕様

適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 **障害福祉サービス事業所 どりーむ建替工事**
建築場所 地名地番：神奈川県川崎市幸区南加瀬2358-1、2358-4の一部
住居表示：神奈川県川崎市幸区南加瀬3-4-7
- (2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築
- (3) 構造種別
 木造 補強コンクリートブロック造 (CB) 鉄骨造 (S)
 鉄筋コンクリート造 (RC) 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
 プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC) 鉄筋コンクリート造 (RC)
- (4) 階数 地下 階 地上 2 階 塔屋 1 階
- (5) 主要用途 倉庫
- (6) 屋上付属物
 高架水槽 KN キュービクル KN 広告塔 煙突
- (7) 特別な荷重
 エレベーター 6 人乗 (ロープ式) 油圧式 リフト KN ホイスト KN
 倉庫積載用 N/m² 受水槽 KN ダムウェーター KN
- (8) 付帯工事
 門扉 換気
- (9) 増築計画 有 () 無
- (10) 構造計算ルート X方向ルート 1- (2) Y方向ルート 1- (2)

2. 使用構造材料

(1) コンクリート (JIS A 5308) 2003年版にも対応するもの ※品質管理強度 $F_q = \max(F_c, F_d)$

適用箇所	種類	設計基準強度 $F_c = N/mm^2$	品質管理強度 $F_q = N/mm^2$	スランプ cm	備考
格コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18	18	18	
土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21	21	18	
基礎	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21	21	18	
R2F床	<input checked="" type="checkbox"/> 普通、 <input type="checkbox"/> 軽量	18	18	18	
	<input type="checkbox"/> 普通、 <input type="checkbox"/> 軽量				
	<input type="checkbox"/> 普通、 <input type="checkbox"/> 軽量				

- (2) コンクリートブロック (CB)
 A種 B種 C種 厚 100 120 150 190

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋 (JIS G 3112)	<input checked="" type="checkbox"/> SD295A	D16以下	基礎 <input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手
	<input type="checkbox"/> SD295B		
	<input type="checkbox"/> SD345	D19以上	基礎 <input type="checkbox"/> ガス圧接継手
高強度せん断鋼筋			<input type="checkbox"/> 特殊継手 ()
丸 鋼			
溶接金網 (JIS G 3551)			

(4) 鉄骨

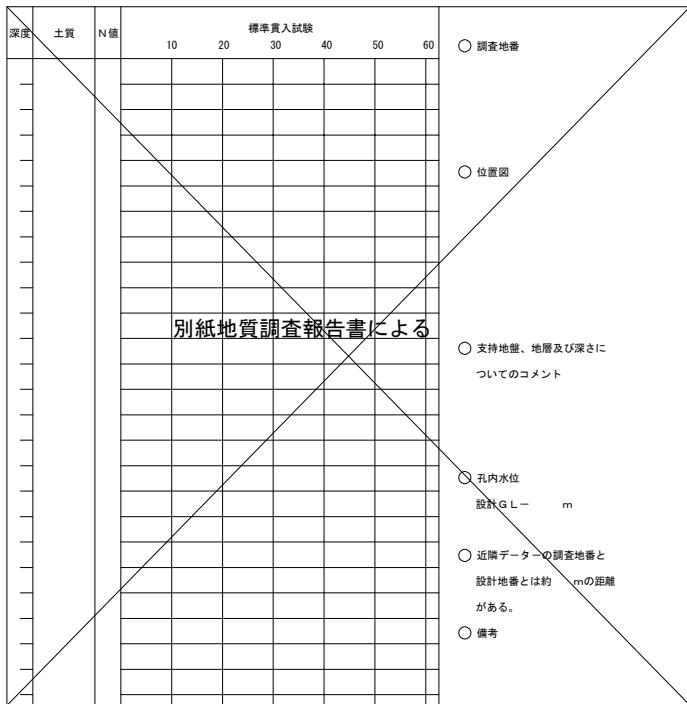
種類	使用箇所	現場溶接	備考
<input checked="" type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/>	梁・プレート	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<input checked="" type="checkbox"/> BCR295 <input type="checkbox"/>	柱	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<input checked="" type="checkbox"/> SNR400B <input type="checkbox"/>	タンバクルプレース	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<input checked="" type="checkbox"/> SSC400 <input type="checkbox"/>	梁	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<input checked="" type="checkbox"/> SN490C <input type="checkbox"/>	ダイヤフラム	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

- (5) ボルト
- 高力ボルト 大臣認定番号 (NBLT-9030 同等品)
普通：F 8 T 特殊：S 1 0 T 認定品 M12 M16 M20 M22
高力ボルトすべり係数試験 要 否
高力ボルトすべり係数試験 要 否
- 中ボルト (強度区分 6.8)
M12 M16 M20
- アンカーボルト (JIS G 3138)
 SNR400B M27 L = 20d mm以上 ナット シングル ダブル (フック付)
 M L = mm以上 ナット シングル ダブル (フック付)
以上 シングル ダブル
- 頭付スタッドボルト
 $\phi =$ mm 使用箇所 柱 大梁 小梁
 $\phi =$ mm 使用箇所 柱 大梁 小梁

- (6) 屋根、床、壁
- ALC版 厚 100
 折 板 H = 88 厚 0.6 (SGL0C)
 合成スラブ EZ50 厚 1.2 (SDP11G)
 床パネル
 外壁：防火サイディング t=16

3. 地盤

- (1) 地盤調査資料と調査計画
 有 (敷地内 近隣) 無 (調査予定 有 無)
- | 調査項目 | 資料あり | 調査計画 | 調査項目 | 資料あり | 調査計画 | 調査項目 | 資料あり | 調査計画 |
|----------------|------|------|--------|------|------|--------|-------------------------------------|------|
| ボーリング調査 | | | 静的貫入試験 | | | 標準貫入試験 | | |
| 水平地盤反力係数の測定 | | | 土質試験 | | | 物理探査 | | |
| 試験掘 (支持層の確認) | | | 平板載荷試験 | | | 液状化判定 | | |
| スウェーデン式サウンディング | | | 現場透水試験 | | | P S検査 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
- 注) 上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに を記入する。
- (2) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)



注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

- (1) 直接基礎
 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験掘 有 無
深さ G.L.-1.2m 支持層-
長期許容支持力 50 KN/m² 載荷試験 有 無
- (2) 杭基礎 支持層-
 杭基礎

杭種	材料	杭種	備考
<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> PRC	PRC (<input type="checkbox"/> I種 <input type="checkbox"/> II種 <input type="checkbox"/> III種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み	
<input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼	PHC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 埋込み (セメントミルク工法)	
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 摩擦杭	鋼材 <input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> STK400	<input type="checkbox"/> 回転貫入鋼管杭 (G-EGSパイル工法)	
<input type="checkbox"/> 現場打ちコンクリート杭	コンクリート $F_c =$ N/mm ² スランプ セメント量 kN/m ³ 鉄筋 主筋 SD HOOP SD	<input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 拡張杭 <input type="checkbox"/> リバースサーキュレーション <input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミニアース <input type="checkbox"/> BH <input type="checkbox"/> 深礎 <input type="checkbox"/> 手掘 <input type="checkbox"/> 機械掘	拡張杭 日本建築センター認定 第 号 年 月 日

杭施工結果報告書

試験杭 有 無 (打ち込み 載荷) 本

杭種 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

- 本標準仕様及び鉄筋コンクリート構造配筋標準図はコンクリートの設計基準強度 (F_d) が 3 6 N/mm²以下に適用する。
- (1) コンクリート
 コンクリートは J I S 認定工場の製品とし、施工に関しては、標準図に記載されている事項を除き J A S S 5 (2003年版) による。
 耐久設計基準強度 F_d 短期 (18N/mm²) 標準 (24N/mm²) 長期 (30N/mm²) 超長期 (36N/mm²)
 セメントは、J I S R 5 2 1 0 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
 事中、事中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
 フレッシュコンクリートの強化物測定は、原則として現場現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定値の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試験から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
 構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体 (J A S S 5 T - 6 0 3) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込み量が 1 5 0 m をこえる場合は 1 5 0 m ごとまたは、その端数ごとに 1 回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた 3 台の選定率からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり 6 本以上とし、そのうち 4 運用に 3 本を用いる。
 ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送機士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が 2 5 °C 未満の場合は 1 5 0 分、2 5 °C 以上の場合は 1 2 0 分以内とする。

- (2) 鉄筋
 鉄筋は J I S G 3 1 1 2 の規格品を標準とする。施工は J A S S 5 (1997) による。
J A S S 5 による。
 高強度せん断補強筋は、J I S G 3 1 3 7 に規定される D 種 1 号適合品とする。
 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
 D 1 9 未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D 1 9 以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
 ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (2 0 0 箇所を超えるときには、2 0 0 箇所ごと) に 1 回行い、1 回の試験は 5 本以上とする。
外観検査 有 無、引張試験 有 無、超音波試験 有 無
柱の帯筋 (H O O P) の加工方法は、 H 型 (タグ型) W 型 (溶接型) S 型 (スパイラル型) とする。
 コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取組要綱」第 4 条の試験機関で行うこと。
試験機関名 未定 (都知事登録番号)
代行業者名
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者を行う。

- (3) 型枠
 材料 合板厚 1 2 mm を標準とする。 施工は J A S S 5 による。
 型枠存置期間

種別 部位 の 取組 要 求 等	せき板				支柱			
	基礎、はり側、柱、壁	スラブ、はり下	スラブ	はり下	スラブ	はり下	スラブ	はり下
15°C以上	2	3	4	6	8	17	28	
	3	5	6	10	12	25	28	
5°C未満	5	8	10	16	15	28	28	
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm ²				設計基準強度の 50%			
					設計基準強度の 85%			
					100%			

- 注) 1) 片持ばり、庇、スパン 9.0m 以上のはり下は、工事監理者の指示による。
2) 大ばりの支柱り盛りかえは行わない。また、その他のはり下の場合も原則として行わない。
3) 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
4) 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを用く。
5) 支柱り盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注) 6) 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
 日本建築学会「J A S S 6」鉄骨精度検査基準「鉄骨工事技術指針」
 社) 日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
 鉄骨制作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違いのずれの検査・補強マニュアル」
- (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
 製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
 認定または登録工場 (グレード 都登録 ランク)
 材料規格証明書または試験成績書
 鋼材 高力ボルト 特殊ボルト 頭付スタッド
 社内検査表
- (3) 工事監理者が行う検査項目
(印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
 現寸検査 組立・開先検査 製品検査
 建方検査
- (4) 接合部の溶接は下記によること
 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取組要綱 (建築構造設計指針 1 2 章)
 日本建築学会「溶接工作規程、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」
- (5) 接合部の検査
 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率または検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
<input checked="" type="checkbox"/> 完全溶込み溶接部	外観検査 (※)	100 %	30 %	%	%
	超音波探傷試験	%	%	%	%
	内質検査 (注)	%	%	%	%
<input checked="" type="checkbox"/> 隅内溶接部	マクロ試験・その他	%	%	%	%
	外観検査 (※)	100 %	30 %	%	%
第三者検査機関名	未定 (都知事登録番号)				
第三者検査機関名とは、建築主、工事監理者または、工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

(注) 東京都の要綱に基づき、必要となる建築物の場合に実施する。
注) 現場溶接部については、原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を 100% 行うこと。
注) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主等に報告すること。

- 内質検査 硬さ試験 示温塗料塗布
- 高力ボルトは「J I S B 1 1 8 6 の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを産金外被 2 倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。ただしショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面赤さびが 6 0 S 以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。締付け後の検査は、各種付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

- (6) 防錆塗装
 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで覆われる以外の部分とする。錆止めペイントは、 J I S K 6 6 2 1 J I S K 6 6 2 5 を使用して
4 つ星 2 回塗り標準とするが、状況に応じて決定すること。
 現場における高力ボルト接合部及び接合部の現地調査は入室に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し 2 回塗りとする。

- (7) 耐火被覆の材料
 耐火付ロックウール (7) 25

7. 設備関係

- 特別以外の貫通孔は原則として設けず、設ける場合は設計者の承認を得ること。
 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの 1/3 以下とし管の間隔を管径の 3 倍以上かつ 5 0 mm 以上を原則とする。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
 必要に応じて記録写真を撮影保管すること。

一級建築士大臣登録第 103960 号
金子 久男

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
 d …異形鉄筋の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D …部材の成 R …直径
 ϕ …丸鋼 r …半径 Q …中心線 b …部材間の内法距離 h …部材間の内法高さ
 ST …あばら筋 $HOOP$ …帯筋 S … $HOOP$ …補強帯筋 ϕ …直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は3d以上、D19以上は4d以上	※片持スラブ上端筋の先端		

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

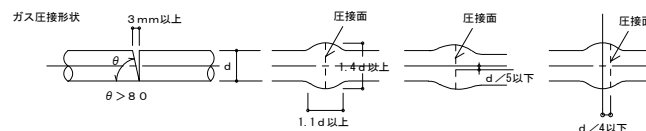
図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A	16φ以下 D16	3d以上
		SD295B、SD345	19φ以上 D19	4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A	16φ以下 D16	4d以上
		SD295B、SD345	19φ~25φ D19~D25 28φ~32φ D29~D38	6d以上 8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)
		一般(L2)	下ば筋(L3) 小梁 スラブ	
SR235	21~26	35dフックつき	25dフックつき 15cmフックつき	35dフックつき
	18以下	45dフックつき		45dフックつき
SD295A SD295B SD345	21~36	40dまたは30dフックつき	25dまたは15dフックつき 15cm以上	40dまたは30dフックつき 45dまたは35dフックつき
	18以下			

継手

1. 末端のフックは定着および重ね継手の長さに含まない。
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。
4. D19以上の異形鉄筋は、原則として重ね継手とはならない。
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。



(4) かぶり厚さ(単位: mm)

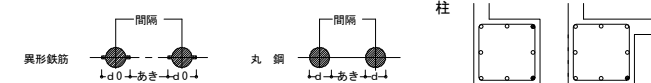
ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

部位	設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)	
屋根スラブ	屋内	30	20
	屋外	40(1)	30(20)
土に接しない部分	柱	40	30
	はり	50(2)	40(1)(30)
土に接する部分	柱・はり・底スラブ・耐力壁	50	40(4)
	基礎・擁壁	70	60(4)

- 注 (1) 耐久上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
- (2) 耐久上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
- (3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
- (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
- (5) () 内は、仕上げがある場合。
- (6) 土に接する部分のかぶり厚さは増加する厚さを打ち増しとする。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ2.5以上



(6) 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

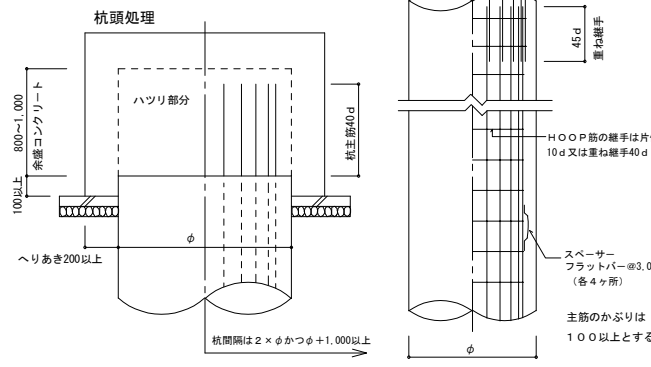
- a. 丸鋼 b. あばら筋 c. 煙突の鉄筋
 d. 柱、梁(基礎梁を除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
 e. 単根梁の下端筋
 f. その他、本配筋標準図に記載する箇所

3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

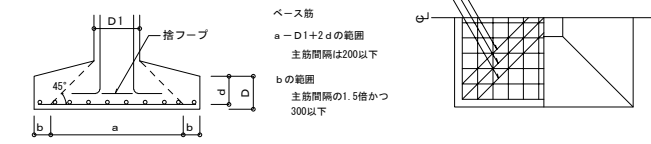
所定位置に止まった場合		所定より低く止まった場合	
杭径	300φ、350φ	400φ	450φ、500φ、600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13、8-D16、10-D16
HOOP			D10-@150

(2) 現場打ちコンクリート杭

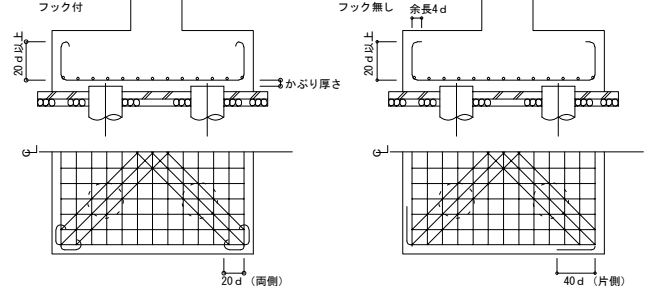


4. 基礎

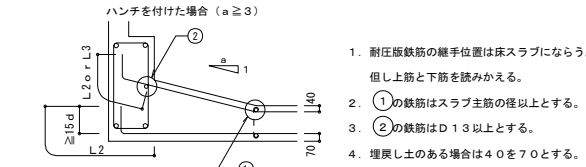
(1) 直接基礎



(2) 杭基礎

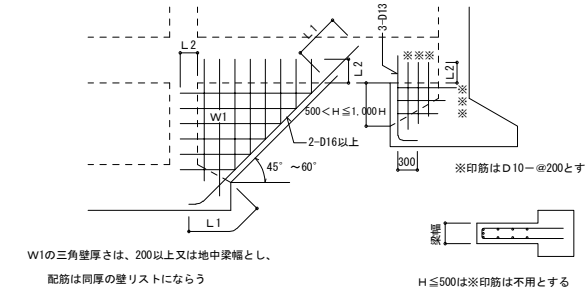


(3) べた基礎



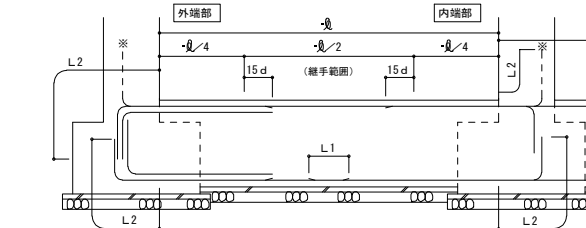
1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう。但し上筋と下筋を読みかえる。
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする。
3. ②の鉄筋はD13以上とする。
4. 埋戻し土のある場合は40を70とする。

(4) 基礎接合部の補強

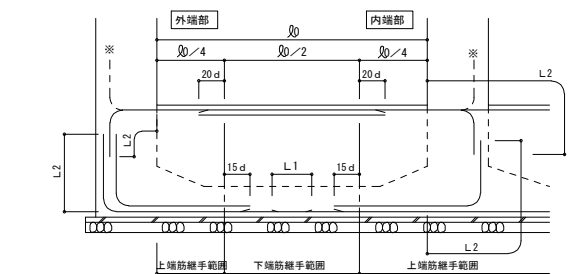


5. 地中梁

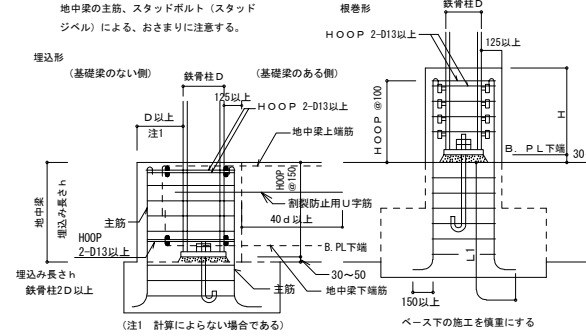
(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)



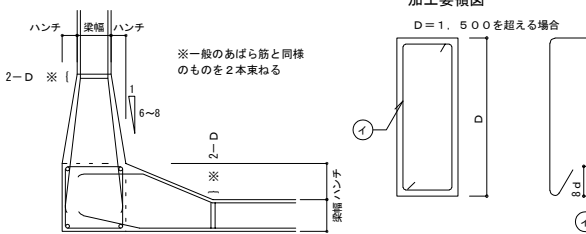
(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



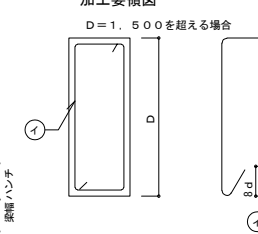
(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋



(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

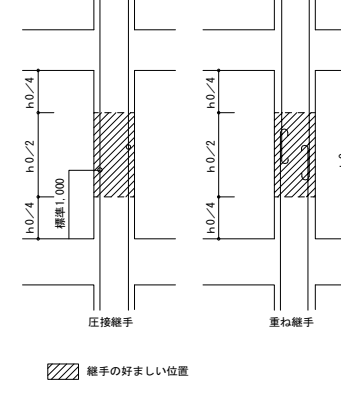


(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領

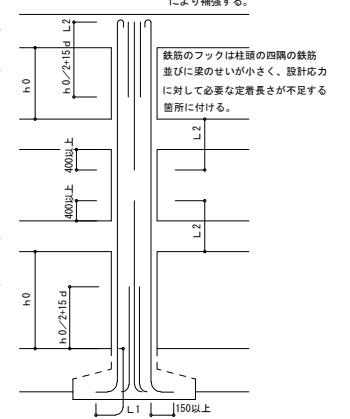


6. 柱

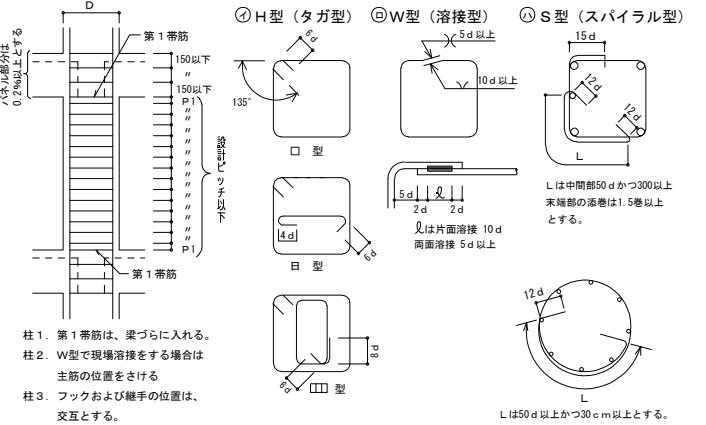
(1) 柱主筋の継手



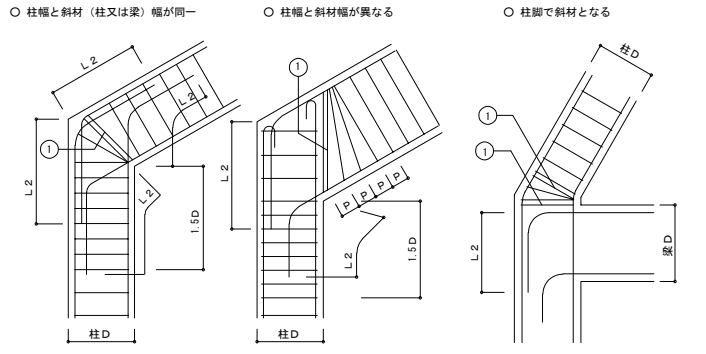
(2) 柱主筋の定着



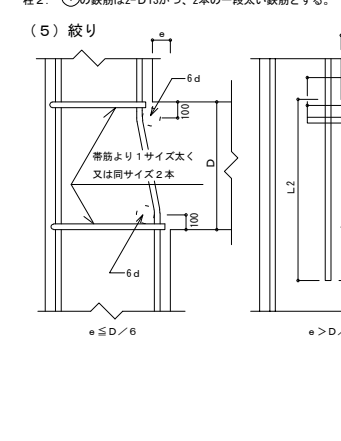
(3) 帯筋



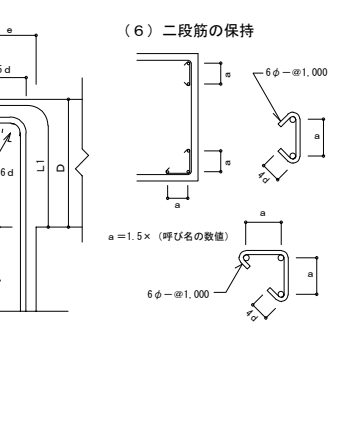
(4) 斜め柱・斜め梁



(5) 絞り



(6) 二段筋の保持



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋
標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

① 大梁

柱幅が大きい場合

※柱幅が大きく、直線部だけでL2とれる場合でも柱中心線をこえて中間折曲げチール長150以上又は180°フック付とする。

② 小梁の定着

③ 片持梁の定着

(イ) 原則として ① のフック先曲げとする。片側床版付(L型)梁で ②、両側床版付(T型)梁で ③ 又は ④ とすることができる。

(ロ) フックの位置は ① には交互、② にはスラブ側とする。

(5) 幅止め筋の本数、加工

幅止め筋	D < 600 不要 600 ≤ D < 900 2-D10 (9φ) 1段 900 ≤ D < 1,200 4-D10 (9φ) 2段 1,200 ≤ D D10 (9φ) @300以内
幅止め筋	D10 (9φ) @1,000以内で割り付ける

8. 床板

(1) 定着及び継手

① 片持床スラブ

② 一般床スラブ

標準継手位置

短辺方向	B
長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向 A C

(2) 屋根スラブの補強

① 補強筋は各3-D13又はスラブ主筋の同一径でφ=1,500とし、上端筋の下に配筋する

② ※印の箇所(入隅)は各層補強する

(3) 片持ちスラブの出隅部補強

※出隅部補強筋は、それぞれ方向に出隅補強筋として出隅部の間本数をハッチ部分に配置する。

(4) 床板開口部の補強 (開口の径500程度の場合)

注: 設備の小開口が連続してある場合は、縦、横、斜め補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

床板厚さD	周囲	斜め
D ≤ 150	各 2 - D13	各 1 - D13
150 < D ≤ 200	各 2 - D13	各 2 - D13
200 < D ≤ 300	各 2 - D19	各 2 - D16

(5) 床板段差

(6) 土間コンクリート

① 軽作業の土間

(7) 釜場

(8) 打継ぎ補強 (ダメ打継ぎについて)

- 設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L1以上
- 無筋部分 D10-@200 長さ800以上

9. 壁

(1) 定着

① 梁に

② 柱に(平面図)

(2) スリット部 (設計図に記入があるとき)

完全スリット

部分スリット

(3) 手摺、バラベツ

手摺

バラベツ

(4) コンクリートブロック積壁

一般の場合

下部防水立上りのある場合

注: h ≤ 25 t かつ 3500 以下とする。但し直交方向 25 t 以内は壁、又は柱がある場合は除く

注: h はコンクリートブロック段数調整寸法とする。但し、200 ≤ h ≤ 400

注: 継手部は必ずモルタルをてん満する事。

10. 柱、梁増打コンクリート補強

(1) 柱

ハッチ部分の面積 A cm²

A < 500	500 ≤ A < 1000	1000 ≤ A < 1500
3-D16	4-D16	6-D16

※柱と同径、同ピッチとする。

●印は補強筋

(2) 梁

●補強筋は、梁主筋の1段階径 (D16以上) とする。

●あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。

●腰筋D10ピッチは、梁の腰筋と合せる。

●D ≥ 400の場合は、補強筋3本とする。

●aは、100~200程度。

●梁下増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。

●ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

梁端部(スパン L/10以内かつ2D以内)は避ける

(2) 鉄筋標準筋

80 ≤ φ ≤ 100	100 < φ ≤ 150	150 < φ ≤ 250
折筋 2 - (2-D13)	折筋 2 - (2-D13)	斜筋 4 - (2-D13)
タテ筋 ST 2 - D13	タテ筋 ST 2 - D13-@50	タテ筋 ST 2 - D13-@50
	横筋 2 - (2-D13)	横筋 2 - (2-D13)
	上・下タテ筋 ST 2 - D13-@50	上・下タテ筋 ST 2 - D13-@50

但し φ ≤ D/3 とする

孔補強の有効範囲と定着長さのとり方

※部分については計算で確認された場合は左記の位置、寸法によらずとも良い。

(3) 既製品 (使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せの事)

ウェブレン、ダイヤレン 等 日本建築センター評価取得品とする。

施工前に計算書を提出し、承認を得ること。

□ リング型 □ バイ型 □ 金網型 □ プレート型

12. 増築予定

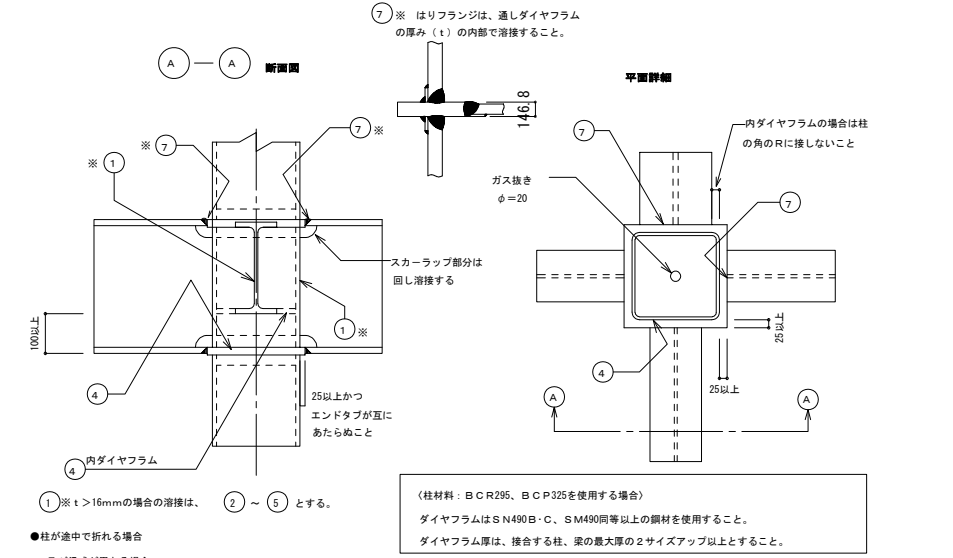
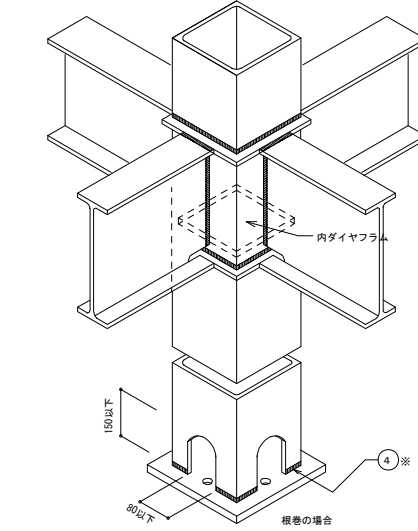
(将来増築予定のコンクリート増打部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する。)

(1) 柱、梁 (2) 地中梁 (3) 床版、壁

鉄骨構造標準図 (1)

○ 溶接番号を○中に記入のこと

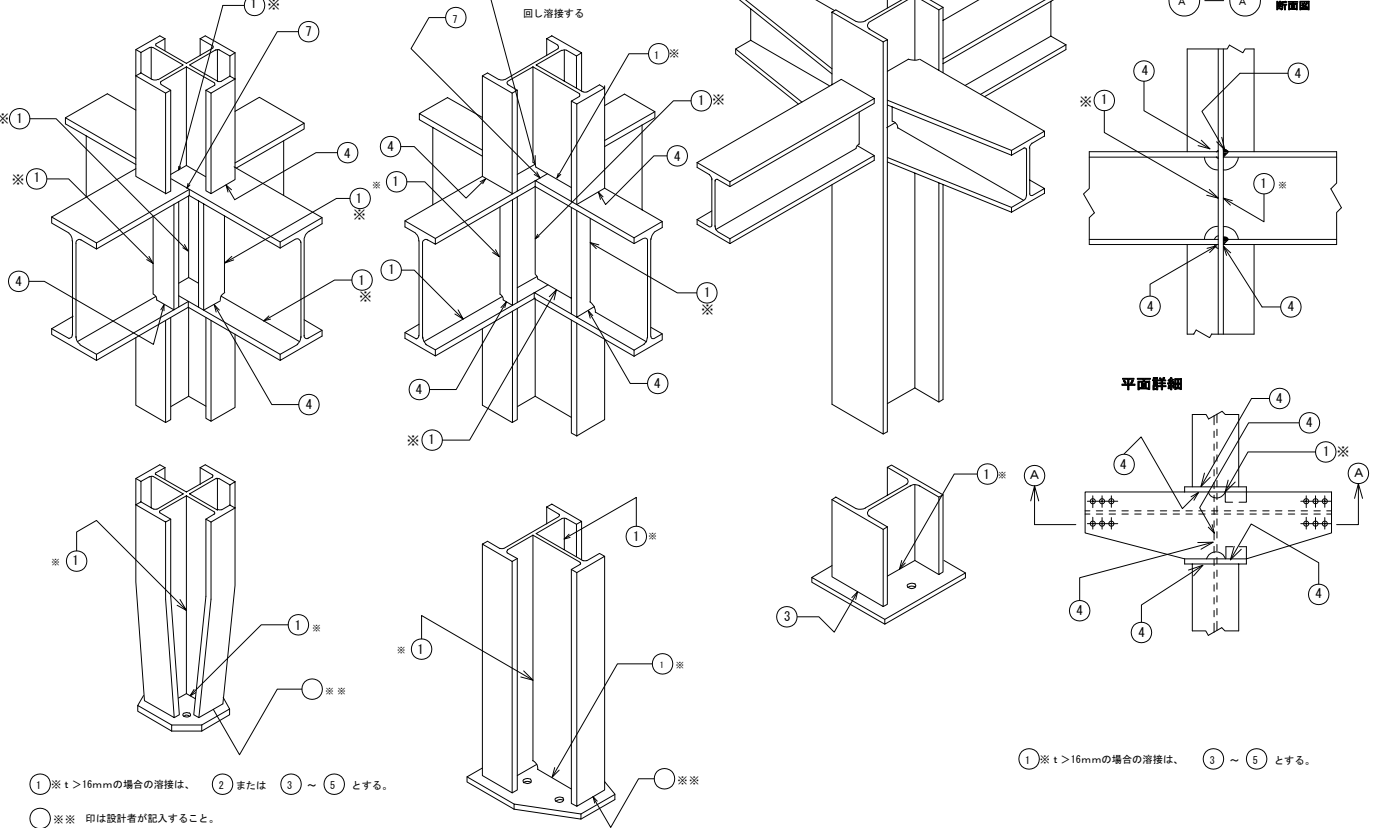
● B O X 型 (通しダイヤフラムの場合)



鋼材種別による溶接条件

鋼材の種別	溶接条件	入熱 (kJ/cm)	入熱温度 (°C)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	YBW-11, 15		
	YBW-18, 19		
	YGA-50W, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3212, 3214	40以下	350以下
	YBW-11, 15		
	YBW-18, 19		
	YGA-50W, 50P		

鋼材種別による溶接条件 (続)



① ※ t > 16mm の場合の溶接は、② または ③ ~ ⑤ とする。
○ ※ 印は設計者が記入すること。

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
 - (b) 適用範囲は鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
 - (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 作業一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事重要図書」を提出し工事監理者の承認を得る
 - (b) 鋼骨部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼骨自動切断機による
 - (c) 高張力鋼のひずみ きょう正は、冷間きょう正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本組めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接技能者
- 溶接技能者は、施工する溶接に適合する JIS Z 3801 (手溶接) 又は JIS Z 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引続き半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A
 - (ロ) アークエアークラウジング機 (直流)
 - (ハ) サブマージアーク溶接機 1式
 - (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 - (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 - (ヘ) 溶接機乾燥機
- (c) 溶接方法
- アーク手溶接 (MC)
 - セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC)
 - ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
 - アークエアークラウジング (AAG)
- (d) 溶接姿勢
- 下向 F 立向 V 横向 H 上向 O
- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
- 仮付溶接は、溶接の始め、終端、隅角部など強度上、工作上、問題とならぬ箇所は避ける
- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず片側に施工する。
- (f) 溶接施工
- (イ) エンドタブ
 - 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚と同間形状のエンドタブを取り付ける
 - エンドタブの材質は、母材と同質とする
 - エンドタブの長さは、MC: 35mm以上 NGC, GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グライダー仕上げとする
 - フレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
 - (ロ) 裏あて金

材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
 - (ハ) スカラップ半径は30~35mmと、10mmのダブルアルとす
但し構成がO=150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする
- (ホ) 裏はつり
- 接合部の溶接においてAAGと記載のある部分はすべて、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークをつける。
- (ヘ) 現場溶接の両側面には、溶接に支障ない防錆材を塗布する。又、隅角部を備えない様に、養生を行う。
- (5) 塗装
- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

2. 溶接標準図

(1) スミ肉溶接 (注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

t	7以下	8~10	11~13	14~16
a	6	7	10	12

● 但し片面溶接の場合はS=tとする
● tはt1, t2の小なる方とする
● 余盛は(1+0.1a)mm以下とする
● 軸力が加わる場合はSは母材と同厚とする事が望ましい

(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所)に注意

θ=60° D1 ≥ t/3 t/4 ≤ S ≤ 10mm t ≤ t1

t	t ≤ 16mm
溶接姿勢	F: V

● 両側に補強スミ肉溶接を付加する

(3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

θ=45° f = t/4 R ≤ 2 t

t	6 < t < 19mm
溶接姿勢	F: V

● 両側に補強スミ肉溶接を付加する AAG

(4) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

θ=60° f = t/4 R ≤ 2 t

t mm	MC NGC			GC		
	θ	G	t1	θ	G	t1
6 < t < 12	45°	6	6	5	45°	6
12 ≤ t < 16	35°	9	9	5	45°	9
16 ≤ t	35°	9	9	8	35°	9

溶接姿勢 F: V

● 補強スミ肉溶接を付加する

(5) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

θ=45° (55°) f = t/4 R ≤ 2 t

のど厚 t mm	余盛の高さ mm
t ≤ 4	1
4 < t ≤ 12	2
12 < t ≤ 19	3
t > 19	4

● AAG () 内はGCでF, Hの場合
● 両側に補強スミ肉溶接を付加する

(6) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

f ≥ 0.5mm (ただし、t ≥ 15mm のとき4mmとする) θ=45° R ≤ 2 t

● 両側に補強スミ肉溶接を付加する

t mm	6 < t < 19mm
溶接姿勢	F: V

(7) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

f = t/4 R ≤ 2 t

t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6 < t < 12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12 ≤ t ≤ 19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
t > 19	35°	9	9	8	35°	9	9	8

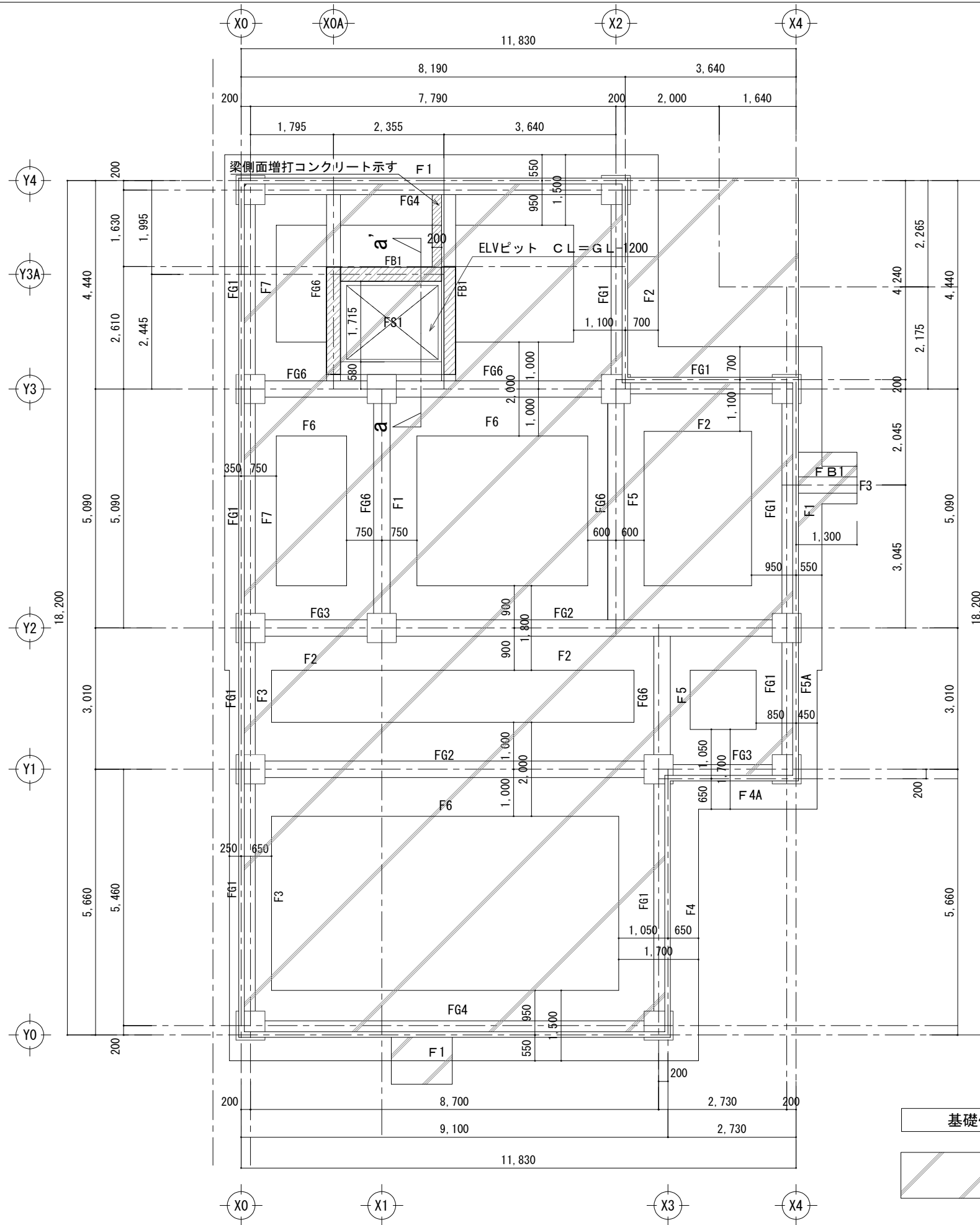
溶接姿勢 F: V

(4) フレア溶接

K形の場合

寸法 (mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

● フレア溶接長は、鋼板に接する全長とする
● 9mm~16mmは、1パス以上、19mm以上は、2パス以上とする
溶接角度θは、30°~40°とする



基礎伏図 S=1/100

土間コンクリート t=150
D13-@200 (タテ・ヨコ シングル)

一級建築士大臣登録第103960号
金子 久男



株式会社
多摩設計
川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

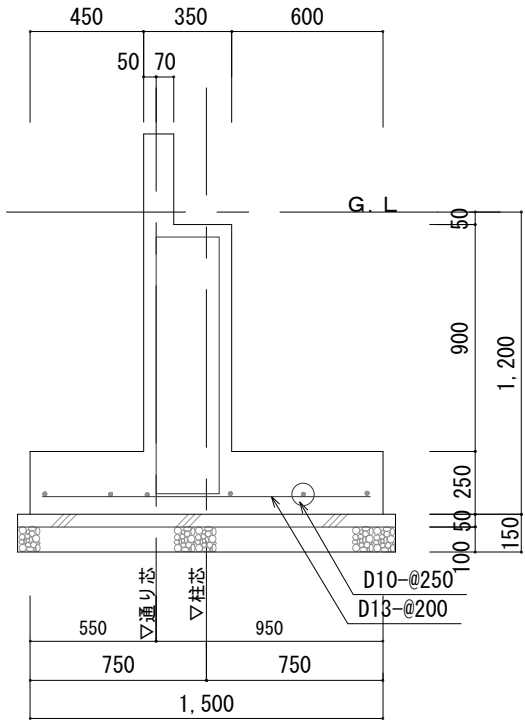
DATE
2025/*/*
DRAWN BY
hiroe

工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務
図名 基礎伏図

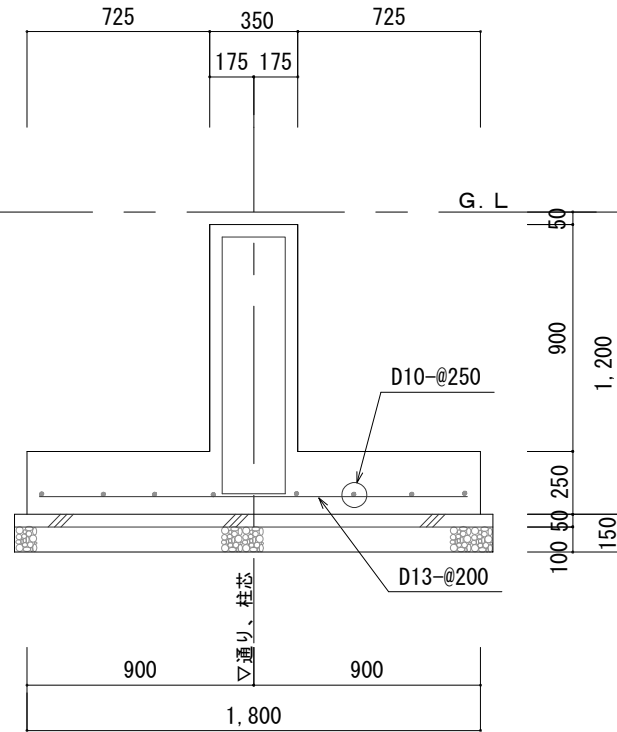
図面番号 S-06
縮尺 A3:1/100

基礎詳細図 S=1/30

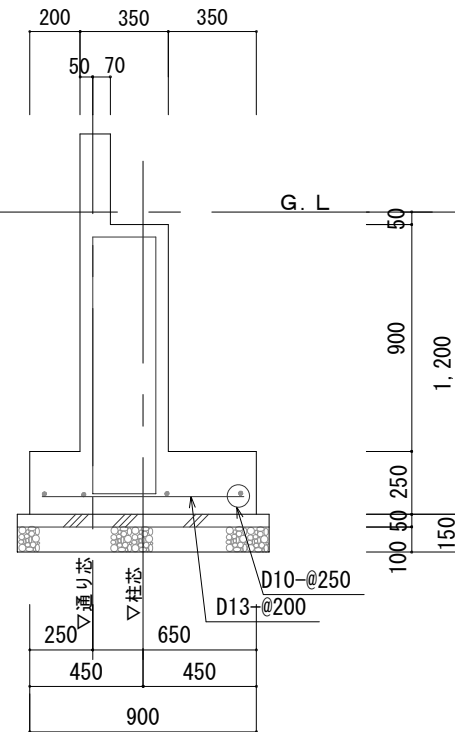
F1



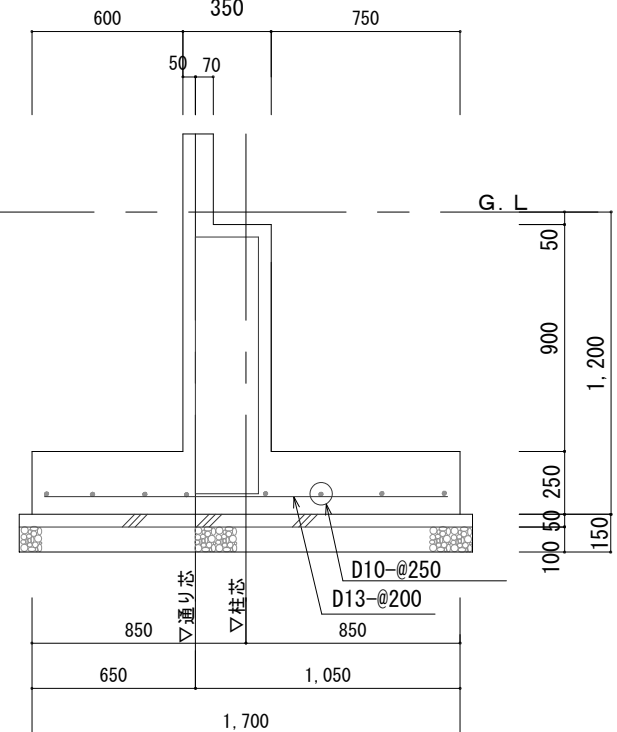
F2



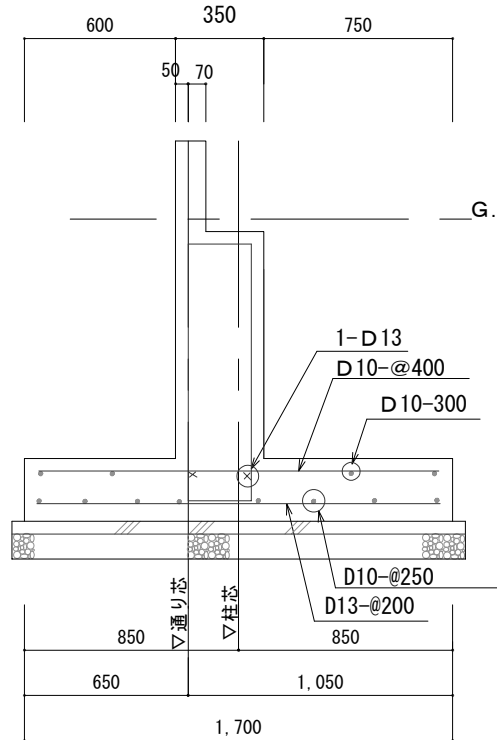
F3



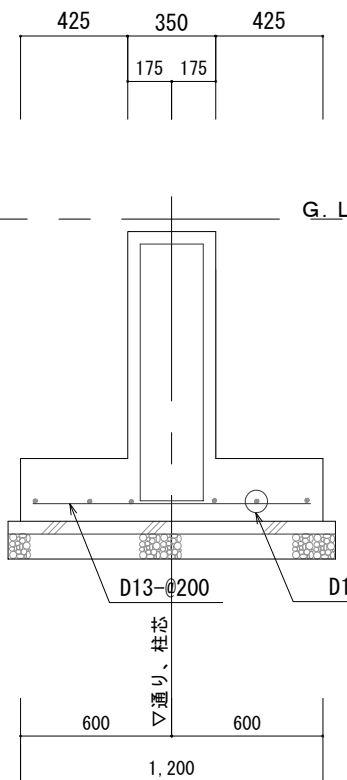
F4



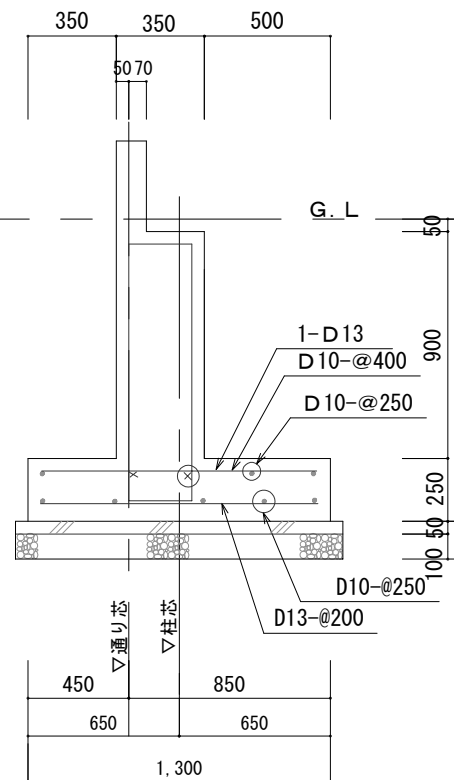
F4A



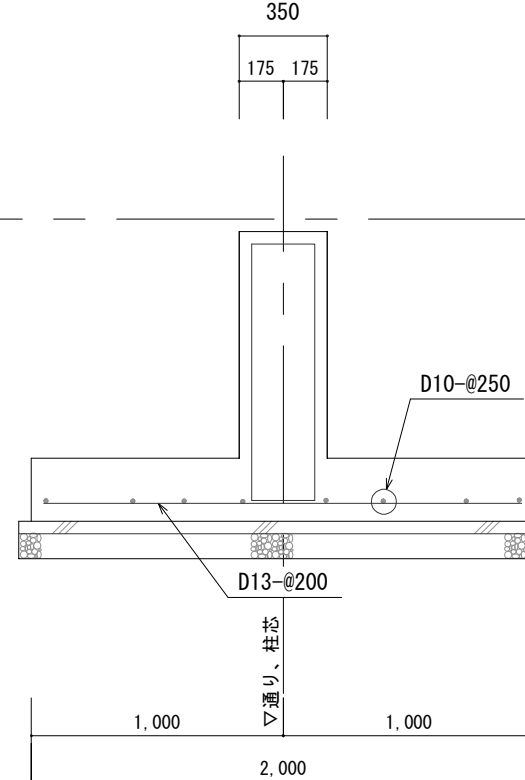
F5



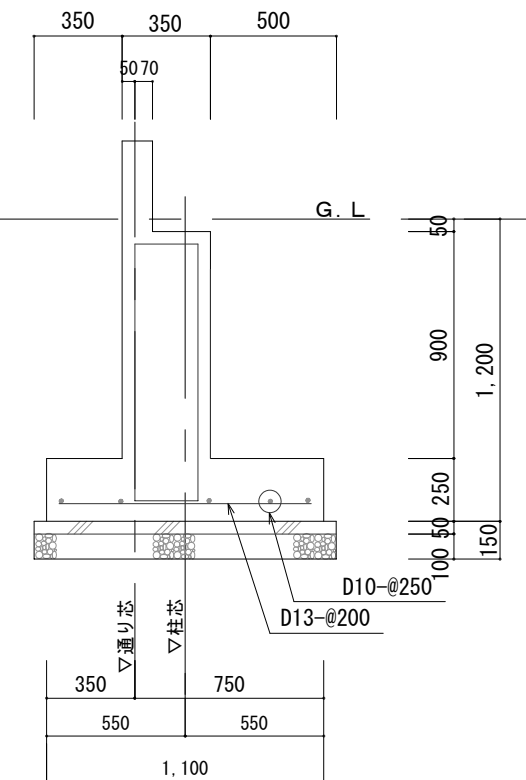
F5A



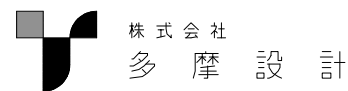
F6



F7



一級建築士大臣登録第103960号
金子 久男



株式会社
多摩設計

川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

DATE

2025/*/*

DRAWN BY

hiroe

工事名称

(仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務

図名

基礎詳細図

図面番号

S - 07

縮尺

- A3:1/30

地中梁リスト S=1/30

符号	FG1・FG5			FG2			FG3	FG4		FG6	
位置	全断面			内端部	中央	外端部	全断面	端部	中央	全断面	FS1 梁下増打ちコンクリート部
設計GL											
形状											
上端筋	3-D22			3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	
下端筋	3-D22			4-D22	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	
STR	□-D10@175			□-D10@175			□-D10@175	□-D10@175		□-D10@175	
腹筋・幅止め筋	2-D10・D10-@1000以下										

符号	FB1		FS1リスト (ELVビット)		立上り壁、土間コンクリートリスト	
位置	全断面	FS1 梁下増打ちコンクリート部				
設計GL						
形状						
上端筋	3-D22					
下端筋	3-D22					
STR	□-D10@175					
腹筋・幅止め筋	2-D10・D10-@1000以下					

一級建築士大臣登録第103960号
金子 久男



株式会社
多摩設計

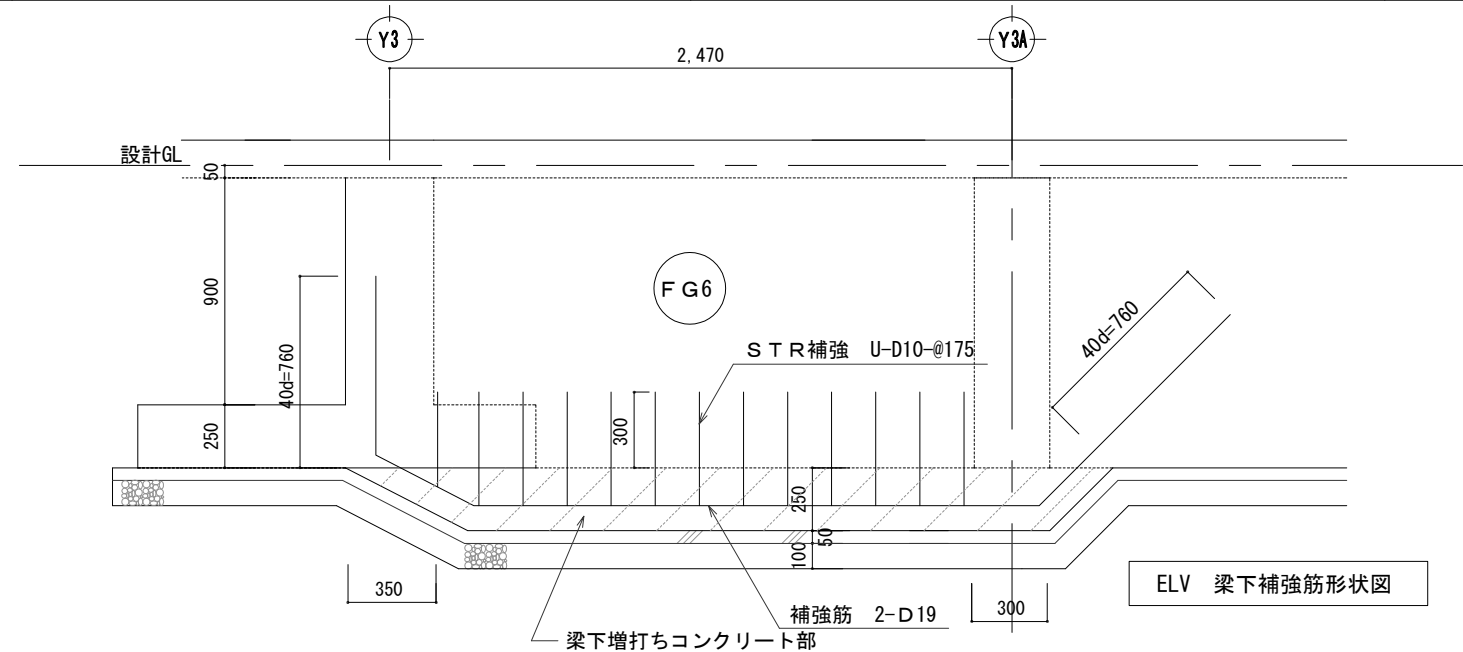
川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

DATE
2025/*/*
DRAWN BY
hiroe

工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務
図名 地中梁リスト

図面番号 S - 08
縮尺 - A3:1/30

柱脚リスト		S=1/30 (露出型柱脚)	
符号	C1 □-250 × 250 × 12	C2 □-250 × 250 × 12	P1 □-200 × 200 × 9
断面			
柱部材	□-250 × 250 × 12	□-250 × 250 × 12	□-200 × 200 × 9
ベースプレート	450 × 450 × 32 (S N490B)	450 × 450 × 32 (S N490B)	400 × 250 × 28 (S N490B)
アンカーボルト	8-M27 (SNR490B)	8-M27 (SNR400B)	4-M20 (SS400)
コンクリート柱断面	620 × 620	620 × 620	
立上り筋	8-D22 (SD345)	8-D22 (SD345)	
フープ筋	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	
コンクリート設計基準強度	21N/mm ² 以上	21N/mm ² 以上	



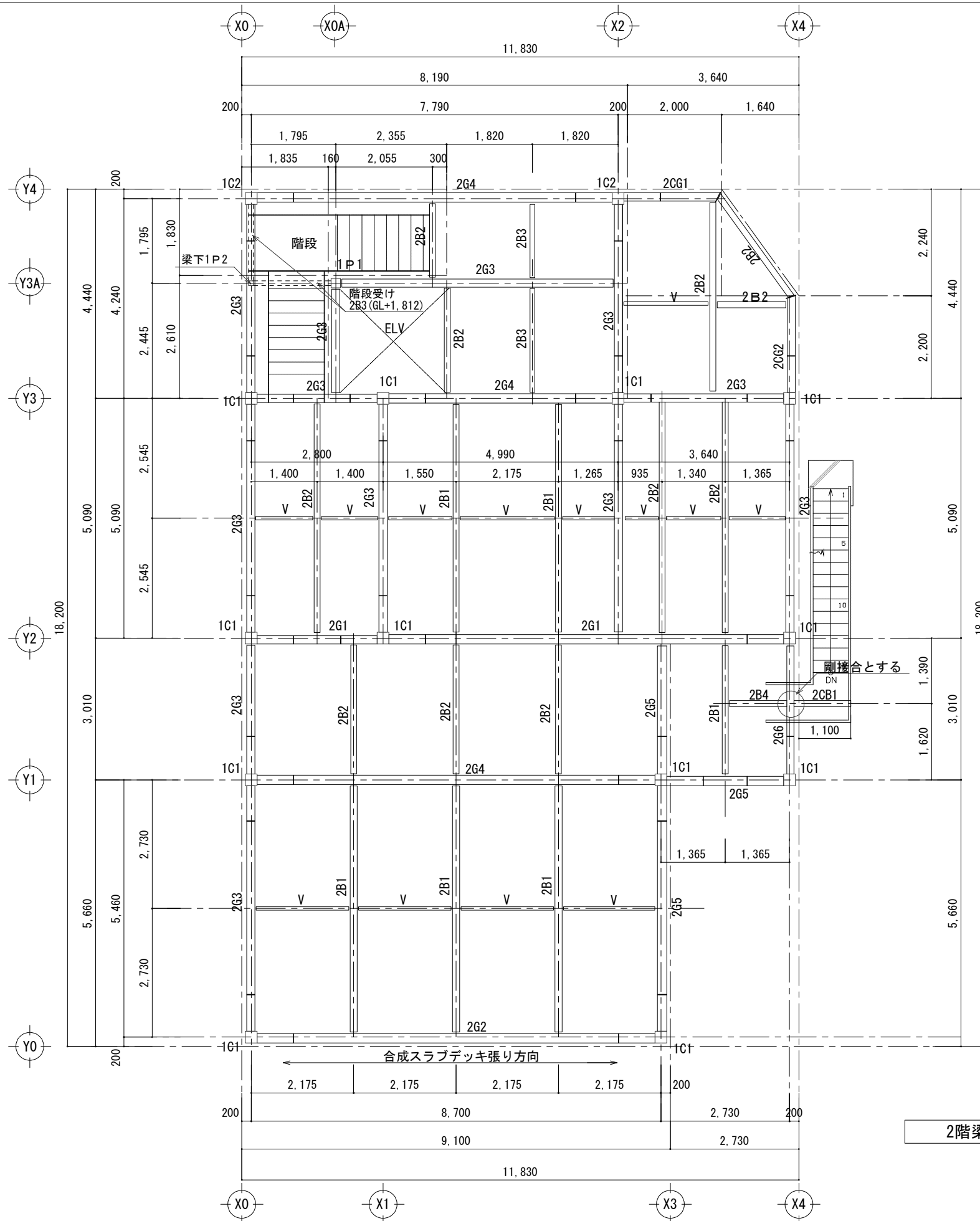
一級建築士大臣登録第103960号
金子 久男

株式会社
多摩設計
川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

DATE
2025/*/*
DRAWN BY
hioe

工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務
図名 柱脚リスト

図面番号 S-09
縮尺 A3:1/30



2階梁伏図 S=1/100



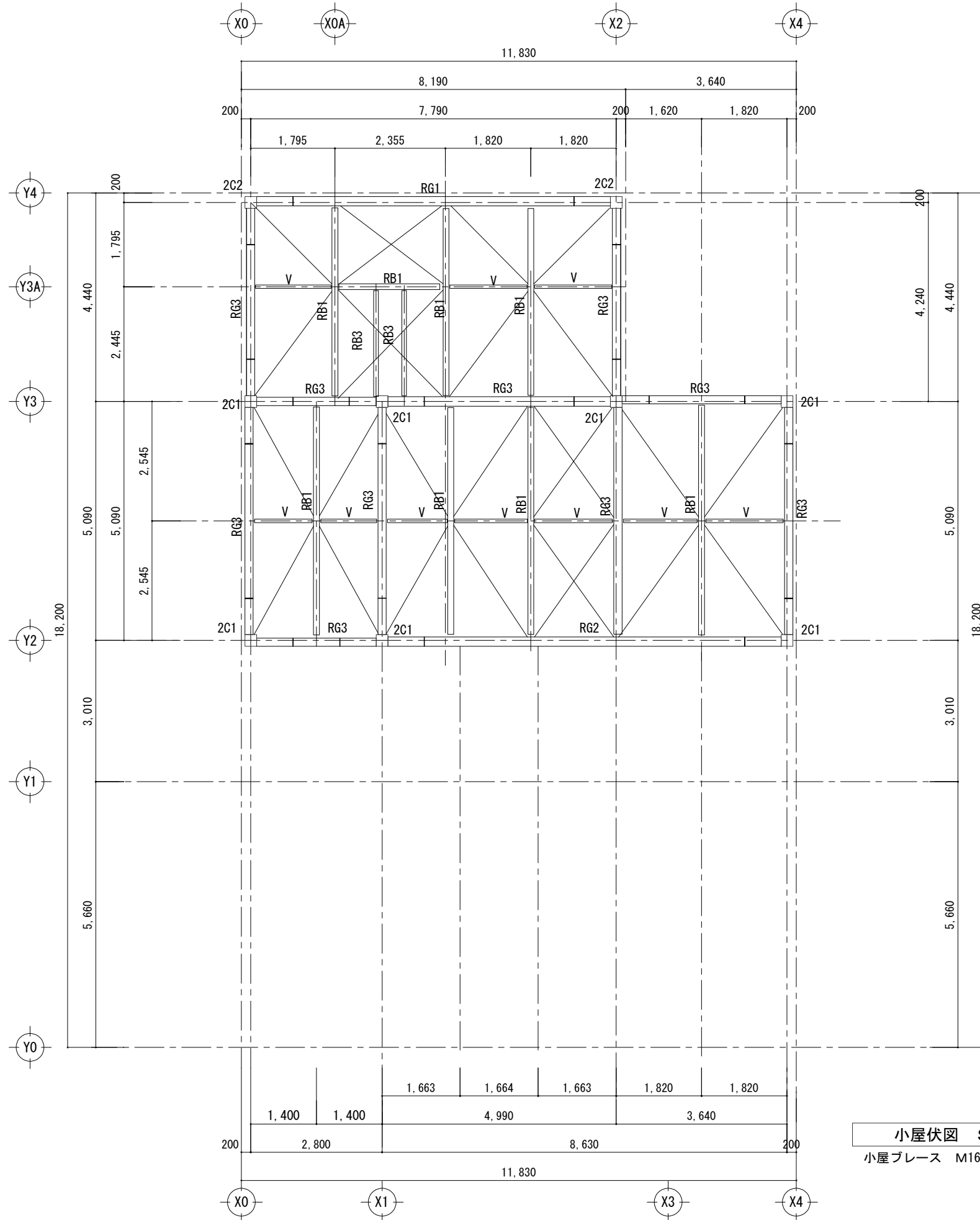
株式会社
多摩設計

川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

DATE
2025/*/*
DRAWN BY
hiroe

工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務
図名 2階梁伏図

図面番号 S - 10
縮尺 - A3:1/100



小屋伏図 S=1/100
小屋プレース M16

一級建築士大臣登録第103960号
金子 久男



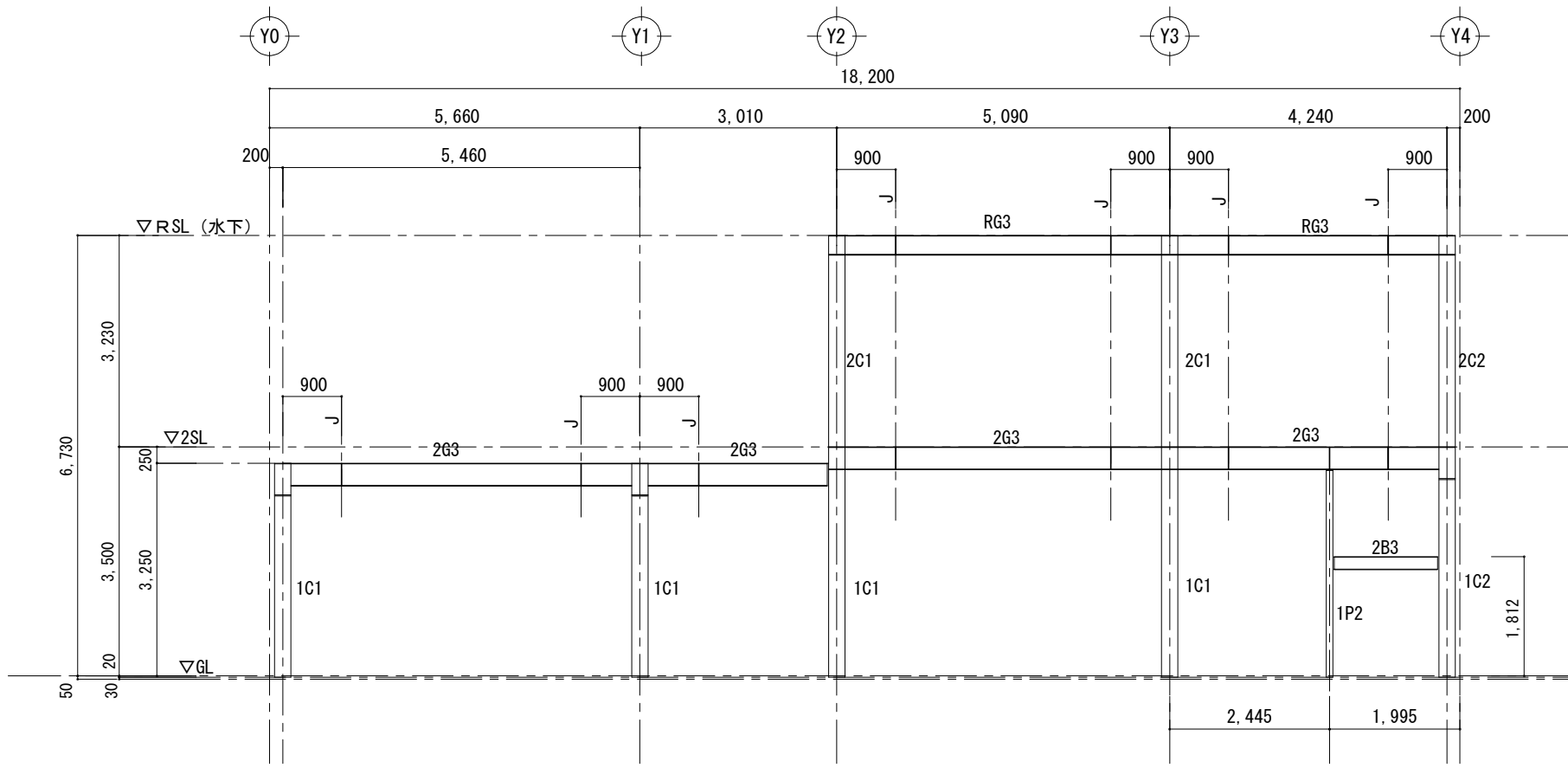
株式会社
多摩設計

川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

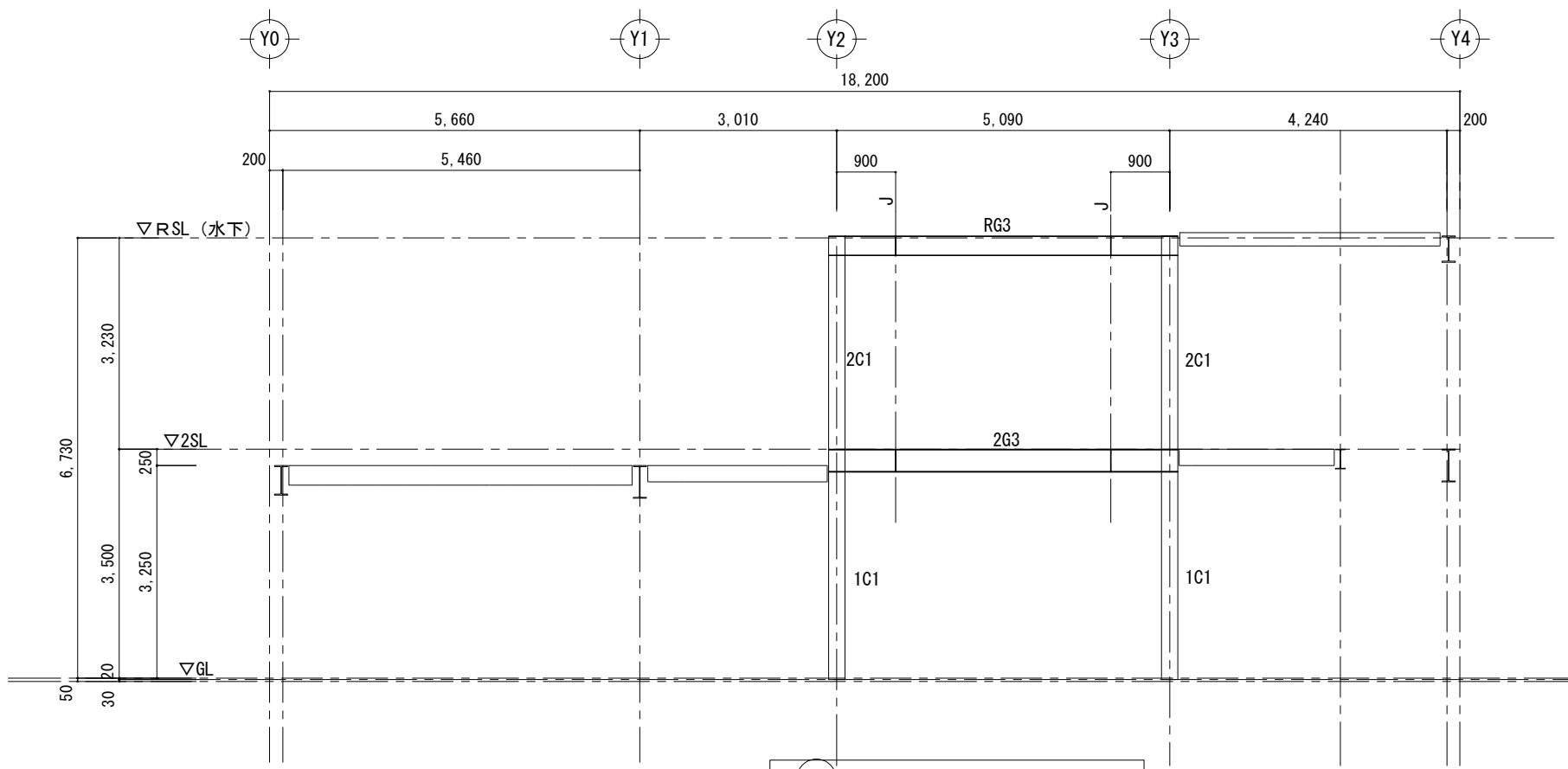
DATE
2025/*/*
DRAWN BY
hiroe

工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務
図名 小屋伏図

図面番号 S - 11
縮尺 - A3:1/100



X0 通り 軸組図 S=1/100



X1 通り 軸組図 S=1/100

一級建築士大臣登録第103960号
金子 久男



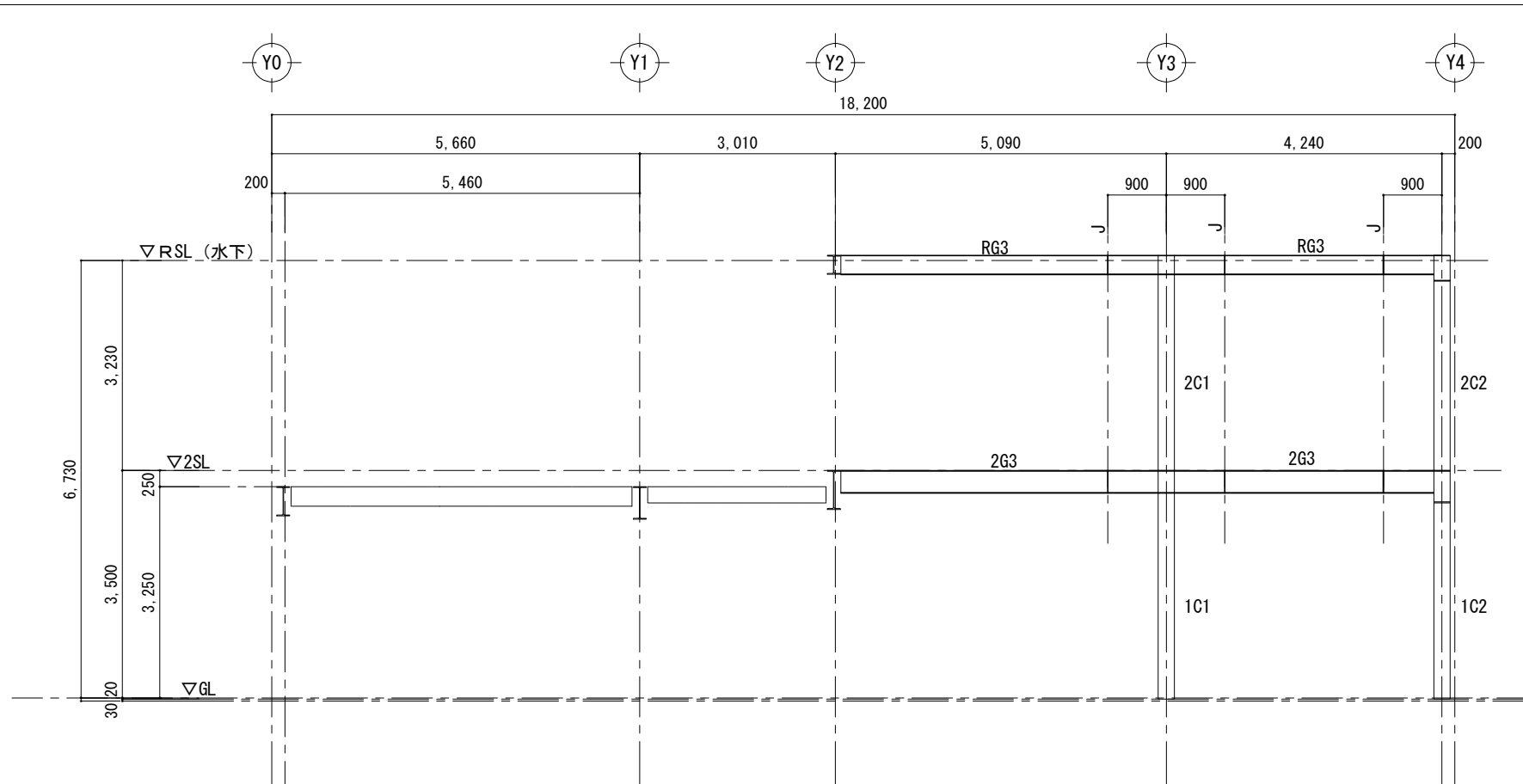
株式会社
多摩設計

川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 岩田 崇

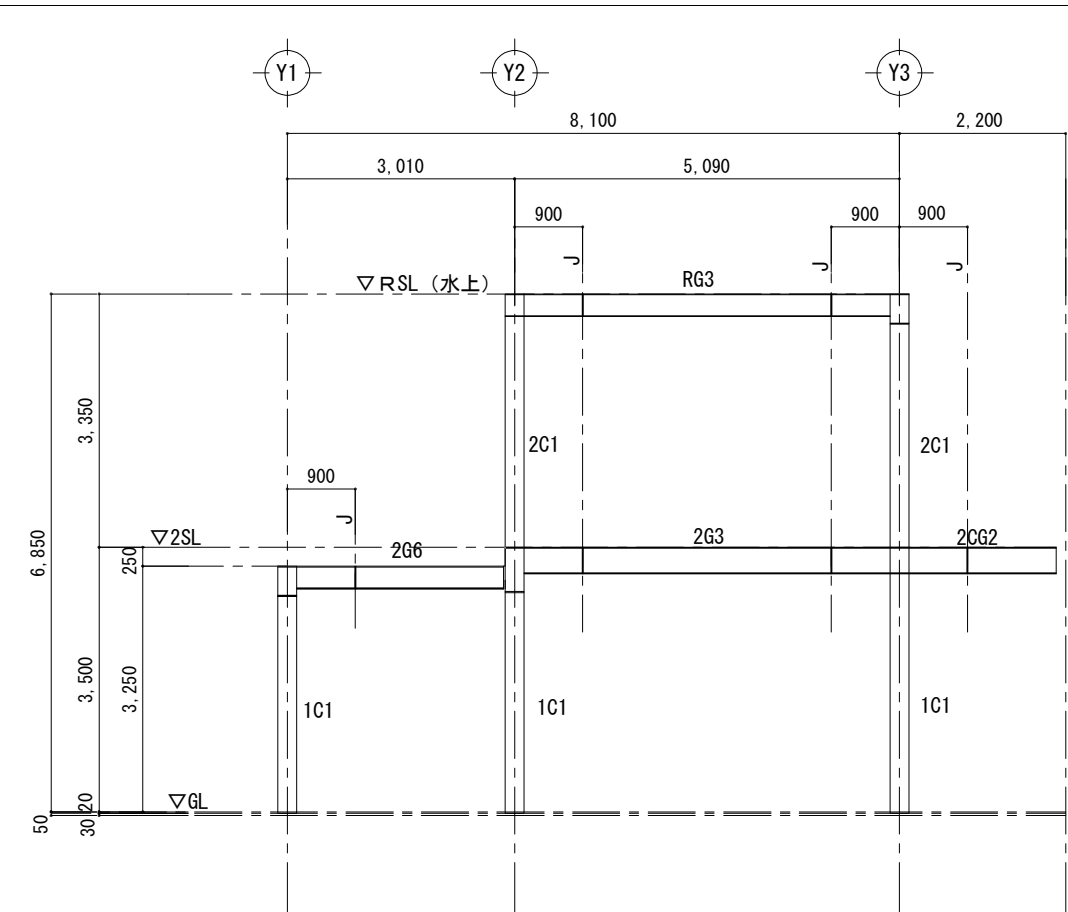
DATE
2025/*/*
DRAWN BY
hiroe

工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりむ除却工事設計業務
図名 軸組図-1

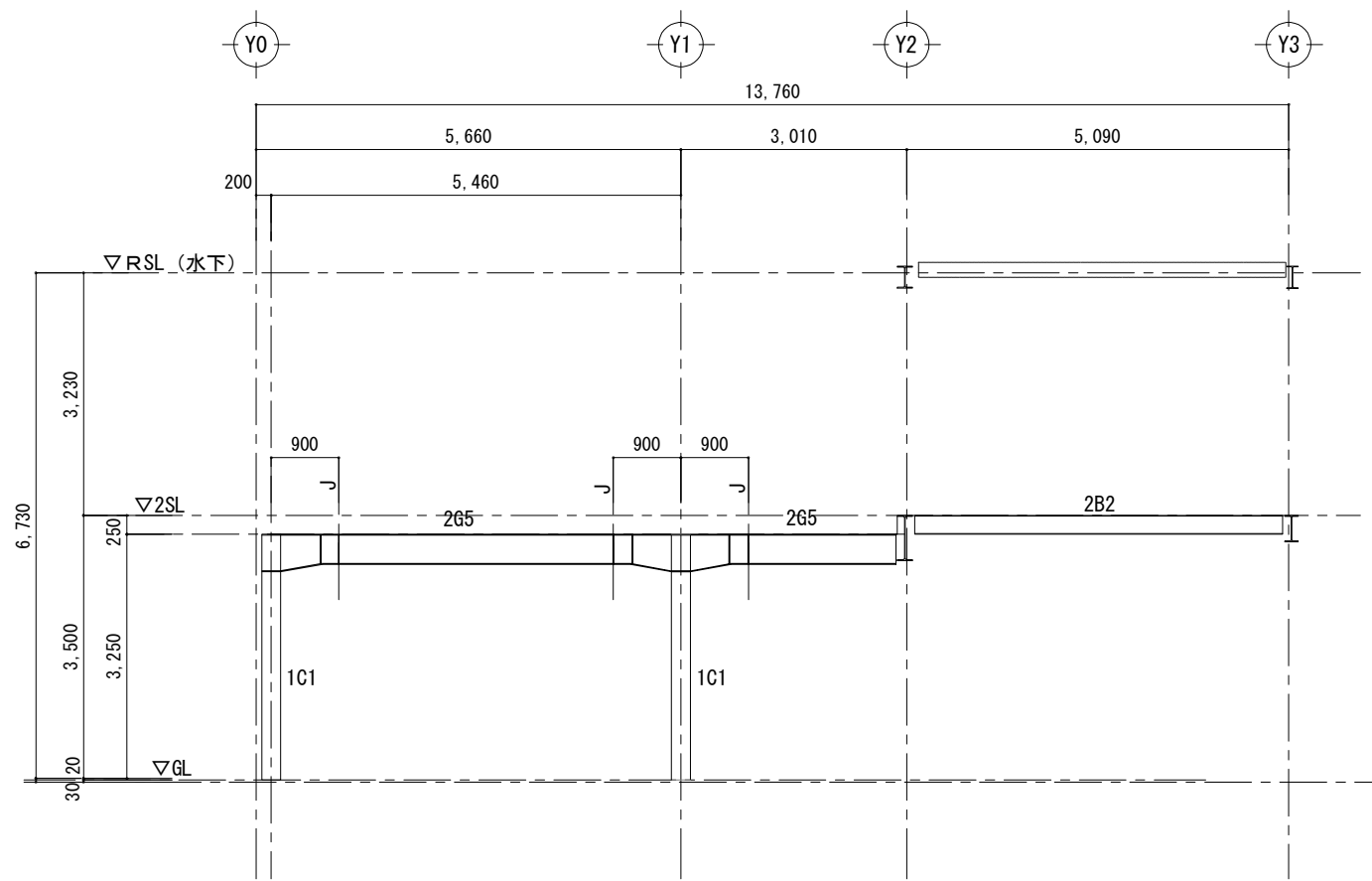
図面番号 S - 12
縮尺 - A3:1/100



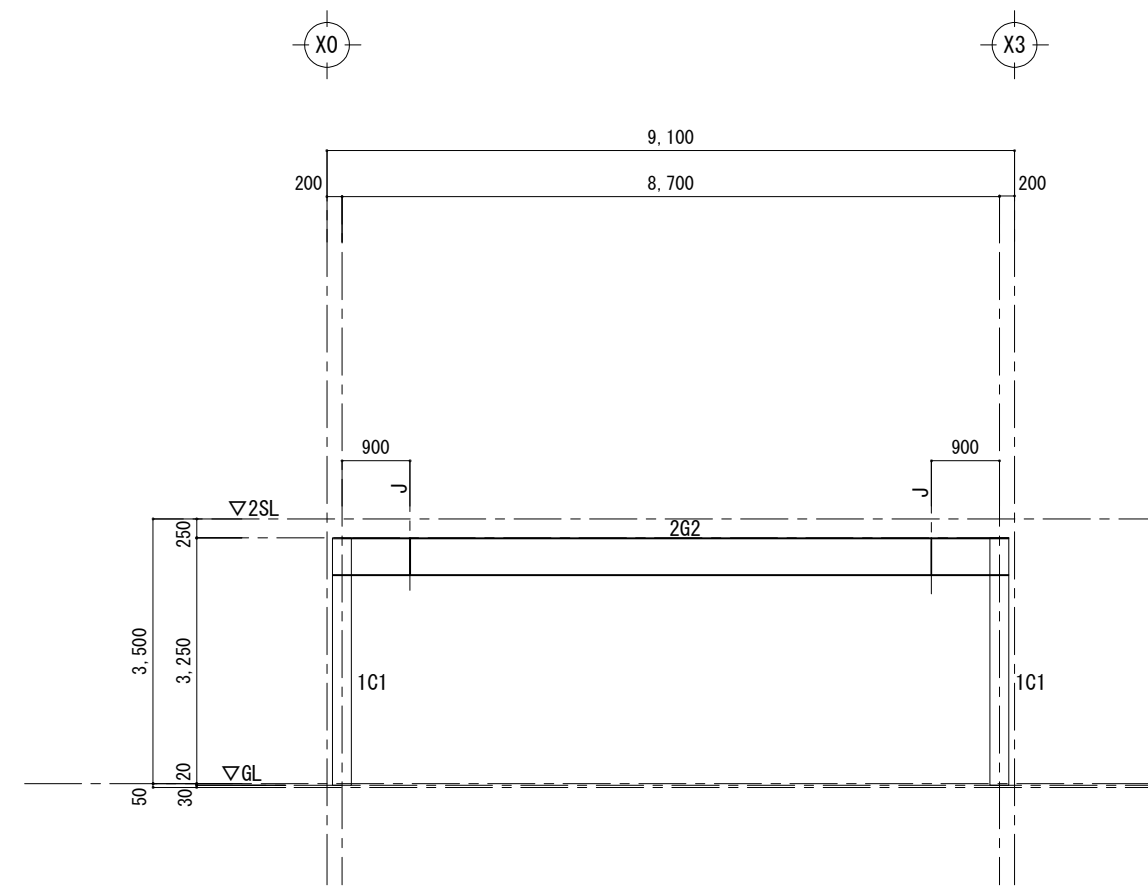
(X2) 通り 軸組図 S=1/100



(X4) 通り 軸組図 S=1/100



(X3) 通り 軸組図 S=1/100



(Y0) 通り 軸組図 S=1/100

一級建築士大臣登録第103960号
金子 久男



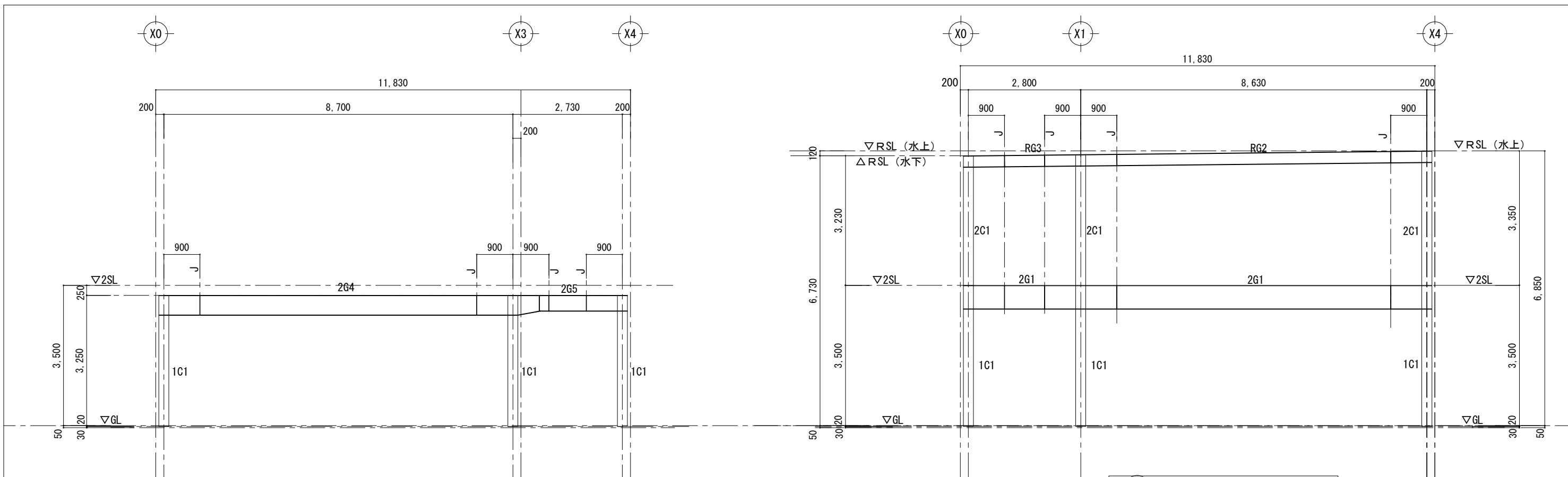
株式会社
多摩設計

川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

DATE
2025/*/*
DRAWN BY
hiroe

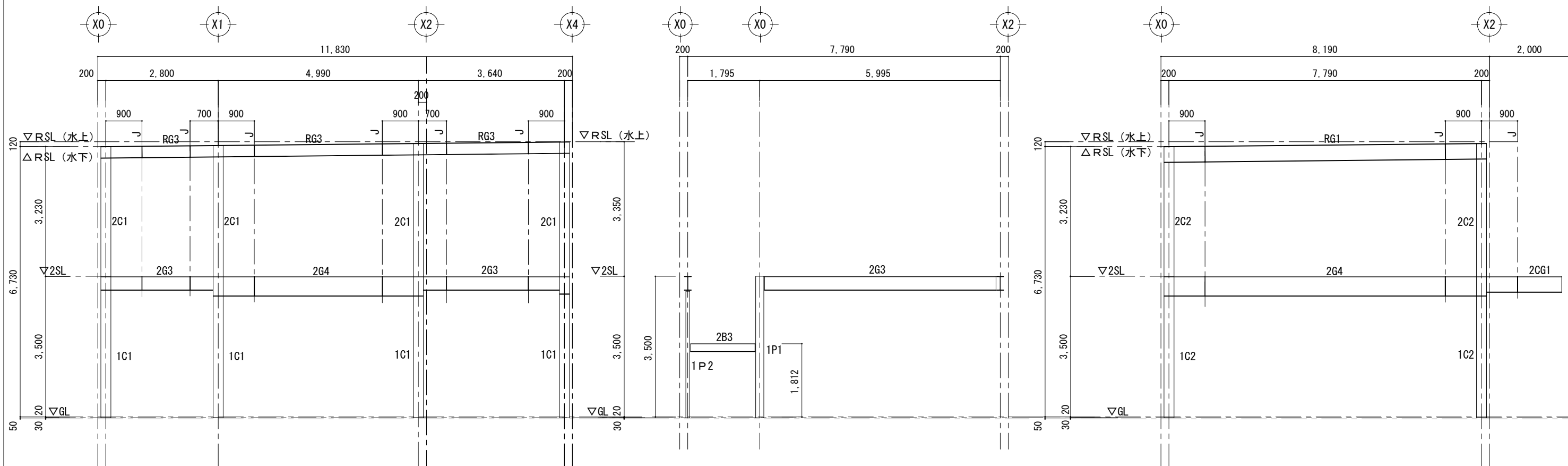
工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務
図名 軸組図-2

図面番号 S - 13
縮尺 - A3:1/100



Y1 通り 軸組図 S=1/100

Y2 通り 軸組図 S=1/100




Y3 通り 軸組図 S=1/100

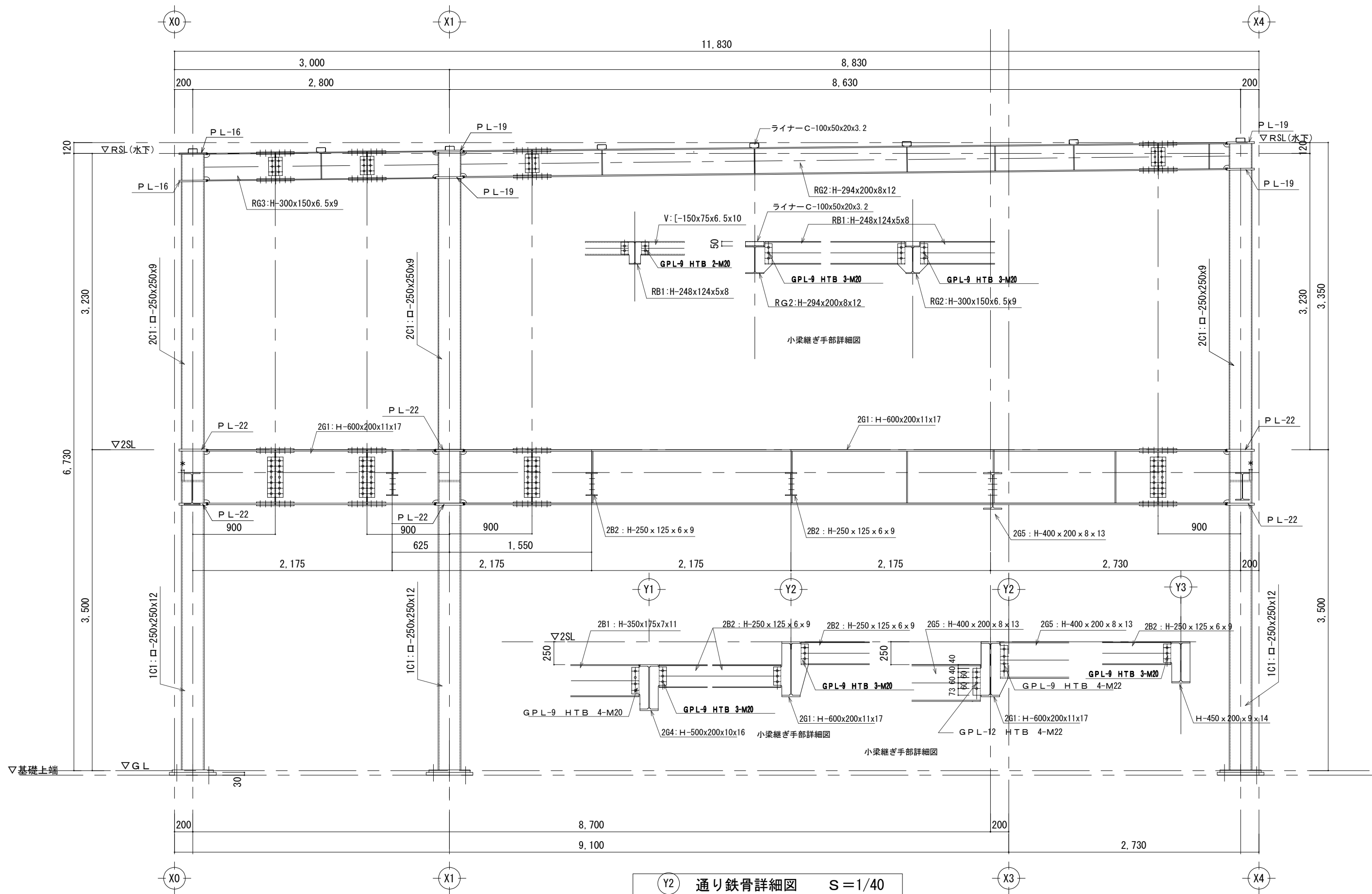
Y3A 通り 軸組図 S=1/100

Y4 通り 軸組図 S=1/100

2B3、1P2位置については意匠図による。

一級建築士大臣登録第103960号
金子 久男


 株式会社 多摩設計	川崎市川崎区貝塚1-3-17 TEL 044-233-7521 一級建築士登録 第325083号 管理建築士 若田 崇	DATE 2025/*/*	工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務	図面番号 S - 14
		DRAWN BY hiroe	図名 軸組図-3	縮尺 A3:1/100

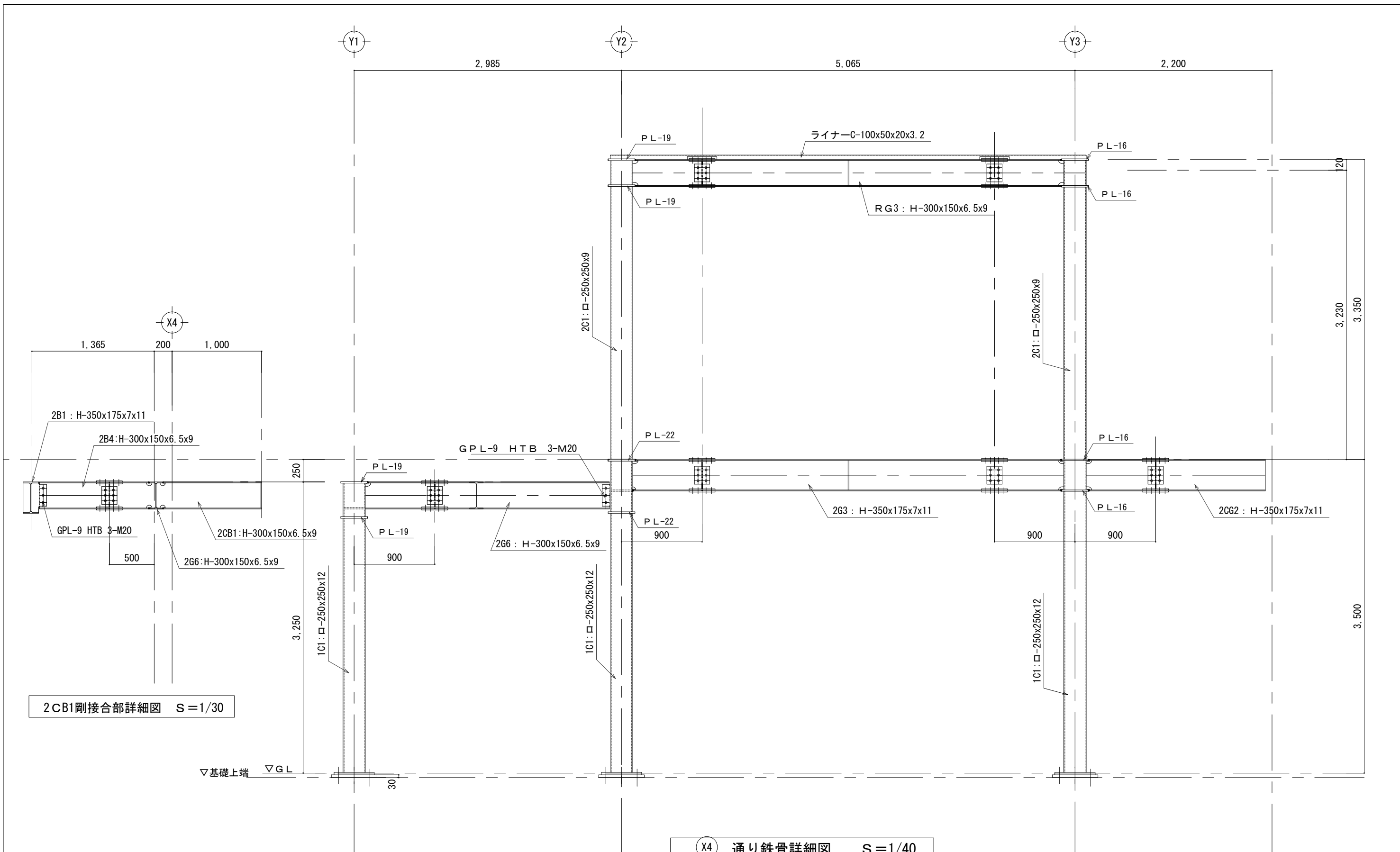


Y2 通り鉄骨詳細図 S=1/40

*ダイヤフラムは接合される板圧の2サイズ上の厚みとする
 *継ぎ手は部材リストによる。
 *内ダイヤフラムとする部分で、大梁の位置は柱のR部分の曲げ半径分逃げた位置とする

一級建築士大臣登録第103960号
金子 久男


 株式会社 多摩設計	川崎市川崎区貝塚1-3-17 TEL 044-233-7521 一級建築士登録 第325083号 管理建築士 若田 崇	DATE	2025/*/*	工事名称	(仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務	図面番号	S - 15
		DRAWN BY	hiroe	図名	鉄骨詳細図-1	縮尺	A3:1/40



X4 通り鉄骨詳細図 S=1/40

*ダイヤフラムは接合される板圧の2サイズ上の厚みとする
 *継ぎ手は部材リストによる。
 *内ダイヤフラムとする部分で、大梁の位置は柱のR部分の曲げ半径分逃げた位置とする

一級建築士大臣登録第103960号
金子 久男

 株式会社 多摩設計	川崎市川崎区貝塚1-3-17 TEL 044-233-7521 一級建築士登録 第325083号 管理建築士 若田 崇	DATE 2025/*/*	工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務	図面番号 S - 16
		DRAWN BY hiroe	図名 鉄骨詳細図-2	縮尺 A3:1/40

梁部材リスト S=1/20

H型鋼材：SS400、ただし柱から継手までのH型鋼SN490Bとする。

一級建築士大臣登録第103960号 金子 久男

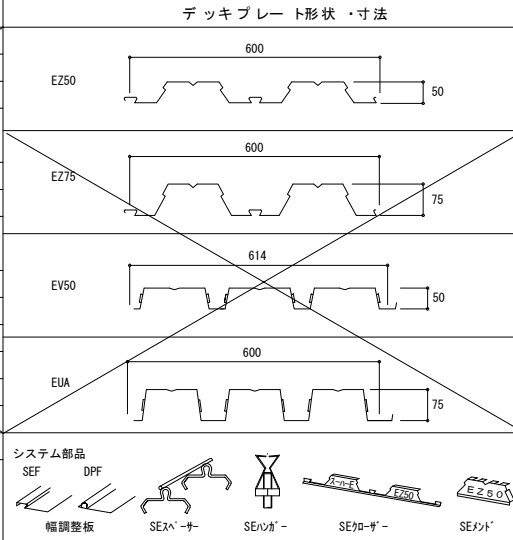
符号	G 1		G 2		G 3		G 4		G 5・2CG1		G 6						
R 階							/		/		/						
主材	H-400x200x8x13		H-294x200x8x12		H-300x150x6.5x9												
継手	フランジ	外側：PL-410x200x9、内側：2PL-410x80x9 H.T.B 6-M20		外側：PL-410x200x9、内側：2PL-410x80x9 H.T.B 6-M20		外側：PL-290x150x9、内側：2PL-290x60x9 H.T.B 4-M20		/		/		/					
	ウェブ	2PL-260x170x9 H.T.B 4-M20		2PL-200x170x9 H.T.B 3-M20		2PL-200x170x6 H.T.B 2-M20 ピン接合部：GPL-9 HTB 3-M20											
2 階									2CG1はH-400x200x8x13のみとする 右以外の全断 Y0 Y1 X3 端部 								
主材	H-600x200x11x17		H-450x200x9x14		H-350x175x7x11		H-500x200x10x16		H-400x200x8x13 H-500x200x9x16		H-300x150x6.5x9						
継手	フランジ	外側：PL-410x200x12、内側：2PL-410x80x12 H.T.B 6-M22		外側：PL-410x200x12、内側：2PL-410x80x12 H.T.B 6-M20		外側：PL-290x175x9、内側：2PL-290x70x9 H.T.B 4-M20		外側：PL-410x200x12、内側：2PL-410x80x12 H.T.B 6-M20		外側：PL-410x200x9、内側：2PL-410x80x9 H.T.B 6-M22		外側：PL-290x150x9、内側：2PL-290x60x9 H.T.B 4-M20					
	ウェブ	2PL-440x170x9 H.T.B 7-M22		2PL-320x170x9 H.T.B 5-M20		2PL-260x170x6 H.T.B 3-M20 ピン接合部：GPL-9 HTB 4-M20		2PL-320x170x9 H.T.B 5-M20		2PL-260x170x9 H.T.B 3-M22 ピン接合部：GPL-12 HTB 4-M22		2PL-200x170x6 H.T.B 2-M20 ピン接合部：GPL-9 HTB 3-M20					
符号	2CG2		RB1		2B1		2B2		柱リストS=1/20								
各 階									/		/		/				
	主材	H-350x175x7x11		H-248x124x5x8		H-350x175x7x11		H-250x125x6x9									
継手	フランジ	外側：PL-290x175x9 H.T.B 4-M20 内側：2PL-290x70x9		PL-9 H.T.B 3-M20		PL-9 H.T.B 4-M20		PL-9 H.T.B 3-M20		/		/		/			
	ウェブ	2PL-260x170x6 H.T.B 3-M20		PL-9 H.T.B 3-M20		PL-9 H.T.B 4-M20		PL-9 H.T.B 3-M20									
符号	RB3		2B3		2CB1, 2B4		V		C1		C2		P1		P2		
各 階																	
	主材	H-100x100x6x8		H-200x100x5.5x8		H-300x150x6.5x9		[-150x75x6.5x10		□-250x250x9 細長比最大=53.3		□-250x250x12 細長比最大=57.2		□-200x200x9 細長比最大=49.6		□-100x100x4.5 細長比最大=99	
継手	フランジ					外側：PL-290x150x9 内側：2PL-290x60x9 H.T.B 4-M20				/		/		/		/	
	ウェブ	PL-12 H.T.B 2列 2-M20		PL-9 H.T.B 2-M20		2PL-200x170x6H.T.B 2-M20 ピン接合部：GPL-9 HTB 3-M20		PL-9 H.T.B 2-M20									
継手		柱脚		柱脚		柱脚		柱脚		柱脚		柱脚		柱脚		柱脚	
		B. PL-450x450x32 A. BOLT 8-M27 (SNR490B)		B. PL-450x450x32 A. BOLT 8-M27 (SNR490B)		B. PL-400x250x28 A. BOLT 4-M20 (SS400) L=400 ダブルナット		B. PL-260x140x22 A. BOLT 2-M16 (SS400) L=400 ダブルナット									

日鐵スーパーEデッキ 日鐵建材工業株式会社
合成スラブ設計・施工標準仕様書 (1/2)

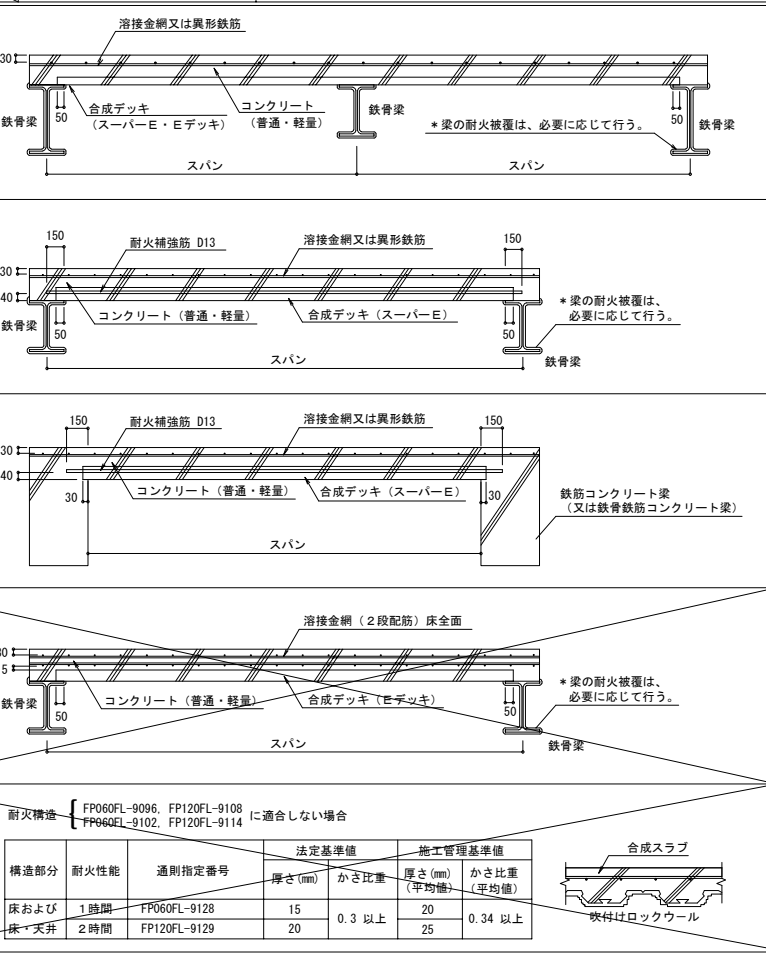
合成スラブの設計・施工は(社)鋼材倶楽部編「デッキプレート床構造設計・施工標準」、(社)日本建築学会編「各種合成構造設計指針・同解説」、(社)日本建築学会編「建築工事標準仕様書・同解説のうち JASS5 鉄筋コンクリート工事及び JASS6 鉄骨工事」、合成スラブ工業会編「通則的耐火構造・無被覆耐火構造 合成スラブの設計・施工マニュアル」、日鐵デッキプレートカタログ及び設計・施工便覧による。

設計仕様該当する口内にレ印にて記入して下さい。([] 内の場合数値等を記入して下さい。)

スラブ記号	DS1 []	DS2 []	DS3 []	
デッキプレート	種類	<input type="checkbox"/> EZ50 <input type="checkbox"/> EZ75 <input type="checkbox"/> EV50 <input type="checkbox"/> EUA	<input type="checkbox"/> EZ50 <input type="checkbox"/> EZ75 <input type="checkbox"/> EV50 <input type="checkbox"/> EUA	<input type="checkbox"/> EZ50 <input type="checkbox"/> EZ75 <input type="checkbox"/> EV50 <input type="checkbox"/> EUA
	板厚 (mm)	<input type="checkbox"/> 1.2 <input type="checkbox"/> 1.6	<input type="checkbox"/> 1.2 <input type="checkbox"/> 1.6	<input type="checkbox"/> 1.2 <input type="checkbox"/> 1.6
	表面処理	<input type="checkbox"/> Z12 <input type="checkbox"/> Z27 <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> 塗装 (一次塗装: JIS K5621相当品、裏面のみ)	<input type="checkbox"/> Z12 <input type="checkbox"/> Z27 <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> 塗装 (一次塗装: JIS K5621相当品、裏面のみ)	<input type="checkbox"/> Z12 <input type="checkbox"/> Z27 <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> 塗装 (一次塗装: JIS K5621相当品、裏面のみ)
コンクリート	種類	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量1種 <input type="checkbox"/> 軽量2種	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量1種 <input type="checkbox"/> 軽量2種	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量1種 <input type="checkbox"/> 軽量2種
	設計基準強度 (N/mm ²)	<input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> []
	デッキ山上厚さ (mm)	<input type="checkbox"/> 70 <input type="checkbox"/> 80 <input type="checkbox"/> 85 <input type="checkbox"/> 90 <input type="checkbox"/> 95 <input type="checkbox"/> 100 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 70 <input type="checkbox"/> 80 <input type="checkbox"/> 85 <input type="checkbox"/> 90 <input type="checkbox"/> 95 <input type="checkbox"/> 100 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 70 <input type="checkbox"/> 80 <input type="checkbox"/> 85 <input type="checkbox"/> 90 <input type="checkbox"/> 95 <input type="checkbox"/> 100 <input type="checkbox"/> []
溶接金網または異形鉄筋	溶接金網 (JIS G3551)	<input type="checkbox"/> φ6-150 <input type="checkbox"/> φ6-100 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> φ6-150 <input type="checkbox"/> φ6-100 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> φ6-150 <input type="checkbox"/> φ6-100 <input type="checkbox"/> []
	異形鉄筋 (JIS G3112, 3117)	<input type="checkbox"/> D10-200 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> D10-200 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> D10-200 <input type="checkbox"/> []
耐火構造	2時間	<input type="checkbox"/> FP120FL-9108・9114 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> FP120FL-9108・9114 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> FP120FL-9108・9114 <input type="checkbox"/> []
	1時間	<input type="checkbox"/> FP060FL-9096・9102 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> FP060FL-9096・9102 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> FP060FL-9096・9102 <input type="checkbox"/> []
スーパーEデッキ用システム部品	<input type="checkbox"/> SEス ^ハ - ^チ <input type="checkbox"/> SEス ^ハ - ^グ	<input type="checkbox"/> SEス ^ハ - ^チ <input type="checkbox"/> SEス ^ハ - ^グ	<input type="checkbox"/> SEス ^ハ - ^チ <input type="checkbox"/> SEス ^ハ - ^グ	
デッキプレート端部仕様	<input type="checkbox"/> エンカ <input type="checkbox"/> 小口7特 ^チ	<input type="checkbox"/> エンカ <input type="checkbox"/> 小口7特 ^チ	<input type="checkbox"/> エンカ <input type="checkbox"/> 小口7特 ^チ	
梁との接合形式	種類	<input type="checkbox"/> 頭付きスタッド <input type="checkbox"/> 焼抜き栓溶接	<input type="checkbox"/> びょう打ち	<input type="checkbox"/> その他
	注記	径、長さ、ピッチは構造図による。 梁とデッキとの接合はアークスポット溶接による。 (溶接栓溶接は不要)	SPW: 溶接径 18mm以上 PW/APW: 溶接径 25mm ※溶接位置等は特記による	接合位置は特記による。 構造認定を受けた発射打込みびょうを使用すること。



ス	耐	火	E	設	計	合成スラブの断面構成 (共通)		連続支持		単純支持 ※2																																									
						コンクリートの種類	デッキプレートの種類	コンクリートの厚さ (デッキ山上)	溶接金網または異形鉄筋	S適用	S適用	RC・SRC適用																																							
耐	火	E	設	計	資	料	テ	ツ	キ	2時間	普通	85以上	φ6-100 または D10-200	2.7以下	5400~9800 ※1	2.7以下	5400~9800 ※1	2.7以下	5400~9800 ※1																																
											普通	90以上	D10-200	3.4以下	5400~9800 ※1	3.4以下	5400~9800 ※1	3.4以下	5400~9800 ※1																																
											普通	95以上	D10-200	3.6以下	5400~9800 ※1	---	---	---	---																																
											軽量	85以上	φ6-100 または D10-200	2.7以下	5400~9800 ※1	2.7以下	5400~9800 ※1	---	---																																
											軽量	85以上	φ6-100 または D10-200	3.4以下	5400~9800 ※1	3.4以下	5400~9800 ※1	---	---																																
											軽量	90以上	D10-200	3.6以下	5400~9800 ※1	---	---	---	---																																
	1時間	同等	普通	E250	80以上	φ6-150 または D10-200	3.0以下	4400~9800 ※1	2.7以下	5400~9800 ※1	2.7以下	5400~9800 ※1	2.7以下	5400~9800 ※1	2.7以下	5400~9800 ※1																																			
																	E275	90以上	φ6-100 または D10-200	3.6以下	4400以下	---	---	---	---																										
																										E250	80以上	φ6-150 または D10-200	3.0以下	4400~9800 ※1	2.7以下	5400~9800 ※1	---	---																	
																																			E275	80以上	D10-200	3.4以下	5400~9800 ※1	3.4以下	5400~9800 ※1	---	---								
																																												普通	EVA	100以上	φ6-100 または D10-200	2.7以下	3500以下	3.0以下	3500以下
普通	EVA	80以上	φ6-150 または D10-200	2.7以下	3900以下	2.5以下	2900以下																																												
								軽量	EVA	70以上	φ6-150 または D10-200	2.7以下	3900以下	---	---																																				



< 注意事項 >

注1 ※1) 印に示す許容荷重 (許容積載荷重: WFL) は、スパン毎に下記式に従って算出して下さい。

a) EZ50タイプの場合: $WFL = 5,400 \times (2.7/L)$ 2. かつ 9,800N/m²以下。ただし、Lはスパンを表す。

b) EZ75タイプの場合: $WFL = 5,400 \times (3.4/L)$ 2. かつ 9,800N/m²以下。ただし、Lはスパンを表す。

注2 ※2) 印の2段配筋仕様は、EV50とEUAのみに適用します。この仕様では異形鉄筋を用いることはできません。

注3) 耐火補強筋はD13以上を使用して下さい。

注4) スパンが3.4mを超えるときは、頭付きスタッド (径16mm以上、ピッチ@300mm以下) を使用して下さい。

注5) 鉄筋比は、デッキプレート山上の断面積に対して0.2%以上として下さい。特に打ち増しの場合は注意して下さい。

注6) 許容積載荷重は、原則として建築基準法施行令第85条に記載されているものに、天井、床等の仕上り荷重を加えたものです。

注7) 許容スパンとは、S造の場合は梁間距離、RC・SRC造の場合は梁内法距離です。

注8) 許容スパン内で、コンクリート打設時に支保工が必要になる場合がありますので注意して下さい。

注9) この耐火指定条件に適合しない場合は、耐火認定 FP060FL-9128, FP120FL-9129 (吹付けロックウール被覆耐火構造) を使用して下さい。

① 割付け計画
工法・工程・割付け計画をたてる。

② 搬入・保管・揚重・仮置・墨出し
(a) 揚重は2点吊りとし、デッキプレートをワイヤで傷つけないようにする。
(b) デッキプレートは梁上に安全な状態で仮置きし、風等で飛ばされないように養生する。
(c) 梁上を清掃し、所定の位置に墨出しをする。

③ 敷込み・仮止め
(a) デッキ相互をカン合または重ね合わせにより接合せながら敷込む。(接合部で幅調整をしてはならない。) コンクリートが漏れる恐れがある場合はデッキ重ね部を溶接する。
注) 溶接の目安 スパン2.0m以下: 不要, 2.0~2.5m: 1箇所, 2.5m以上: 2箇所
(b) 幅方向の調整は、幅調整板 (フラッシング) を用いる。
(c) デッキと大梁との接合ができるように、デッキ山部が梁上にこないように納める。(図1)

④ デッキと梁との接合
(a) 敷込み完了後風等で飛ばないように、デッキと梁とをアークスポット溶接等で接合する。
(b) 頭付きスタッドの施工は JASS6 による。
(c) 焼抜き栓溶接の施工位置は特記による。特に指定がない場合は、図2の要領で行う。
(d) 発射打込みびょうの施工は発射打込みびょうメーカーの施工要領による。施工位置は特記による。

構造認定を受けた
発射打込みびょうメーカー
日本ヒルティ (株)
日本ドライバット (株)

(図1) デッキ山部
大梁

(図2) デッキプレート幅方向 (大梁) 接合部2箇所 中間1箇所 接合部2箇所
スーパーEデッキ (小梁) 各谷1箇所

デッキプレートスパン方向 (溶接ピッチ)
溶接き栓溶接又は発射打込みびょう
溶接き栓溶接又は発射打込みびょう

溶接方法

項目	新・焼抜き栓溶接 (SPW)	焼抜き栓溶接 (PW)	自動焼抜き栓溶接 (APW)
溶接作業資格	JIS Z 3801 基本級以上又は JIS Z 3841 基本級以上	JIS Z 3801 基本級以上	JIS Z 3841 基本級以上
溶接棒及び溶接材料	低水素系溶接棒 φ4mm	低水素系溶接棒 φ4mm	ワイヤ: YGWI1, 12 φ1.2 ガス: CO2
溶接機	交流アーク溶接機AW250A以上 又はエンジン溶接機230A以上	交流アーク溶接機AW300A以上 エンジン溶接機280A以上	専用溶接機 (350A)
標準溶接条件	デッキ板厚 (mm) 1.2~1.6 溶接電流 (A) 190~230 溶接電圧 (V) --- アークタイム (sec) 8~12 溶接径 (mm) 18 以上	溶接電流 (A) 230~250 溶接電圧 (V) 270~300 アークタイム (sec) 10~18 溶接径 (mm) 25±3	溶接電流 (A) 300~320 溶接電圧 (V) 33~35 アークタイム (sec) 3.0~4.0 1度打ち 溶接径 (mm) 25±3

(g) 焼抜き栓溶接1箇所当りせん断耐力 (単位: N)

デッキ板厚	1.2mm	1.6mm
SPW	7,350	11,025
PW/APW	7,350	10,290

1. アーク発生
2. デッキ焼抜き
3. 押し込み・溶着
4. 整形

⑤ 小口ふさぎ・コンクリート止め
小口ふさぎはデッキプレートの溝をふさがない独立したものを使用する。(図3) 又は、エンドクローズ製品を用いる。

⑥ インサート工事・配管・配線

⑦ 開口部補強
開口部まわりは必ず鉄筋等で補強する。標準仕様書 (2/2) を参照。

⑧ 溶接金網又は異形鉄筋
(a) 規定のサイズを床全面に配筋する。(図4)
(b) コンクリートがぶり厚さを確保するスパーサーを1m以内に設置する。
(c) 溶接金網の継手は (1メッシュ+5.0mm) 以上重ねる。(図5)
(d) 異形鉄筋の継手は JASS5 による。

⑨ コンクリート打設
(a) コンクリート打設前にデッキプレート面を充分清掃する。
(b) 設計コンクリート厚さを確保する。
(c) 単位水量の少ないスランプの小さいコンクリートを意入に打設する。

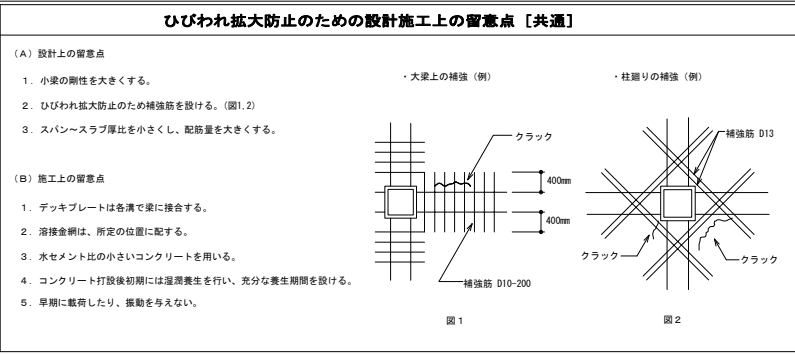
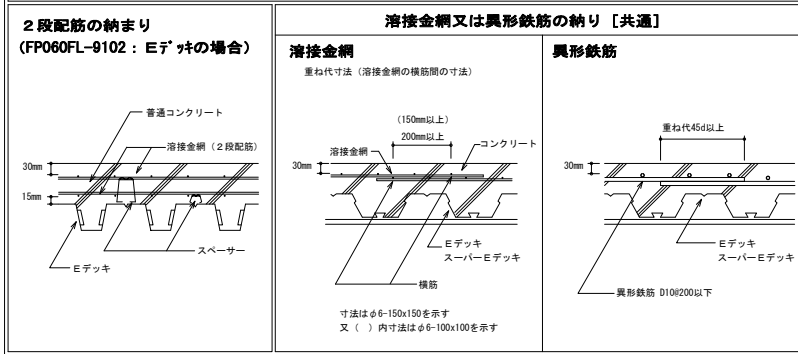
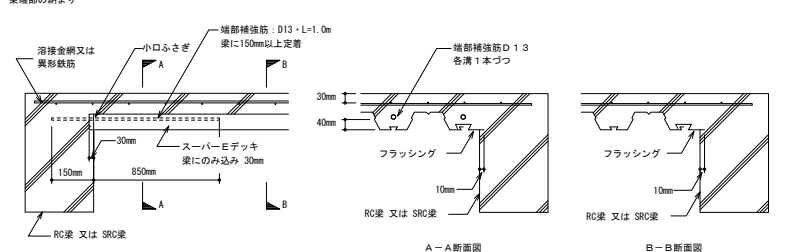
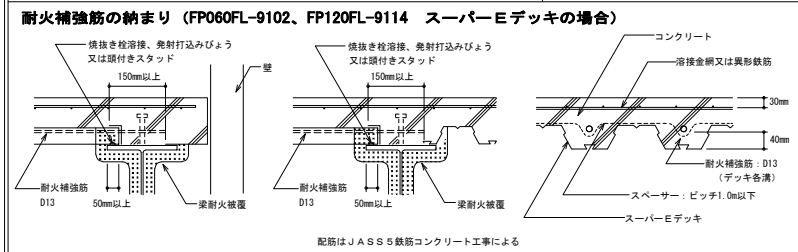
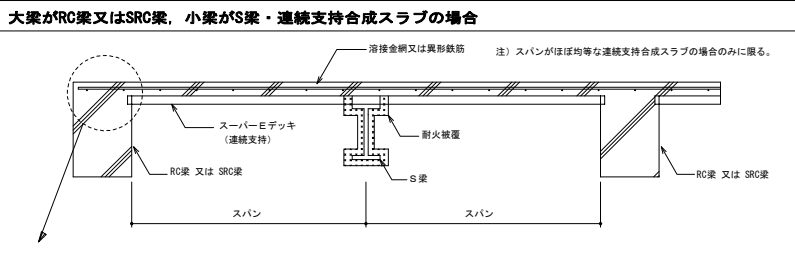
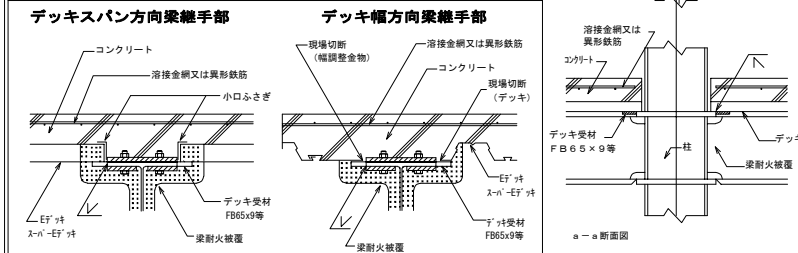
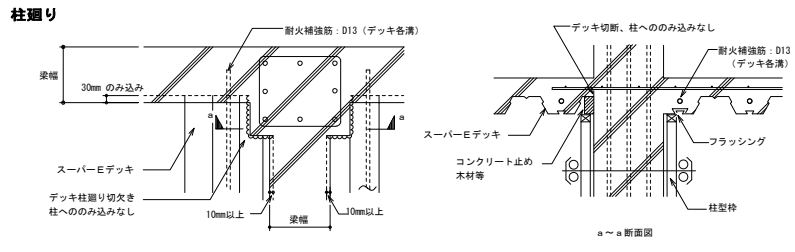
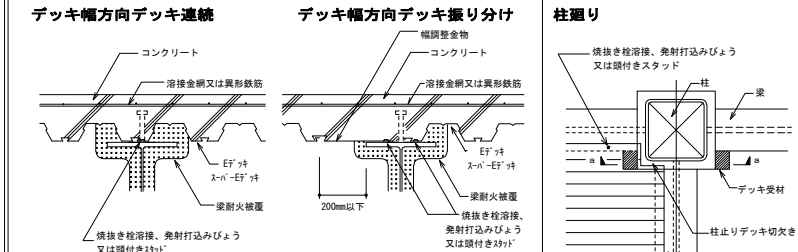
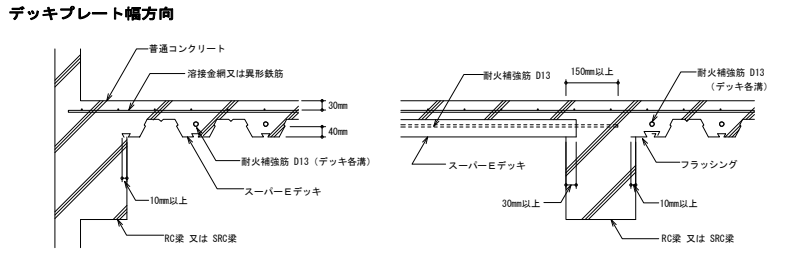
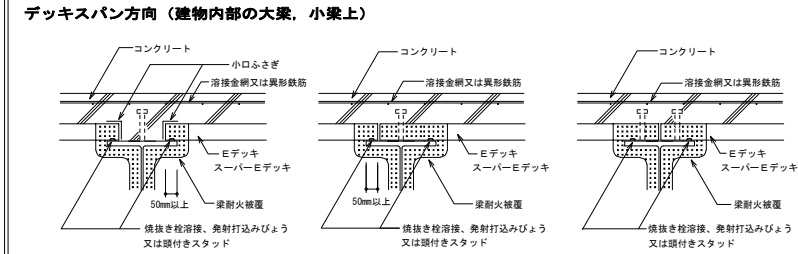
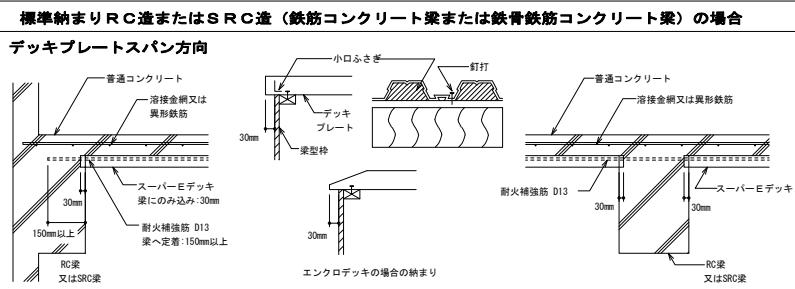
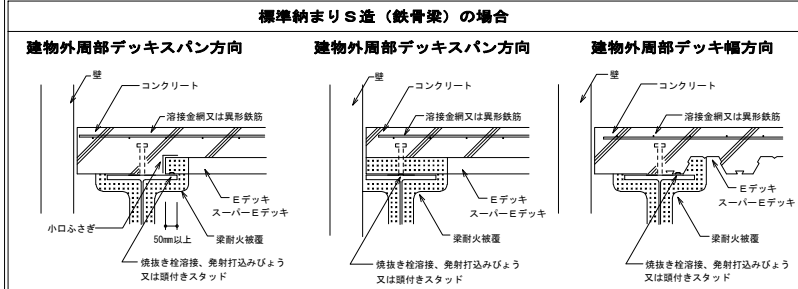
⑩ 養生
(a) コンクリートの初期乾燥収縮を防ぐため、湿潤養生する。
(b) コンクリートの強度がでるまでは、床面に重量物を置いたり振動を与えない。

(図3) 小口ふさぎ

(図4) 溶接金網又は異形鉄筋

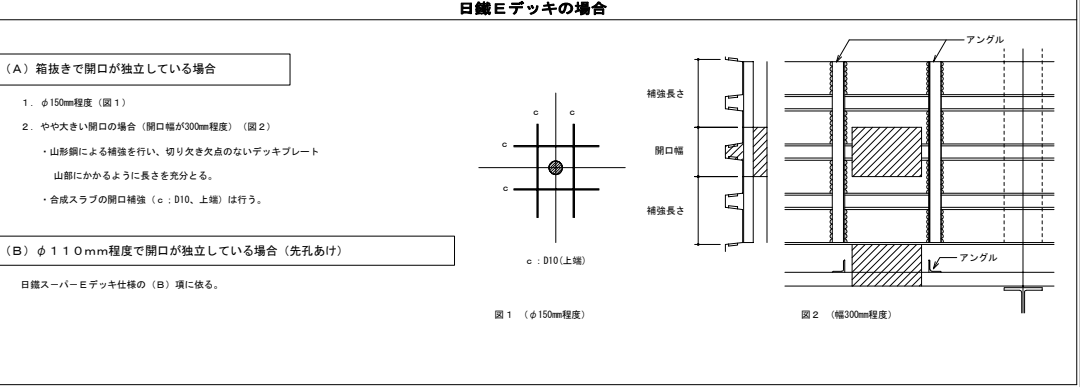
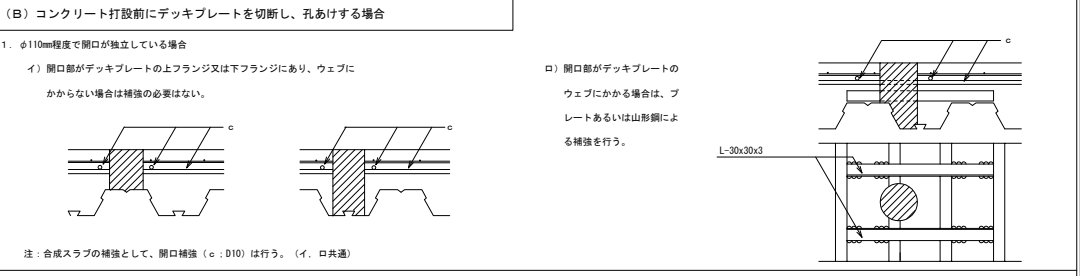
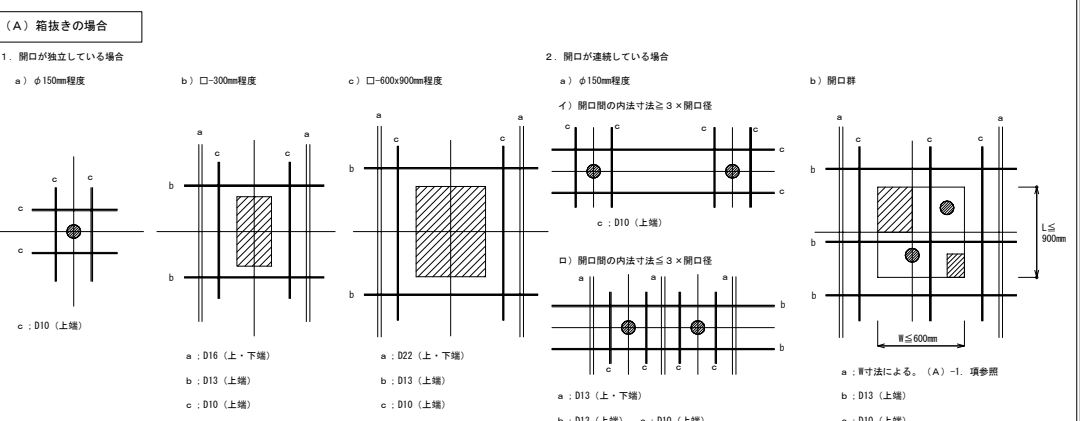
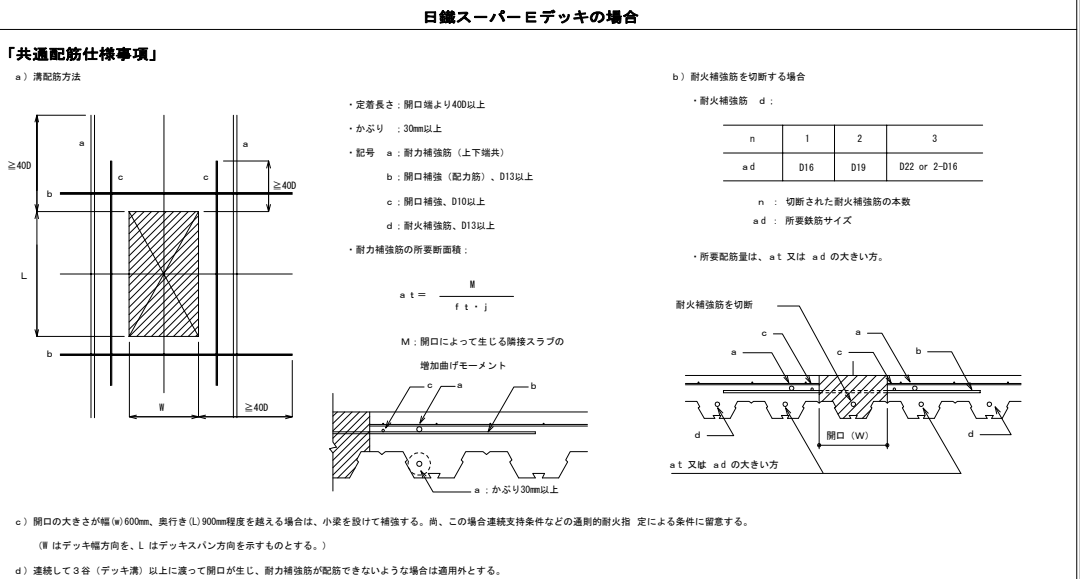
(図5) 溶接金網又は異形鉄筋

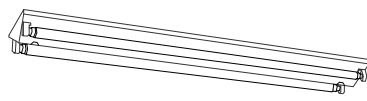
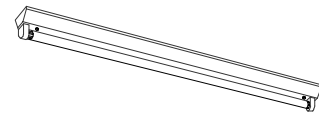



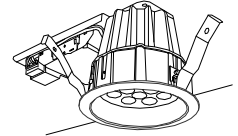


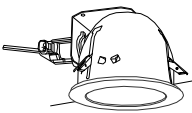
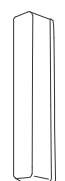
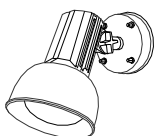

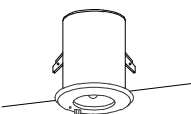
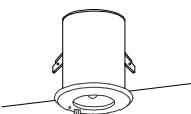
日鐵スーパーEデッキ (日鐵建材工業株式会社) 合成スラブ設計・施工標準仕様書 (2/2)

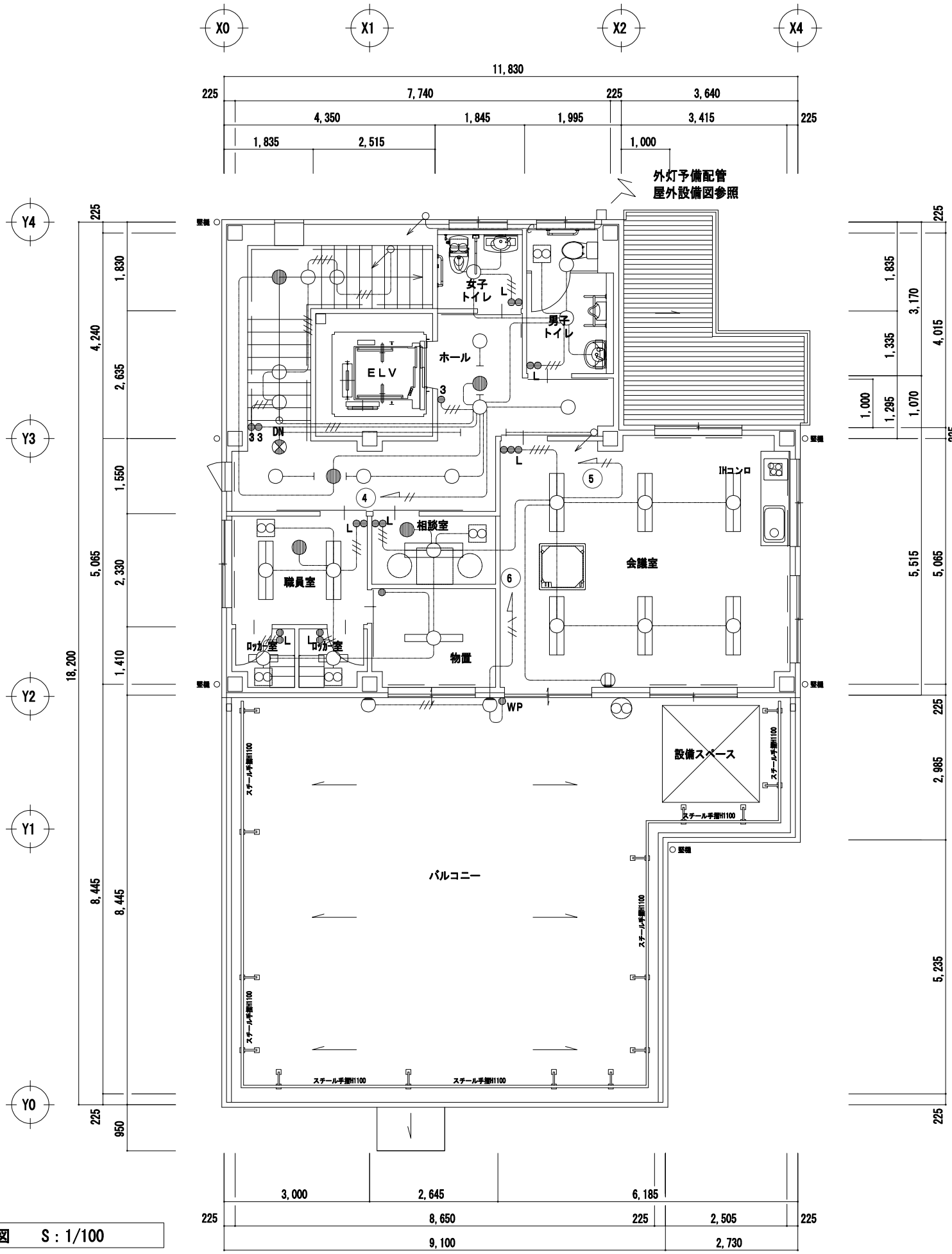


合成スラブの開口部補強

★スーパーEデッキとEデッキで合成スラブの開口部補強方法が異なる。
★原則としてコンクリート硬化後にデッキプレートを切断し、孔あけ(箱抜き)とする。
★先に孔をあける場合は、支保工を用いるか小梁でコンクリート打設時に必ずデッキを補強する。
★合成スラブ開口部周辺の上端には開口補強 (D10以上) を施す。
★本仕様書の範囲外の場合は、イ) 小梁を設ける、ロ) 鉄筋コンクリートスラブとして補強する等の処置を施す。

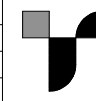


A	直付型蛍光灯 逆富士型 FHF32W-2 PN	B	直付型蛍光灯 逆富士型 FHF32W-1 PN	C	直付型蛍光灯 逆富士型 FL20W-1 GL	D	ダウンライト EFD15W (電球色)	E	ダウンライト EFD15W (電球色)	F	ダウンライト LED24.8W (電球色)
											
G	シーリングライト EFD15W (電球色)	H	ミラーライト FL20W	I	ダウンライト 軒下用 EFD15W (電球色)	J	ブラケット 防雨型 FL20W	K	ブラケット 防雨型 IL180W	L	
											
M		N		O		P		Q		R	
S	避難口誘導灯 C級 壁直付型 片面型	T		U		V	非常照明 埋込型 JE9W	W	非常照明 埋込型 JE30W	X	
											



- ホール
E × 6台
S × 1台
V × 2台
- 階段
F × 4台
W × 1台
- 女子トイレ
E × 1台
H × 1台
- 男子トイレ
E × 2台
H × 1台
- 職員室
A × 2台
V × 1台
- 相談室
A × 1台
V × 1台
- 会議室
A × 6台
- ロッカー室
C × 2台
- 物置
B × 1台
- バルコニー
K × 2台

2階平面図 S : 1/100



株式会社
多摩設計
川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 若田 崇

DATE
2025/*/*
DRAWN BY
hioe

工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務
図名 2階 電灯設備図

図面番号 E - 03
縮尺 - A3:1/100

空調機器表

記号	名称	機器仕様	電源			合計	摘要	参考品番
			Φ	V	W			
AC1	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	天井カセットラウンドフロー112型	3	200		4		SZYC112BA 室外機電源
		冷房能力 10.0Kw 暖房能力 11.2Kw						
		室外機圧縮機			2030			
		室外機送風機			200			
		室内機送風機		120				
AC2	空冷ヒートポンプ式 ルームエアコン	壁掛け型	1	100		4		S22LTES-W 室内側電源
		冷房能力 2.5Kw 暖房能力 2.5Kw						
		室外機圧縮機			600			
		室外機送風機			33			
		室内機送風機		26				



株式会社
多摩設計

川崎市川崎区貝塚1-3-17
TEL 044-233-7521
一級建築士登録 第325083号
管理建築士 岩田 崇

DATE
2025/*/*

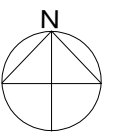
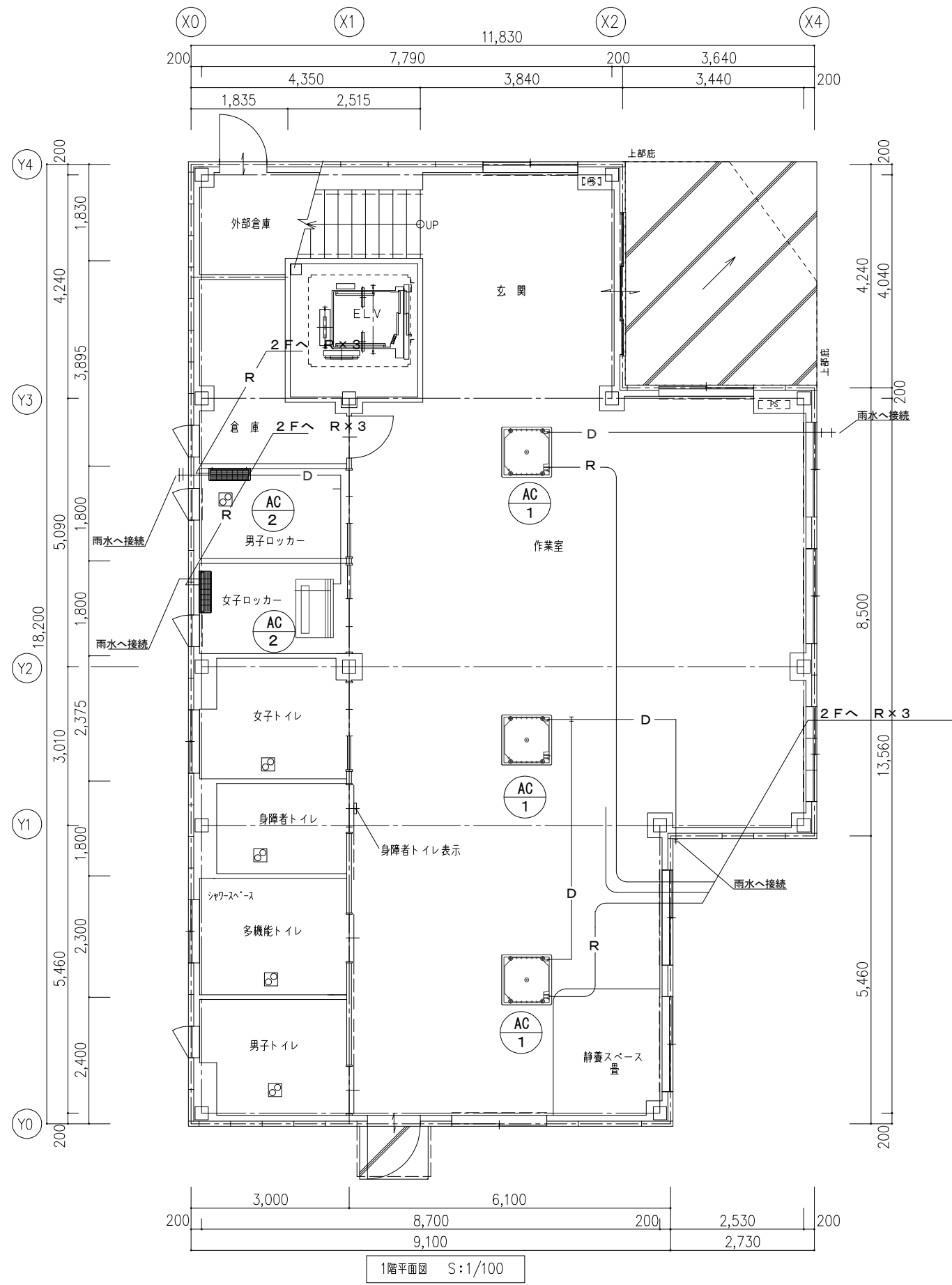
DRAWN BY
hiroe


工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務

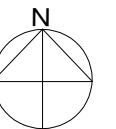
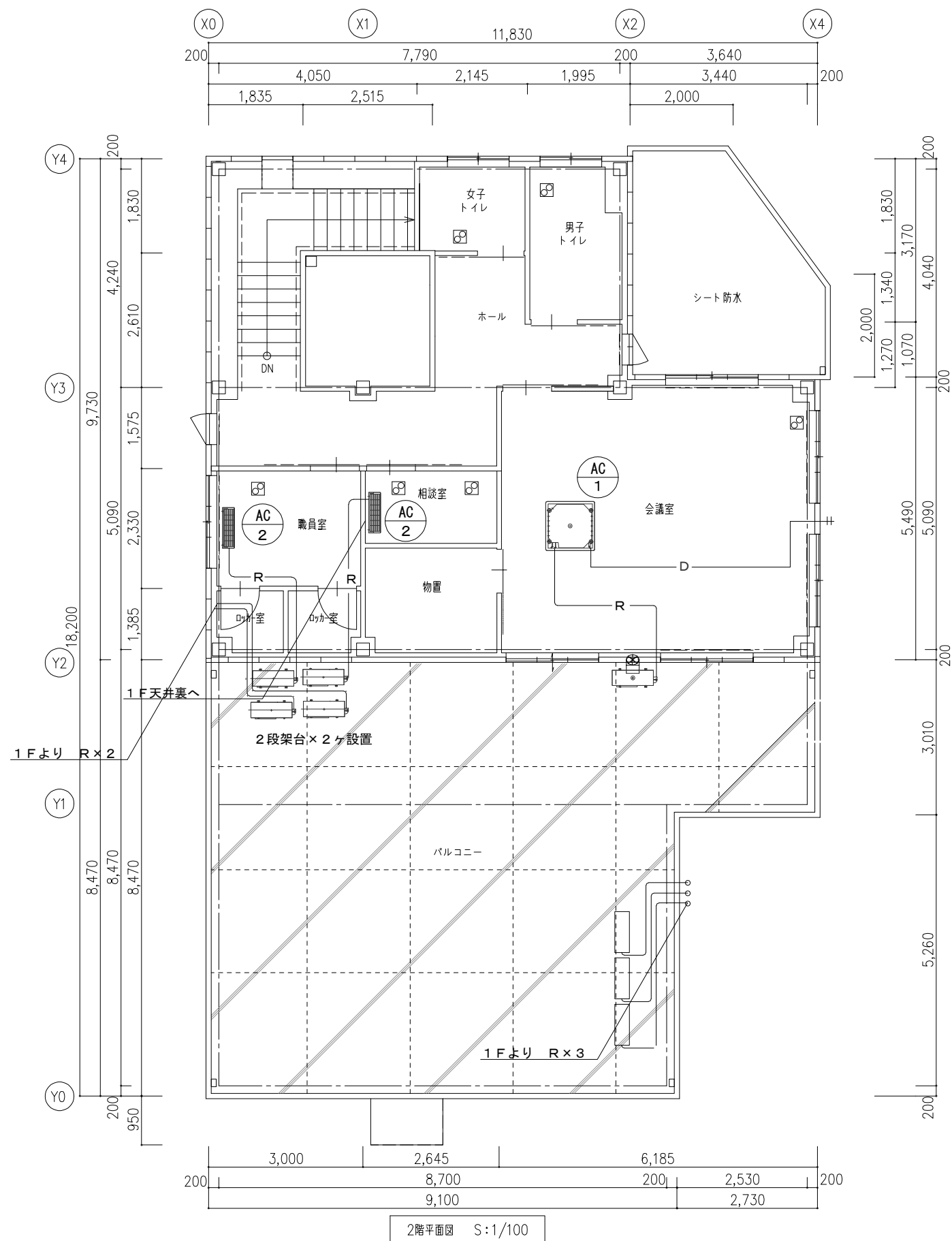
図名 空調機器表


図面番号 M - 01

縮尺 -



	 株式会社 多摩設計	川崎市川崎区貝塚1-3-17 TEL 044-233-7521 一級建築士登録 第325083号 管理建築士 若田 崇	DATE 2025/*/* DRAWN BY hireo	工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務 図名 1階空調図	図面番号 M - 02 縮尺 - A3:1/100
--	---	--	---------------------------------------	---	------------------------------



 株式会社 多摩設計	川崎市川崎区貝塚1-3-17 TEL 044-233-7521 一級建築士登録 第325083号 管理建築士 若田 崇	DATE 2025/*/*	工事名称 (仮称) 障害者福祉施設どりーむ除却工事設計業務	図面番号 M - 03
		DRAWN BY hiroe	図名 2階空調図	縮尺 A3:1/100